

空想絶叫シンフォギア

きりきりばい

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

神様に転生の権利をもらったオリ主

俺TUEEEしたいのでなんの戸惑いもなくステータスとかスキルとかレベル色々要求したら

全部通っちゃった……（困惑）

ファンタジーな世界に飛ばしてあげるから頑張れよとか言われたけど

ファンタジーはファンタジーでもここシンフォギアの世界じゃねえか！敵が倒せねえ！モブには厳しい！バリバリの現代！

この先生きのこれるのでしょうか（他人事）

目次

全然分かんねえぞこのチート！	1
鬼畜ゲーはこういう感じ	9
鬼畜ゲーって長い奴は長いよね	21
リアルは辛いよ	29
修羅場ニアファミリィ	43
覚醒の時	53
チート使っても勝てなかったら無理です	63
レベル上げの苦行ってしんどいよね	70
決戦前の準備時間が1番好き	78
カオスのフルコース　くカオスを添えてく	85
【急募】推しが近い場合の対処法	94
レベルアップしたい	102
交流関係は難しい	108
キミトハアイタクナカッタヨ	115
集団ストーカーに襲われています（逆）！	125
お一人様コースって大抵虚しい	138
レベルアップは唐突に	147
海岸線沿いを歩くノイズマン	155
色々あり過ぎると脳は良く止まる	163
変化がデカすぎる	174
カオス時々シリアル	182
小山と連山と富士山（隠語）	190
迷い悩み決断し	199
無人島生活（ただし実行者は人外）	207

寝起き殺戮ドッキリ（仕掛け人：レオン）	214
Is there justice?	224
辛勝の味はマズイ	232
超強化されても無理ゲーは無理ゲー	239
推しに突撃してしばかれなかった場合	246
セーフポイント返して	254
31の悪意と13の悪夢	261
欲望の中で輝き淀む	270
今明かされる衝撃の真実ウゝ！	280
敵の本拠地にこれより潜n―嘘ですごめんなさい	287
決断の時	295
宇宙の法則が 乱れる！	302
無理ゲー再び	309
負けイベはひっくり返す物	316

全然分かんねえぞこのチート!

「転生の権利を授けよう」

「それマジ?ステータスとスキルとレベルお願いします。あ、経験値のブーストお願いしますレベル上限無しで」

「……………分かった」

「何の間だったんだ今の……………」

突然だが、俺は死んだ。

歩きスマホをしていた所、車が突っ込んできてたが、それに気付かずにブツ飛ばされて本当に呆気なく死んだ。

で、目が覚めたら真つ白なこの謎空間に居て

なんか急に【神】だとかなんとか名乗る半裸のオツs……………おじサマが出てきて「露出狂!」と盛大に叫び掛けたが堪え、話を聞いてみるとファンタジー小説お得意の《転生》をさせると言う。

で、冒頭に戻る。

「取り敢えず、世界はこちら側が決めた世界で……………種族は何でも構わんか?」

「エルフとかドワーフとかでもどうせ慣れるんでしょう?大丈夫ですよ」

「よし。ステータスもスキルもレベルも問題無く設定した。スキルは自らの行動やレベル次第で獲得出来るから頑張る事だな」

「最高やんけ……………あれ、そーいや名前つてどうなるんですか?俺自分の名前思い出せないんですけど?」

「元から前世に後悔等無さそうだから消去させてもらったぞ。名乗るなら……………そうだな、レオンとでも名乗ったらどうだ?」

「うーんトカゲ臭……………まあいいや」

「それでは、行ってこい。来世に幸多からん事を」

「最後までらいちやんとすんな………行ってきますよ、神様」

そうして俺は、その空間から消えた。

目が覚めたら凄い目に悪い極彩色の空間に居た。

目が痛てえと思いなながらも、ステータスを開こうとして最大の問題点にぶち当たる。

あれ？どうやって開くんこれ？

悩み抜く事5分、取り敢えず総当りしていく事にした。

まずは脳内で良くゲームで見るようなステータスを浮かべてみる。

出た。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

名前：レオン

種族：カルマノイズ

L v 1

筋力
STR : 10

持久力
CON : 5

精神力
P.O.W : 5
速度・器用
D.E.X : 10
発想力
I.N.T : 12
知能
E.D.U : 7

残ポイント：5

スキル：緊急レポート

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

ほーん……………なるほどなるほど

じゃない。ちよつと待て。おい待て。

！
種族カルマノイズって……………カルマノイズってまさか……………

そう思つて未だに自分の身体をちゃんと見ていなかった事に気付く。

右手を見たら……………何故か人間の手の形をしているが、真っ黒に染まった腕があつた。

おい、ファンタジー要素はあるけどここ前世で見てた《戦姫絶唱シンフォギア》の世界じゃねえか

取り敢えず、種族を考慮してステータスの事を考える。

戦姫絶唱シンフォギアというアニメであつた事がそのまま

ま適用される場合、《カルマノイズ》である俺は《装者》と呼ばれる

【主人公集団】に（死ぬまで）追い掛け回される。

言うなれば、俺はド〇クエというスライム側なのである。

もちろん死ぬつもりは無いのでなんとかかしたい訳だが、かといって向こう側を殺すのも忍びない。

で、そうなつてくると避けるか、良い感じに無力化出来るラインを攻める必要がある訳で……………

そこで大事な事に気付いた。

この1ポイント分、どれだけ変わる？

そう、それが大事なのだ。1ポイントで激しく影響される場合、無闇に攻撃力等にポイントを振り過ぎてしまうと殺りスギイ！になつてしまいかねない。

という事で実験をしようと思ったのだが……………

何も無い。笑えるぐらいに何も無い。

ひたすら目が痛くなる程極彩色の空間が続いているだけである。

そこで一瞬だけ脳内に浮かんだ。

ここ、記憶違いで無ければ《バビロニアの宝物庫》なのでは？

そう思った瞬間、目の前の空間が歪み、その奥には何処かの森林であらう風景がその奥に写っていた。

え、入退場そんな感じなの……………？

何も考えず、空間に手を触れる。

その瞬間、身体が引き摺られるかのように押し出され

次の瞬間には何処か知らない森林に1人(?) 放り出されていた。

止まっただけでも仕方ないので、直ぐにでもステータス検証を開始する。

1時間程経過したのだろうか？

大きな収穫が何個かあった。

まず、恐らく「5ポイント毎に大きく変化がある」。

1ポイントだけDEXに振ってみたが、移動速度にそんな変化が感じられなかった。と言っても、目測で約50mを6秒ぐらいのペースで走れるから充分速いのだが。

調子に乗って5ポイント振り切った瞬間に問題が起きた。目に見えて速度が一気に跳ね上がったのだ。

もう一度測り直してみると、タイムが1秒近く縮んでいた。感覚的にも大幅な変化を感じられた事から、恐らく5ポイント毎に大きく変化があるのだろう。

次の収穫は「スキル」を獲得出来た事だ。

筋力の確認で木を殴りつけたり(痛い)、速力確認でひたすら森の中を走り回っていたのだが、INTの検証ってどうするんだと考え、走り回ってタイムを測りながら前世の時にやった数学の公式でも思い出していた時に突然脳内に感情の無い女声が響いた。

『スキル：マルチタスクLv1を獲得』

え？って思ったよ。で、直ぐにステータス欄開いたのよ。

あるやん。

名前的に多分並列思考をサポートでもしてくれんのかなと考えつつも結局走り回りながら公式を思い出していたのだが、さっきよりも明らかに公式の思い出す速度と正確性が先程よりも上がっている。

スキルの効能スゲエと思いつながら結局走り回ってずっと公式を思い出していたら、更に収穫があった。

『スキル：マルチタスクがレベルアップ』

『スキル：ランナーLv1を獲得』

結局棒読みなのねと思いつつも、わざわざ全部知らせてくれるのは有難いなどホクホクしていた。

で、そうやって色々と検証していたのだがここで最大の疑問が残

る。

【俺自身のレベルどうやって上げんの？】

まず、殺しはNG。人に触れると即座に【炭素に分解】出来るのが《カルマノイズ》という種族の強みなのだが、無闇矢鱈に人を殺すというのは精神衛生的に良くない。

というか俺はヘタレなので絶対殺せない。その点から人間殺害はNOだった。

ならば他に倒せる物があるのかと言われればそれも限り無くNOに近い。

ファンタジーなモンスターなんてこの世界には少な過ぎる（居ないとは言っていない）のだ。

《ノイズ》という自分と同じ様な殺戮マスコットキャラクターが居るが、この世界に居るのかどうか分からない。それに、俺に倒せるのかも分からない為これも見つけるまで保留。

となった結果

そうだ

スキル、鍛えよう。

良く分からない森林の何処かでひたすら走り回ったり、スキルの効果検証代わりに適当な3つの計算式を作って同時に解くとかいう訳の分からない事をしていたら様々なスキルを獲得出来たり、強化する事が出来た。

まずは《マルチタスク：1v3》

並列作業をアシストしてくれるスキルなのだが、今は脳内で2桁×2桁の積なら5つ同時に解ける。どうなってんだこれ？

次に《ランナー：lv2》

自慢じゃないが前世では1〜2km走ればバテていた程度には体力が無かったのだが、今では50mを全力で走りながら30回は往復してもまだ体力に余裕が残っている。

ちなみに50mを5秒ペースで走り続けてのこれなので、もうどうなってるのか全く訳が分からない。

最後に《予測：lv1》

様々な予想を立てながらスキルの強化やステータスの考察等をしていたところ、急にこのスキルが手に入った。実は効果が良く分かっていない。これは予想ではあるが推測の正確性が上がるか、候補が多く浮かぶかのどちらかでは無いのだろうか？

スキルを3つ獲得したところで気になる事がある。唯一最初から獲得していた《緊急レポート》というスキルだ。これまで獲得した3つと違ってスキルにレベルが付いていない。となると、ゲーム脳の俺としては特別なスキルである事を期待してしまうのだが如何せん使い道が分からない。

唸り続けていた所、聞きたくない声が聞こえてしまった。

「カルマノイズを見つけ……………ヒト?」

「ここにあるのはカルマノイズの反応だけだ、行くぞ【立花】！」

「ハ、ハイッ【翼】さん！」

《戦姫絶唱シンフォギア》において

俺達《ノイズ》を駆逐し、人類に平和をもたらす救世主。

《装者》と呼ばれる【主人公達】。

その6人の内の2人、【立花響】と【風鳴翼】がコチラに向かってくるのが見えた。

え、ヤバくね？

鬼畜ゲーはこういう感じ

「くっ、速い！」

「追い込むぞ、立花！」

「はい！そオリヤア!!」

はい。私です。レオンです。

今現在、この世界での主人公達の内の2人に全力で殺しに掛かられています。

開幕凄まじいスピードで「立花響」と呼ばれた《装者》が右拳を突き出してきたので死ぬ気で避けたのだが

なんか突き出した後に空気が圧縮されて吹き荒れてた。

え、おかしくない？これが戦車の主砲ってヤツですか？僕じゃなくて殺しに来てる相手がそれってヤバくない？

そんなアホな事を考えていたせいでマズイ事に気付けなかった。

そう、もう1人の「風鳴翼」である。完全に見失ってしまったって気付いた時には

—— 右脚を斬り飛ばされていた。

いつ……………たくない？

え？おかしくない？俺右脚飛んでるんだけど？感覚無いんだけど？

そう思っていた内に、3秒程で右脚が新たに生えてきて足の感覚も

直ぐに戻ってきた。

それと同時にあの棒読み女声が脳内に響く。

『スキル：治癒力強化Lv1を獲得』『スキル：恐怖耐性Lv1を獲得』
治癒そのものじゃなくてその強化……!?!

って事は、この身体自体そういう体質だって事か！

ちなみに今は装者の攻撃を紙一重で避けながらこの思考してる。
マルチタスク便利やな！現実逃避したけどやっぱムリ死ぬ！

「再生が速い……!」

「連携して削るぞ立花！」

「はい！」

おねがいますあきらめてくださいしんでしまいます。

ああもう再生するならちよつとぐらい傷付いても良いだろパーン
チ！

そんな思いと共に繰り出した案外速い見え見えの右ストレートが

「うわあッ!?!」

「大丈夫か立花!?!」

「は、はい！大丈夫です！」

おむ……………む……………むねに……………

予想外過ぎるッ!だって、思わなかったもん！全力で右ストレート
入れたらまさかの当たるわ、しかもお胸の部分とか思わなかったんよ
！見た感じダメーヅうつつすいけど当たった俺が一番びつくりだよ！

『スキル：恐怖耐性がレベルアップ』『スキル：マルチタスクがレベル
アップ』

やかましい！律儀に恐怖耐性は上がらなくていい！ていうか読み方絶対今おかしかっただろ！

あ、立花さんのお胸は柔らかかったです……／／／／
うわ、心読まれたのか知らないけど急に感じる圧がマシマシに……
待って死にたくないゴメンなさいゴメンなさい

『スキル：恐怖耐性がレベルアップ』

もういいよ！恐怖してんのは分かったからもういいよ！今はこの状況どうにかしないとヤバいつてのに……！

ん？なんか凄い大切な何かを忘れてる気がする……！

マルチタスクのおかげで同時思考が出来るから、思い出しながらも何とか躲し続けるしかねえ！

あ、無理これ右腕斬られたわ

『スキル：治癒力強化がレベルアップ』『スキル：回避Lv1を獲得』

嬉しくねえ！って思ってたらこの状況にピッタリのスキル来たア!?

あ、なんか気持ちさつきより避けやすい。

はい、こうスーイスイつと

あ、右脚軽く切り裂かれた。すげえ痛くないのに痛い気がするんだけどなんだこれ幻肢痛かあ？

……あ！そうだ《緊急テレポート》！

使い方分かんないけど使えば一瞬で逃げられる！

でも何処にテレポートすんだよこれ!?

ていうか絶対起動しないと効果無いヤツだろこれ！どう起動すんだよ！

テレポーターを考え……テレポーターってなんだよ！

じゃあ自分が粒子化して移動するイメージ………はテレポート
じゃねえ！どうすりゃいいんだよこれ！

あ、バビロニアの宝物庫に戻る感じか！

ってウオオアアなんか吸われるウウ!?

『レベルアップしました』

バビロニアの宝物庫に引き戻された瞬間に聞こえた声で嫌でも絶
えていた気力が帰ってくる。

え、レベルアップしたって言った今？

え、ステータス開いても宜しいんですか？

え、レベル本当に2になってるんですけど？

Why?

………スウウウウウウウウ………

えー、という訳でね、何故かレベルアップしたわね………

取り敢えずステータスが全て1ポイントずつ上がっていて、《残ポ
イント》って書かれてた部分が5になっていた。

恐らく、レベルアップ毎に5ポイントずつもらえるのだろうか？

まあそんな事は後からでも考察出来る。今考えなくちゃいけない
理由は何故レベルが唐突に上がったかだ。

この世界に来てから、俺はまだ動物1匹すら殺めていない。
となると、恐らく殺しをやらなくてもレベルが上げられるシステム
なのだろう。どうやって経験値が手に入ってるかまでは分からない
が……………

うーん、無理！（無能）

情報が全然無いからね……………仕方ないね……………

取り敢えずあの状況でアホみたいにスキルが手に入ったので名前
だけでも確認しておく事にする。

うん、名前通りだったね。

緊急レポートくんも何も変わりなかったね。

取り敢えず、残ポイントの振り方を考えてみよう。

あれ？

なんでレベルアップするだけでINTとEDU上がったんの？

……………気にしてはいけない気がしたから止めておこう。

取り敢えず今はSTRが11にCONとPOWが6、DEXは16
でINTが13にEDUが8。

ハッキリ言って、カルマノイズである以上EDUは要らない様な気

がして仕方ないのだが

なんとなく要る様な気がする。どうせ時間はあるんだしじっくり考えよう……………

はい

EDUとINTに1ずつ、DEXに3振りしました。

完全に次のレベルアップ次第です。

レベルアップの仕方もステータスアップの法則性も分かってないのね。

バカ！（遅い）

という訳でスキルを鍛えたいんですけども……………これ元の場所戻る方法ってどうすんの？《バビロニアの宝物庫》って気付いたら最初は空間が開いたけど、もう今ここがバビロニアの宝物庫って確信してるよね？

何？記憶喪失人為的に起こして「ここが、バビロニアの宝物庫かつ！」を毎回しなきゃいけないの？流星に嫌だよ？

ゲート開かないしさあ

こんな気狂いそうな空間で何したら良いの？

5億年〇タン押しちやっただの俺？

……………急に思い付いたんだけど、ノイズって喋れんの？

取り敢えず口元には……………うん、口無いね。

鼻も……………勿論無いね。

というか顔のパーツ……………無いね。

声どうやって出すんや……………？

『& a m p ; @ || * ! / : | . ? ” { } ! 』

あ、なんか出た。

いや、うるさいし何コレ。ホントに名前通りノイズじゃん。

多分これを意図的に調整出来るようになれば強引に喋れはするんだろうが……………どうやって出したか分からんし、やった所でまるで聞き取れないナニカが出来上がりそうだな……………

いや、やろう。

無いとは思うけど、簡易的でも会話が出来れば立花響だけでも留める事が出来るやもしれん。

ていうかあの子が一番ヤバイから止まってくれないと、いずれチート化しても死にそう。コワイ。

ここから出る方法が今の所浮かばないし、頑張ってみますかあ……………

結論から言おう。

成功したけど失敗した。

『スキル：調律がレベルアップ』

そう、この《調律》というスキル。今現在はLv2なのだが、これにより言葉を紡ぐだけなら出来る様になった。凄まじい進歩なのだ

が……………問題点が多過ぎる。

まず、イントネーションがおかしい。

Google翻訳並に変な場所で音が上がり下がりするのでミスリードが多発する。発音してる本人が困惑するレベルってヤバイだろ

次、うるさい。

ノイズフィルターを掛けて音を抽出している感じではなく、ノイズの中にうつすら言葉が聞こえるといった感じなので単純に耳に悪い。というか話してる俺がうるさいって感じるレベルなのでホントに耳に悪いと思う。

最後、位相差障壁が意味無い。

ノイズは全個体《位相差障壁》っていう、簡単に言うと「攻撃時以外は基本魂だけ現世で、身体の殆どは別世界にあるから攻撃をほぼ受けない」という中々頭のおかしい力を標準搭載している。テ○サかな？

で、装者達の纏う《シンフォギア》っていうのだけはノイズの炭素分解も位相差障壁っていうのも無視してブチ抜ける言うなればノイズ特攻持ち兵器なのだが……………

このスキルで会話してる間、勝手に位相差障壁が剥がれていく。分かった理由は自分の身体の透明度。

位相差障壁が無ければ通常兵器による攻撃も喰らってしまう為、無いとは思いますが最悪特攻的な感じで装者1人を犠牲に核兵器とかを打ち込まれると余裕で多分死ぬ。

さあ、ホントにどうしたもんかなあ……………

この極彩色空間延々気狂いそうな程走りながらスキル上げかあ？マルチタスク君が想像してた倍以上有能だったから上げとききたいんだけどあんまり分かんねえな

《錬金術》だったか、アレを学べれば同時発動みたいな事をしてマルチタスクを上げれそうなのだが……………そもそもノイズに錬金術使えんの？

……………いや、やってみなけりや分からんし機会があったら試そう、うん。

……………ん？

今気付いたけどいつの間にか後ろにゲート開いてるやんけ。いつ開いたコレ？

今度は……………荒地？何処の荒地だよコレ……………いやでも、ここ以外だったらもう何処でも良いや！

ウエエエエエエイ……………（吸い込まれる音）

「えっ、あの時のカルマノイズ!？」

「コイツがそうなのか!？」

「焦るな!立花、【雪音】、行くぞ!」

「おう!」「はい!」

待って。

待ってホント。

戦場に飛び出すとは思わなかったけど!それよりも!

1人増えてるんだけど!「雪音クリス」さん増えてるんだけど!ヤバい!遠距離戦が出来るのが増えるのは本当にマズイ!

STRもCONも足りてない以上、DEXとスキルで押し通すしか

無い！周辺の遮蔽物は0、緊急テレポは発動トリガーが不明だから作戦外！使えるのは再生速度ゴリ押しに、ランナーと回避……………恐怖耐性のおかげかは知らないが、明確な《死》が近いハズなのに問題無く身体は動く！あれだけ要らねえとか叫んでたけどゴメン、割と使えるわ。

取り敢えず、やるだけやるしかねえ！どうするのが正解なんだ？拘束…………は無理だな。カウンターで身体中ズタボロにされるだけか。再生にものを言わせた特攻……………も、ダメだな。こつちの再生速度を超えるレベルでこの3人は攻撃出来るハズだ。越えられればあっさり死んで終わり……………

あ、【良い事】思い付いた……………

「前会った時よりも速くなってる……………?」

「おいバカ！上だ！」

「へ？うわっ……………技を真似されてる?」

「はあ？バカな事言っていないでさっさと片付けるぞ！」

「うわっ！やっぱり技を真似されてるよクリスちゃん！」

「んな事が有り得んのかよ！アタシが弾ばら撒くから一旦引け！先輩も！仕切り直しだ！」

「承知！」「分かったよ！」

うおっ、とんでもない密度で弾が……………！

死ぬ気で避けるオオオオ！

『スキル：回避がレベルアップ』『スキル：格闘術を獲得』

……ふう。身体に5発程もらってしまっただが、これならまだ回復出来る。それと、欲しかったスキルが獲得出来ただけに限らず有用スキルがレベルアップした。これはデカいな……………

さて、どうしたもんか……………格闘術を獲得出来た以上、立花響の攻撃は脅威ではあるが脅威度を下げる事が出来た。見様見真似で受け流しを出来なきゃならんが……………それはなんとか引き出していくしかない。

それよりも問題は【雪音クリス】と【風鳴翼】だ。あの二人がシヤレにならん。連携も実力も間違い無くこの場に置いてはトップクラス……………ハッキリ言つて、数レベルアップした所でどうにかなる相手とは思えない。

と、なるとスキルでなんとかこの場は凌ぎ切るしかない。幸いな事に、向こうも作戦の練り直しをしているのか攻撃態勢は整えているが攻撃はしてこない。

戦闘で使えるのは回避にランナー、格闘術……………回避にものを言わせてランナーで何処か遮蔽物のある場所まで走るか？DEX19なら、かなりの速度で走れるハズだ。

というか、それしか無いような気がする。いくらなんでもこんな開けた場所であのトリガーハッピーを避け続けるのは無理ゲーにも程がある！

やるしかねえ……………チャンスは向こうが仕掛けてくる一瞬……………理想は包囲攻撃！

「行くぞー！」

「ああー！」「ハイッ！おおりヤア！」

来たッ！雪音クリスが遠距離からミサイル、立花響が正面からの一撃でフェイント！風鳴翼が遊撃！

耐えろ……………まだ……………まだ……………今！

「えっ、あつ、逃げた!？」

「はア!？」

「追うぞ！雪音！立花！」

何が悲しくて美少女3人とリアル鬼ごっこしなくちやなんねえんだよクソツタレがア！

アカンガトリングは死ぬウ！ミサイルも死ぬウ！ていうか何されても死ぬウ！

鬼畜ゲーって長い奴は長いよね

ぜエ……………ハア……………

なんとか森林まで逃げ切ってやったぞこの野郎……………

何処だここ…………… (迷子)

取り敢えず疲労感が凄過ぎて【この後】に支障をきたしそうなので木に寄りかかりつつもステータスをチェックする。

ランナーが2Lvアップに……………なんか予測が1Lv上がつてるな。なんでや？まあいいか。

休み始めて3分もすればさつきまで聞いていた声が聞こえ出した。恐らくもう直ぐそこにまで来ているのだろう……………

だがまあ、この入り乱れた森林の中ではいくら【雪音クリス】とはいえ満足に狙いはつけられまい……………と、なれば残りの2人をどう躲しきるか……………

「あんの野郎……………一目散に逃げ出しやがって……………」

「司令によると、反応はこの近辺らしい。油断するなよ、2人共」

「わーってるよ先輩！」

「翼さん！居ました！」

バレたっばいな……………さて、どうしたもんか……………

「ぶっ飛びやがれ！」

……………なんであの子こんな森林でマイクロミサイル発射準備してんの!? ヤッバイ死ぬッ!

危ねえ……あんな豪快に来ると思わなかった。
なんとか木を犠牲に後ろに飛び退いたけどさつきまで居た場所火
の海だぞおい……………何考えてやがる？

「雪音！引火したらどうするつもりだ!？」

「だけど、それよりもアイツをやらないと街に逃げられたら!」

……ああ、俺の行動がイレギュラー過ぎて焦ったんね。そりやカル
マノイズが装者というか人間目の前にして逃げる訳無いもんね！

俺のせいじゃねえか！

オイオイオイ、コイツやらかしてるわ（確信）
取り敢えず、立花響はどこ行った……!？」

「ハアツ!」

やっばい上ツ——!？」

』／＝％＋…；＃＝＃@_＄、>!!!???'

「グツ……………耳が……………」

「カルマノイズって叫ぶのかよ……………!」
「耳が…………キーンって……………」

ああ、いつてエ…………滅茶苦茶いてエ…………
足斬られた時何も無かったじゃんか…………胸部は激痛走るとか聞いてねえぞ……………とか軽く小指辺りぶつかっただけじゃん……………受け流し間に合ってたらなかったらどうなってたんだマジで。

あ、そーいやシンフォギア纏ってる状態ってどんな少女でもバケモンになるんでしたね!ハハッ!

『スキル・恐怖耐性がレベルアップ』『スキル・予測がレベルアップ』『スキル・治癒力強化がレベルアップ』
『レベルアップしました』

ここで、レベルアップか…………DEX、INT、EDUの3つが同時にこれで5の倍数になったはずだからDEXは20になって更にマシになるはず……………怖いしステータスみとこ。

うん、問題無くレベルアップと同時に全ステータスが1ポイントずつ上がって残ポイント5、問題無く予測は合ってたっぽいね。

で、どうしよ……………(無計画)

なんとなく勘がDEXに振れと叫んでた気がするののでそれに賭けてDEXに残ポイントを全部振る。これでDEX25……………さっきまでと6ポイント分の激しい差がある以上、慣れないと間合いが分からなくなりそうだなこれ……………

取り敢えず、突っ込む!

あ、待って速スギイ!でも止まれないから仕方ないよねキーク!

「グアツ!？」

「翼さん!？」 「先輩!」

凄まじい運動エネルギーのまま風鳴翼の刀にハイキックぶちかましたら軽く吹き飛んだでござる。うござる??

取り敢えず今のでおおよその感覚は掴んだから急停止ぐらいは出来るハズ……ツ!

あ、でも間合いを計るのは勘弁な! 正確に踏み込むとか無理だから!
取り敢えずすぐその立花さんに向かって全力右ストレート!

「ぐっ……速い……!」

止められたんだけど……え、泣くわ……

しかも今押し合いになってるけど完全に力負けしてるんすけど………女の子に力負けた………

あ、無理押し切られるわコレ。引こ……

あ、丁度いいや《調律》をここで使ってみよう。

『@%………タチ@。く#バナ………?+、一・+ヒビ、キ!』
「えっ!？」

『スキル：調律がレベルアップ』

よし、クツソ難しかったけど困惑させる事に成功。ついでにスキルレベルも上がって嬉しいですねえ! ただまあ、銃弾が飛んでくるんですけどね。ん? スキル上がるの早くね………?

あっかん無理! DE X 25に上がったし足も変な奴じゃなくてちゃんと二足歩行とはいえ慣れて無さすぎて無理!

『スキル：回避がレベルアップ』

ご都合展開と言わんばかりにスキルレベルが的確に上がるなあ

イ！20発ぐらい被弾してるから何とも言えないんだけどな！ガトリングとか避け切れる訳ねえだろうが！

「ねえクリスちゃん！このノイズ私の名前呼んだよ!?」

「はア!?何言ってるんだバカ!」

おーおー困惑してる……………

さて、どうやって逃げよう……風鳴さんシレッと休憩してピンピンの状態で戻ってこようとしてるの見えるしさあ！立花さんは元気過ぎてずつと襲ってくるし！雪音さんに関しては体力もクソもねえ！ばら撒くだけで強いってなんだよアレ！

緊急テレポト………は、なんかスキル一覧に居ないんだけど？え？待って、どういう事？

非アクティベートかなんかって事ですかア!?お前さつきまであっただろうが！どうなってるんだよ！このまま逃亡生活………無理に決まってるだろうが！リーダーかなんかで捕捉されてるくせえぞ！どんだけ突き放しても追っ掛けてくんだろうが！隠居なんざ無理だろうがバーカ！

だあー！ガトリング避けるのもそろそろ疲れてきたぞ！木とか岩とか犠牲にしてんのに一向に止む気配ねえ！弾数守れよ！エネルギー弾とかずりい！なんでこんな頻度で死線潜らされんだよ！

あ、マズイ人が戦線復帰してきた。

「ハアッ!」

刀を横に振り斬るんじゃないやねえ！全力上体反らしいいい！そのまま足払いッ！

「何ッ!? シッ!」

足見てからジャンプ避けしてんじやねえ! 反射神経バケモンかよ!? クツソどうすんだよこれ! マルチタスク出来ても対処法浮かばないんじや無意味だぞ!

……うーん、調律で無理矢理言葉を捻り出して時間を稼ぐしか浮かばない。

でも、話聞いてくれるか……? 立花さんはまだしも残りの2人は話の前に刀と銃弾が出そうだしなあ……

いやもう、迷ってる場合じやねえ! あんまウダウダしてたらこっちが死ぬ! 一か八かの勝負しかねえ!

せーの

『タチバナ、ヒビキ!』

「はア!? ノイズが喋ったア!」

「やっぱり! 私の名前を呼んでたんだよ!」

「ノイズが立花の名前を呼んだだと……!」

あれ? 調律1Lvしか上がってないよね? ノイズフィルターかける必要無くなったんだけど? しかもこの声割と高めだけど誰の声ベース?

いやまあ、後々で良いか……

『オマエハ、タチバナヒビキデハ……—||%!(+—%……ナイノカ……—%&amp;……(、;』

「え? そ、そうだけど……?」

「ノイズが喋るだけでなく、立花を知っている……?」

「コイツとなんかあったのかよ!」

うん、何故か知らないけど滅茶苦茶喉みたいな場所が痛い。さつき

の胸部全力殴打の7割ぐらいの痛みがずーつとしてるんだけど……？

『オマエハ……オマエタチハ……@& a m p ; ||—< , , > +>?』
「えっ!？」

「喋れる時間には限界があるって事かよ？」

「しかし、最後の言葉はいつたい……」

おおぅ………耐え切れずに声壊れちゃった!いや痛え、喉みたい
な場所ホント焼き切れるんじゃないかってぐらい痛い。あ、でもなん
か凄いマシになってきた。これが治癒力強化くんの使い所さんです
か？

取り敢えず、アホな事しながら時間稼ぎしてる間にスキルを見なが
ら作戦を組み上げる事には成功した。マルチタスク便利過ぎてビビ
るわア!

とりあえず、「風鳴さんの刀」を頂くのは論外。さっきあの人ハイ
キックぶちかましたのに刀手放さなかつたから多分今の俺じゃ奪う
のは滅茶苦茶ハイリスクだろう。

次、「雪音さんの銃」を頂く。これも却下。なんかエネルギー化して
銃が出たり消えたりしてるから多分奪ってもエネルギー化されて終
わりだと思う。

はい最後、「立花さんの格闘技」を死ぬ気で学んで格闘術のレベルを
ここで上げる。1番現実的なのはこれだと思う。

体力はいくらスキルがあるとはいえ、無尽蔵にある訳では無い。そ
れに比べ、向こうは戦闘時以外はバイクとかブースターとかヘリなん
かで休みながらコッチと同じぐらい速く移動出来る。

緊急テレポートは論外。スキル一覧には未だに無いし、さっきもバ
ピロニアの宝物庫を浮かべたけど何の反応も無かった。恐らく、スキ
ル一覧に何らかの理由で生えないとダメなのだろう。

で、戦闘時間は前の時よりも明らかに長い。という事は、戦闘時間

が発動可能トリガーでは無い。

そうになると、未知のトリガーの為此れを頼りに戦術は組めない。そうなるとう出来る事は、この場で可能な限り応戦する事だろう。レベルアップは帰還時等でなくても起こる事は分かっている。なら、新しい領域を解放するまで戦ってレベルアップを狙った方がまだ現実的だろう。殺害せずともレベルアップは発生したから、死線を嫌でも潜れば後ひとつは上がるハズだ。そうすれば全ステータスに1ポイントと、フリーの5ポイントが手に入る。

で、真面目にやり合おうと余裕で死ぬるが、先程の戦闘で格闘術の有用さは既に学んでいる。コイツを使えば倒せずとも生き残りは出来る筈！

今できる事は……………今ある全てを使って生き残る！

リアルは辛いよ

「来るぞ！2人共構えろ！」

「言われなくともわーってるよ！」

「ノイズさん……分かり合えないの……？」

はい、私です。レオンです。

「戦わなければ生き残れないしよとしたら、立花さんが良い子過ぎて精神が折れそうです。」

でもやらないとそれ以外のふたりに殺されるからね、仕方ないよね。

という事で開幕立花さんにハイキック！

「グッ……言葉が分かるなら、話し合おうよ！」

「ノイズはノイズなんだぞ！やらなきゃなんねえだろうが！」

「だけど……！」

調律が想定以上の効果を発揮している様で何よりです。

まあ動揺しても今仕掛けてる連撃全部捌かれるか受け止められてるんですけどね……ツライ……

ちなみに言葉を返さない理由はまた喉的な場所が痛くなるのが嫌なのと、この子と話したら本当に精神が折れそうだからです。かなしいけどね、戦わないと後ろの2人から大変な弾幕と斬撃が殺到してマジで死んじゃうからね、恨んでね、うん。

「ッ……そりゃッ！」

まっずい直撃コースツ——

『「#f@」、ッ!』

「話せるんでしょ!?話し合おうよ!」

クツソ……もう一撃胸部にもらうと思わなかった……!

分かっていたとはいえ痛過ぎる……!

しかもその顔と話す内容止める!ホントに戦うのがツラくなる!
しかも連撃どんだけ仕掛けてもちゃんと入らねえ!殆ど受け流されるぞオイ!なんでその角度から受け流せる!?

腰据えて1発ッ!

あ、腕のプロテクターに入った。少しずり下がったし、かなり良い一撃だったのでは?

『スキル：格闘術がレベルアップ』

よしッ、生存確率上昇!

「バカ!一旦下がれ!」

「ッ……分かったよ、クリスちゃん!」

「オラオラオラア!」

滅茶苦茶に弾ばら撒きやがってあの野郎……!しかもその癖に……!……しまった、風鳴翼ッ!

「ハアッ!」

後ろかああああッ!間に合えええええ!

『|@; / ・ ^ @!!!』

「今の一闪を避けた……だと!？」

「ウソだろ……完全な不意打ちだったのに!」

グツ………木に思いつきり身体打ち付けた……

けど、なんとか全力で前に飛び出すのは間に合った………あのままだったら心臓辺り斬られてたぞ……

多分、胸部を弱点部位と判断してやりに来てんだろうな………俺としても胸部のダメージは何か起きるか分からん以上、絶対にこれ以上はもらえない、と……

にしても、なんかえらい落ち着いてんな俺？

あ、アレか恐怖耐性か。どつかのタイミングでまたレベルアップしたからそのおかげでかなりヤバイレベルでも落ち着いて判断が出来るな………

『スキル：高速演算を獲得』

は？何コレ………？

名前的には有能な予感がするけど、何処でこんなスキル手に入る行動した………？まあいい、後で考えりゃ良いだけの話！

今はこの場をなんとかしても切り抜ける！

「グツ………なんでコイツはバカにご執心なんだよ!」

「立花！理由は分からんが狙われている！一旦逃げてくれ!」

「翼さんにクリスちゃん………分かりました!」

まっずい！格闘術上げれる可能性が低くなる………でも、この包

「罣網を突破出来ねえ！」

クソっ、逃げられた……！」

「さあ、何故立花に執着するのか教えてもらおうか？」

「バカに何かするつもりなんじゃねえだろうな？」

左手に銃、前方は刀………連携プレーは言わずもがな………誤射は期待出来ない………詰んだか………？

「……話すつもりは無いという事か？」

「それなら、普通のノイズと変わんねえな？」

拷問に掛けるかのように圧を掛けてくるな………話せるし執着するならそりや情報を引き出したいよなあ………

ただまあ、計算は終わった。逃げ切らせてもらうぞ！

「ッ、逃げるつもりか！」

「追っ掛けて………ッ！先輩！木が!？」

さつき風鳴翼が全力で刀を振り抜いた時にどうい訳か斬撃が飛んでいたが、それが当たって木が一本半分程にまで削られていた。あの立花響と速度が乗っていたとはいえ、押し合いが出来るぐらいのパワーが俺にもあったなら、「全速力で走って蹴り抜けば倒せるのでは？」と判断してやってみたがどうやら上手くいったらしい。

5秒は稼げるハズ！全力で走る！DEX25ナメんな！

最初の荒地に戻ってきてやった……………ハア……………

さつきよりも速度は跳ね上がったから、3分以上の余裕はある筈……………前の緊急レポートは出現地点付近でやったからこならどうだと、スキル一覧チラ見したけど緊急レポートは未だに出現せず……………

なんですか？スキル一覧から緊急レポートしましたっけ？詰むぞ俺？神様恨んじやうよ？

ハア……………レベルは上がらず、スキルは格闘術がレベルアップと、高速演算とかいうヤツを獲得したぐらいで……………充分デカいんだが、明確な逃走ルートの確約が出来てないのがツラすぎる……………緊急レポートが帰ってこなかったら、最悪逃げながら休息を取る必要があんのか……………ヤバいな……………

座れる場所も無いから地べたに胡座かくしかねえし……………寝っ転がったら石だらけで感触最悪だし……………ま、いくらファンタジーでチート手に入ったとはいえ楽には行かないって訳ね……………

『スキル：逆境を獲得』

なんか黄昏てたらスキルゲットしたんだけど……………本当に良く分からない行動でもスキルゲットのトリガーになるのね……………

休憩可能時間は、ざっと5分か……………今の間に作戦を組み直さないといけないとかしんど過ぎるぜ……………？

「ノイズさん」

——え？

なんで、俺の後ろに立花さん居るの？君逃げてなかった？もしかしてこっち逃げた方向だったの？え、これはオワコンなのでは？

「喋れるんですよ？私は、貴方と話したい！」

……ああもう、良い子ってこういうの言うんやろうなあ
……少々、過剰な気もするけど……

『……なぜ、ソナニ……』

「カルマノイズって、あんまりよく分かってないんです……もし、貴方みたいに意思があるなら私は話し合いたい！」

……ふーん。ま、貫き通す意志の強さってのはあるんだろうが
……矛盾してんなあ。

『ナラ、ナゼノイズハコロシツクシタ?』

「それは……………私達が生き残る為に必要だったからです」

『;(+##@…………オマエは……………』

『スキル：調律がレベルアップ』

急に流暢さが増したと思っただけならまたレベルアップしたんかい。ていうか滅茶苦茶焼けるように痛いけど治癒力強化でゴリ押すと案外話せるなコレ。無事に戻れたら練習しよ。

『オマエハ、罪ヲミトメている。ナラ、それでいい……………#?@—+%』

「……………それって」

『……………ヤツテみろ、オレを……………—#~(:@』

精神折りに行こうかと思っただけ、罪を認めて進んでるタイプってこういう話続けると折れるどころかブースト掛かるから早めに切るに限る。後めちやくちや喉(仮称)痛い。

で、この子はどうするつもり……………あ、ヤバイ予感がピンピンに

……………

「立花ッ！」

「飛べ！」

「へ!?!うわっ！」

いや、銃弾はまだしも斬撃飛ばすって何……………?

相手の方がファンタジーしてない?取り敢えず、後ろにジャンプッ

!

あああ!砂煙で何も見えねえ!

「翼さん……………私に任せてもらえませんか?」

「……………何か、策があるのか？」

「私は、ノイズさんとも分かり合えるって信じてるツ！言葉が交わせるなら、誰とだって分かり合えるハズです！」

「……………フツ。託したぞ、立花！」

「クリスちゃんも、それでいい？」

「先輩が当てられてんならそれで良い……………けど、絶対にしくじんじやねえぞー！」

「分かってるよ、クリスちゃん！」

なんかマズイ会話聞こえるんですけど……………覚悟決めないと……………ダメそう？あ、回避不可？なるほどなるほど……………

あ、これヤバい奴ですね。

死が視える……………

「私は歌で、ぶん殴る！」

『コイツ！』

!!!!!! やってやんぞコラアアアアアア!!!!!! 男のど根性ナメんなアアアア

『スキル：格闘術がレベルアップ』

……………これで、格闘術Lv4……………

被拳数200オーバー……………

ヒット数……………30……………

向こうまだまだ元気そう……………向こう歌いながらなのに……………

見て学ぶってこんなムズいん……………？

全体的に繰り返し出される蹴撃とか拳撃が早過ぎて初動しか掴めねえ

……………肝心の内容が掴めない……………！

それに、こっちは一撃入る事に治癒が必要だったのに……………こっちの一撃はまるで手応えが無い……………！

けどまだ諦められつかよ！あつぶない一撃避けながらアホな事考えられる程度にはこっちだってまだ余裕あるんだよ！

『スキル：マルチタスクがレベルアップ』『スキル：逆境がレベルアップ』

マルチタスクがレベルアップしたのは良いとして、この逆境ってホントなんだよ……………！名前からして火事場の馬鹿力的な事出来んのか？それだったらレベル付いてる意味なんだよ……………！！？

「ハアッ！」

速過ぎるって、言ってるんだろうがア!

「うわッ!?ハアッ!」

——ん?なんか今無意識だったけど、もしかしてカウンターみたいなの入った?直ぐに反撃の一撃飛んできて躲しきれずに腕にもらったけど……………

もしかして、格闘術Lv4って攻撃反応出来る様になった?

だとしたら…………勝機があるかもしれねえぞコレ!

考えろ。今ココで考え付かなきゃ、待つてんのは明確な《死》な事ぐらい分かってる。せつかくマルチタスクに高速演算とかいうマジのチートみたいなのが手に入ったんだ。最大限活かしてやろうじゃねえか……………!

『スキル:高速演算がレベルアップ』『スキル:逆境がレベルアップ』『スキル:予測がレベルアップ』

なんかアホみたいにスキルレベルが上がったんだが……………まあ、そんな事よりももう限界だ。

胸部に流し切れず追加で3発ぐらい殴られた時に嫌な異変を感じ取れてしまった。

なにか、根底にある形容出来ない《ナニカ》が磨り減ってるかの様

な感覚がする。

何が磨り減ってるのかも、どんな形なのかも分からないが、殴られたタイミングで痛みよりも先に《消滅のイメージ》が脳内に湧き上がる。

多分だけど、これ以上下手に喰らうと本当に死にかねない。

悪いが、ここで終わらせるッ！

「せいッ！——へ？」

その右ストレートは予測済み。全力で受け流しながらダツシユで詰め寄る。で、右手で全力で腹パン。

「グツ、ハアッ！」

その腹パンを止められるか流される事も想定内。今回は左手で受け止められてからの右手を引き戻してフック。

——完璧だ。

「へ？うわあっ!？」

フックを死ぬ気で右手で受け止めてからの！

両手が塞がってるからそのままここで敢えての《調律》！

なんでここで調律を使ったのかと言う話だが、この世界には《フォニクゲイン》という歌を利用して湧き出るトンデモ物質？がある。これを利用して聖遺物の欠片を起動させる事で纏うのがシンフォギアなのだが……

最初に調律なんてスキルを手に入れた時、真っ先に浮かんだのは「これ使って聖遺物動かせたりしない？」だった。

俺が調律するのは、《立花響の纏うガングニール》と《俺自身のフォニックゲイン》！

2つの波形を、1つに！良いですとも！一人芝居悲しいなオイ！

「え!？」

あ、なんかギアペンダント凄い光ってる。目に悪そう。

あ、ヤバイ調律成功した気がするけど光で目が……後何故か意識まで持ってかれる……!？」

「——えええつ!？」

……………めっちゃうるせえ。

一体何が起きてる……………ん？

うん、立花さんの装備は何も変わってないね。さっきと同じシンフォギア纏った状態だね。

この【両腕に感じる重み】は何？見たくないけど見ないとダメなんだろうなあ……………チラッ

『……………エエエエッ!?!』

なんか両腕にガングニールみたいな《謎のプロテクター》着いてるんですけどオ!?!しかも黒色だし！
ていうかめっちゃイントネーション普通に喋れた!?!何故!?!

「……………えっと、こんにちは？」

『……………コンニチ、は?』

待って、この声誰!?!女声だけど誰だよ！
何コレ？

スキルどうなってんだよ！

何故か、調律がLv7にジャンプアップしてたでござる……………しかもなんか種族が……………

種族：カルマノイズ（聖遺侵食：15%）

とかいう理解不能な事になってたんですけど!?!

「ところで……………なんでそのプロテクター私そつくりなの？」
『え?……………エ?……………』

これってさあ……言わないとダメだよねえ……ていうか、確実にこれ心象変化みたいな感じだよねえ……？

『えツト……立花さんヲ、1番見テタカラ？』

「ホント!?嬉しいっ!仲間だよ仲間!ねえ握手しよ握手!」

『エ?え、うん……?』

急にテンション爆上がりで怖いんだけど……え、この子こわ……ていうかなんで模倣しただけでこんな喜んでるのこの子……?陽キャってこんなのばかりなの……?もしかして、時間制限案外伸びてたりしない……?

『エツト……タチバ+@||!/?#+@』

「ん?なんて言ったの?」

おい、空気読めよ!喉の痛みは少ないけどまだあるからゆるぎさ
ん!

修羅場ニアファミリー

「……………それで、どういう事か説明してもらおうか？」

『俺にモ分カラナイんだよ……………!』

「ほう？シラを切るようなら……………」

『MATEE!マジデ分カラナイノ!ホントニ待つテ!』

はい、私です。レオンです。

見事に腕だけガングニール化した後、戻り方が分からず戻れないわ、普通に存在忘れかけてた2人に銃と刀突き付けられながら現在拷問されてるわでそろそろ泣きそうです。

正座させられてるけどめっちゃ足痛い、痺れる。

ていうか、この状況でも普通の人触ったら炭素分解しちゃうんやろうか……………怖いなあ、やっちゃまいそうで。

『……………アノ、一応触レル時は気を付ケテくださいね?』

「自分からその様な事を言うとは、面白いノイズだな」

『そう思っテナイ顔でスヨネそレ……………?』

めっちゃ怖い。目も顔も笑ってないんだけど?

風鳴さん怖過ぎん?泣くよ?顔無いけど。

「翼さん……………もうそのぐらいで……………」

「何を言っている立花。せつかくのチャンスなのだから有用な情報をだな……………」

「ノイズさんびくびく震えてますよ!」

ああ……………こういう時に立花さんが天使に見える……………(白目)

で、どうしよ……………どうにかしてこの場を潜り抜けないと……………

「そうだな……………ギアペンダントが光ったアレは一体どういう事をしたのだ？返答次第では……………」

『ヒイツ?!いや、アノデスね……………#—(; a*~』

「あれは、なんだ？」

『……………』

ここで声壊れるウ!?

ていうか言える訳ねえだろうが【聖遺物のフォニックゲインと自身自身のフォニックゲインを調律しました】なんて誰も出来てねえ事だよオ!

スキルの話なんざしてみろ!視線は凍るわ手の内バレるわで地獄一直線だぞ!

でもなんとかして言いくるめないと死ぬ……………死ぬ……………!

あ、スキル一覧くんに緊急レポートくんが帰ってきてるやん!おかえり!なんで今!?!もつと早く帰ってきて欲しかったかな!

行くぞ!秘技、緊急実家テレ帰レポート!

「……………逃げる気かッ!?!」

あ、なんか凄い形相で風鳴さんが……………

ただいま。

『レベルアップしました』

最高だけでもっと別タイミングあったろ。なんで今更スキルくんが帰ってきたのかはともかく、やっと………何も無いけど落ち着けるんやなって………

で、最近考えたんですよ僕。誰に対して言ってるか分からんけど。緊急レポートでここに来て、定期的に現世？に送り出されるなら、ココは所謂《拠点》的な場所なんじゃないかって。

という事は、ここになんらかの資材を持ち帰って工房的なのを立てたり、研究用の棟を立てて送り出されるまでに準備をしろという事なのでは？（迷走）

そうと決まれば、次送り出された時には死ぬ気で資材を持ち帰る！

………あれ？どうやって俺資材持ちながらあの鬼畜ゲークリアすればいいん？無理では？

——— そうだ、ステータス見よう（現実逃避）
レベルアップしたからね、おいしいね。

次のレベルアップを期待してSTR、CON、POWに振るか、どれかステータスを確定上げてして残りをDEXかEDUに振る………つてのもアリだな。

ていうか、スキルレベルの上がり方がレベルアップしてからなんか早くなったのが気になるんだよなあ……………調律のインフレはまだしも、獲得してから逆境とか一瞬でLv3まで上がったし……………何が理由なんだ？

ま、判断材料少な過ぎて確証取れないしまだいいか……………（無能継続）
取り敢えず、考えてて思いついたのがこのバビロニアの宝物庫の探索なんよねえ……………

もし原作同様「フロンティア事変」が起きていたなら、この何処かにネフィリムか、ソロモンの杖が落ちててもおかしくは無いと思うんだけど……………

前者はレベル上げチャンスの代わりにガチ死の可能性。後者は後々、滅茶苦茶有利になるハズ……………さて、吉と出るか凶と出るか……………DEX26あるんだし、走り回ってみるかあ？

何故か無傷のソロモンの杖がありました。

多分、ネフィリムくんがゼツ○ンもビツクリの1兆度で蒸発した後だよね？何シレッツと無傷で生き残ってるの君？おかしいよね色々？

まあまあ、ええやろ（寛容）

というかこの杖使えば任意で現世と宝物庫行き来出来るのでは？
やってみる価値ありますぜ！

という事でゲット&コマンドを……………

コ、コマンドを……………

上上下下左右左右B A！

……………あるえ？どう使うのこれ？

まさかのレプリカ？俺が使えてないだけ？ええ……………？

はい、ステータスの振り方考えまーす……

結局STRとCONに2ずつ、DEXに1振った。

先の戦いで圧倒的STR不足を感じちゃったからね、仕方ないね
……………速度で誤魔化せる領域にも限度があるんだよオ！

さて、また現世（仮称）と繋がるまでこの空間で何をしようか
……………一直線に走ってきただけだからこっから回れ右してもう1
回全力ダッシュすれば戻れはするんだが……………いや戻ろう。あの
場所にしかゲート開きませんかと言われたら俺、延々この場に居る事

になるじゃん。絶対ヤダ。

戻ってきたらまたゲート開いてました。

今度は……砂浜？えらい唐突……ビーチで水着着てる装者でも見れて眼福がCome onするんですか？目玉潰されそうだけど良いねそれ！

絶対そうじゃないんですけどねどうせ……ていうかカルマノイズの目玉って何処なんだ……

とりあえず、ソロモンの杖を持ってイクゾー！

思ってた以上に綺麗な普通のビーチでビビってるなう。

誰も居ないのは嬉しいのやら寂しいのやら………ていうか、思ってたけど季節いつ？装者達どの季節でもあんの寒そうなパワードスーツだからガチで季節分かんないんだけど………俺は何故か温度差感じ取れないのか知らないけど常に良い感じだし………

取り敢えず、こつち側なら宝物庫は………

開けた！やった！勝った！第3部、完ッ！

資材という資材集めてやるぞコラア！………流木とか（エコ）

はい、もうどんだけ時間掛かったか分かりません。

ゴミとかでも弄ったらスキルの糧にならないかなーとか思いながら拾い集めて宝物庫に放り込むのを繰り返してたら、砂浜がめっちゃ綺麗になりました。

何しに来たんだっけ俺………？

とりあえず………調律の練習でもしてみろ？あんの宝物庫内ならまだしも、お外で歌ったら少しは気も晴れるでしょ………

で、この謎の高音なんだけど………どれぐらいが1番合うんだろう………俺歌詞覚えてるシンフォギアの歌滅茶苦茶少ないんだけど………

よし、皆大好き（偏見）【逆光のフリーユージェル】でも歌うとしよう。

あんな音楽系詳しくないけど、こんだけ高音出せるなら多分歌えるっしよ……………

『~~~~』

あゝそうそうこんぐらいの音程で……………あーうん、そうそうこんな感じの伸び方だった気がする……………

『~~~~』

サビも問題無く歌えるねえ。予想以上にシツカリと声が張れる様でなにより。調律Lv7まで行くとこんだけハッキリ発音出来るなら案外行けs……………

『~~~~@〔!；；1』

うゝあゝあ……………2番入る直前で喉部分ブツ壊れた……………痛みはマシだけどそれでもいてえのはいてえ……………

『スキル：治癒力強化がレベルアップ』

歌うとなんか自傷してんのか？痛い理由は再生が必要なレベルでどつか痛めてるって事だよな？という事は歌えば調律と治癒力強化にまだ見ぬスキルの強化に役立つかもしれないねえって事か？

よーしぼくもつと歌っちゃうぞ〜！

むなし。

誰も居ないビーチで延々歌い続けるのが本当にツライ。あと単純にバリエーション無さ過ぎてツヴァイウイングの曲が多い。5曲目ぐらいからもうシンフォギア関係無い普通の前世で有名だった曲歌ってたぞおい。

あ、また喉ぶっ壊れた。

『スキル：歌唱を獲得』『スキル：恐怖耐性がレベルアップ』『スキル：治癒力強化がレベルアップ』

常に喉部分がビリビリしてるけどどんどん元に戻るまでの速度が早くなってきた。と言ってもまだ3分以上は掛かるけど……………あと、なんかスキルげっちゆしたけど歌うの上手くなるとなんか美味しい点あるのかな？うーん……………

「何故、貴様がソレを知っている？」

「翼さん顔が怖い……………いやでも、確かに気になる……………」

声聞こえたと思っただらさあ……………凄い形相の風鳴さんと震えてる立花さん居るし……………

さて、風鳴さんの疑問どう答えよう……………

『ライブヲ見ていただけだ』

「……………貴様、まさか2年前に……………！」

『何の話ヲシ…#!!（*/』

「貴様がアツ！」

おいちよつと待て。

殺意の跳ね上がり方尋常じゃないどころか斬りかかってくんじゃ
ねえ！何が琴線に触れた!?

あ、まさか……………

ライブ▶いっぱい

ツヴァイウイングの曲▶（少なくとも）2年以上前のみ

ノイズ襲撃事件▶（多分）2年前のネフシユタン事件

……………勘違いなうですか？これ。

クツツ！もう1回話せるレベルまで約2分半！ブチギレSAKI
MORIの攻撃避け続けるしかねえ！

覚醒の時

「ゼエヤアッ！ハ　　アッ！」

はい、私です。レオンです。

風鳴さんの地雷踏み抜いたのか、ブチギレ大暴れモードで大困惑なうです。

ていうか殺意がやば過ぎて恐怖耐性Lv4なのにブルってきた。一線越えて笑えてくるわこれ……………ハハッ

で、真面目な話どうしよう……………力が入り過ぎて　て〇を

みたいな事になってるんだけど……………このままほっといたらキングストーン取り込んだりしない？ゆるゝさんとか言い出したりしない？大丈夫？

「貴様もツあの時にッ！」

「待ってください翼さん！」

「待てる訳があるか立花！こいつは……………コイツは！」

あるえ？予想以上に深く踏み抜いたのか知らないけどバーサーカーになってない？ホントにキツいんだけど？

あつぶな！ヒエツ、心臓部分狙い過ぎだろ！どんだけ深い地雷なんだよいくらなんでもおかしいだろ！

ま、こんな感じで避けてる訳だけ……………《調律》したくなってきたな……………(禁断症状)

ガングニールの力を得れたら良いなく程度の予想でやった前の調律は、俺の予想を遥かに超える結果をもたらしてくれた。

というのも、しばらくゴミ拾いしてやってやっと気付いたんだけど手がノイズの時の手じゃなくてシンフォギアのインナー付けた手になってたんだよね

もちろんガングニールなので黄色のインナー。

触ってみたら筋はあるけど弾力も感じた。俺の知ってる人間の手にそっくりだった。ノイズの時の手触った事無いけど、多分ぶにとしかしてなかったと思う……

まあつまり、【聖遺侵食が進めば炭化を防げるのでは?】と思った訳ですよ奥さん。

いっちよやってやるか……その為には、何が何でも今の風鳴さんに詰め寄る！覚悟決めろ俺！

「来るかッ！」

速い、速過ぎる。

刀の長さを見た上で、高速演算とマルチタスクを併用してなんとか射程距離を掴んでいるけど……一手間違えたら、多分ダルマになっちゃう。

再生するとはいえ、ダルマになったら胸部がガラ空き……そうやってしまえば多分、俺はあっけなく死ぬ。

なのになんでだろうな……

これ程までに明確な突破方法の浮かばない壁を見て、喜んでしまっている自分が居る。

多分、恐怖耐性で【そういう事】に対して異常耐性を得ているのもあるんだろうが……1番の理由は多分、まだコレをリアルと受け止めきれないんだろうか……?

確実な【死】をもう2回程経験しているハズなのに、考え方に大きな差が浮かばない。それどころか、この状況を楽しんでさえいる。

何処で俺は、こうなっちゃったんだろうか……

うわ、歌が進んだら体力減ってるハズなのに刀の速度とか更に上がってるし……どうなってるんだマジで……

だが遠距離からでも私は仕掛ける！【俺自身のフォニックゲイン】

を《調律》によって周辺の場と一体化させて、撒き散らされている【天
羽々斬のフォニックゲイン】を簡易的に取り込む！

『カルマ並びにフォニックゲインの規定値到達確認』

『“罪の器”の資格を確認』

『ガングニール・レプリカント強制起動』

.....は？

『@ | ! | (; + % ; ! % @ |
!!!!!!??????』

——んあ？

やべえ、完全に意識飛んでた……………

……………なんで、風鳴さんと立花さんが向こうで倒れてる？そして

「動きが止まった!？」

「今がチャンスデース！」

「2人の代わりに私達が倒す！」

「行くぞ！」

なんで装者が大集合してやがる？
クソツ、状況確認の暇すら、ねえっ！

「先輩とバカの分を喰らえ！」

「たっぷりとお返しよ！」

クソがア！雪音さんの銃撃もシャレにならねえってのに、【マリア】さんの蛇腹剣ヤバすぎんだろうが！どうやってあんな離れた位置まで正確にコントロールしてんだよおかしいだろうが！あやべえ左腕斬られた。

錯乱してる場合じゃねえ……………【暁切歌】と【月読調】……………連携バケモンの2人に、雪音クリスとマリア・カデンツァヴナ……………なげえ、マリアの面制圧専門職……………マジでどうやってこっから生き残る!?

さっきのあの意識を失ってる間に何があつた!?!絶対にそれが鍵を握っている……………!

「おらおらどうした！さつきよりも動きに精彩が無いぞ！」
「いい加減に、倒れなさい！」

なんか言ってるけど、そんな事気にしてられねえ。
なんだよ……………これ……………

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

名前：レオン

種族：原罪^{カルマ}（聖遺侵食：21%）

Lv：4

STR：35（15+20）

CON：10

POW : 8

DEX : 32 (27+5)

INT : 21 (16+5)

EDU : 6 (11-5)

スキル : 【インストール中】

◇◇◇◇◇◇◇◇

ステータスに謎の補正かかっているし、種族がノイズですら無くなっているし、侵食進んでるし、スキルはなんか変な事になってるしでなんだよコレ！

訳が分からない過ぎるぞ！

クツソ……ソロモンの杖は……あつた！

だけど遠い………！それに閉めるのが間に合わない！と装者達に宝物庫内に侵入される………！

侵入されちゃったたら終わる………！緊急テレポートは宝物庫浮かべたけど反応無し！無理だなコレ！

つーか確実に行動に精彩が欠けてきてやがる………まさか、スキルは今どれも効果を発揮してねえのか!?
となりや、こんな思考してる場合じゃねえ！

「これで！」

「いっぱーつーデース！」

怖えけど………本当にSTR32なら、俺は腕のコイツでぶん殴る！

『||@—(！／！+%:)；!!!?』

「耳が………！」

「滅茶苦茶うるさいデース！」

……憎悪、かあ……

種族が変わった理由は恐らくこのスキルだろうな。何故かこのスキルはレベルが存在していない。緊急レポートもレベルが存在していないけど凄まじい性能を持つてるから、確実に一線を画すナニカがあるんだろう。

で、STRもDEXも減ってる以上さつきよりも受けきれないけど……全く動揺しないどころかドンドン思考が冴えてくる。これが恐怖耐性Lv8か……怖えなあ。

で、その中で浮かんだけど、この戦闘術ってなんだよ。格闘術消えた代わりに手に入ったコイツ最初から滅茶苦茶高レベルだし……

でも最も気味が悪いのは、何故かこの「憎悪」ってスキルの使い方を知っている事なんだよな……

多分、こうやってやれば……

「急に短剣が……！」

「何が仕込まれているか分からないわ！注意して！」

こう、真っ黒に染まった武器が出せる。カーボンブレードかな？
ヤッターカツコイイー！

で、次にこうしてやれば……

「今度はアーマーまで……！」

「本当に、ノイズなんデスか……!?!」

真っ黒に染まっているが何故か防具も出せる。しかも自動装着。

ちなみに形は僕のだいすきなモン○ター○ターのり○ウス装備です。異論は認めない。

フルフェイスで顔まで隠すと中々良いよね……今は両腕だけ滅茶

苦茶浮いてるけど……………

で、この憎悪というスキル、何故か「歌唱に補正が入る」。シンフォギアみたいな感じで歌を歌う事でフォニックゲインでブーストを掛けろって事なんだろうか……

で、歌おうとすると装備側からベースとかギターとか色々流れ出す。完全にシンフォギアじゃねえかコレ……………ま、いいや。

「な……………この音は!?!」

「まさか、あれはシンフォギアだとも言うの!?!」

『俺ノ歌ヲ聞ケエ!』

全力で行くぞコラア! あ、ホントに勝手に歌詞が浮かんできて歌える……………こわ……………

で、何の曲なんだこれ……………良く分からんけど、性能どんだけブーストされてんだコレ!?! 息が若干苦しいけど装者と打ち合えてんぞ……………!

あ、STRとDEXに20ぐらいブースト掛かってました。

物凄いバフ掛かってるやん……………滅茶苦茶助かるんだが、好き好んで使いたくはねえかなあ……………もうスキル名から不吉過ぎる。

「力が怪物じみている、けど……………それよりも」

「なんデスかこの歌は……………」

「……………心が、揺さぶられる!?!」

「初めて聞くぞこんなの……………!」

【心が揺さぶられる】ってなんだろ……………感情的な事になってんのかなあ……………本当に無意識で歌い方とか歌詞とかが口(?)が動いて勝手に出るし、今は戦闘と状況確認に思考回してるせいで聞いている

暇がねえ……………！

取り敢えずこの4人ブツ飛ばして休む！

チート使っても勝てなかったら無理です

『スキル：マルチタスクがレベルアップ』『スキル：予測がレベルアップ』『スキル：回避がレベルアップ』『スキル：高速演算がレベルアップ』

はい、私です。レオンです。

憎悪とかいうスキルを手に入れてから、なんか戦闘中にスキルの発動に無駄が無くなったというかなんというか……使える物全てを効率的に使い切ってる感じがします。

というか短剣持ってスキルの効果で近距離戦仕掛ける様になってから滅茶苦茶考える事が増えて頭痛くなりそうです。

唯一の嬉しい点と言えば、シンフォギアもどきのこの装甲から流れる歌は、完全に無意識でも歌えてるといふ点ですかねえ……嬉し点に入るのかコレ？体力消耗がかなりキツついんだけど？

それにしても……嫌気が差す。調子に乗って調律で天羽々斬の力もコピーしようとしたけど、仮にもシンフォギア色々知ってるなら「デュオレリックはマズイ」事は分かってただる昔のオレエ……！

あ、なんかスキルレベルアップと慣れが入ったのも有るんだろうけど思考に余裕出てきた。もう少し余裕が出来たら自分が何歌ってるのか確認しよ……

『♪!?!……—(?!@+!/?!@?1』

「声」が途切れた！畳み掛けるぞ！

「分かったわ！」

「了解デース！」

「ここで終わらせる！」

調子乗ってんじやなかった最悪だクソツタレ……！

普通こんな感じでどんな形であれ強化が入ったなら、勝って終わりだろうが………！普通に負けそうだぞこの野郎！

というか声が壊れたのがマズイ。回復まで最低3分、こっちはステータスダウンが既に始まっている。向こうはむしろこのタイミン
グで奮起………ヤバい、転換が無いと3分以内に押し切られて死ぬ！

だが、憎悪のおかげで【ある物】を知れた！

『………消失までのカウントダウン
Wake up Gunnir』

「聖詠?！」

「何が起きるか分からねえ！気を付けろ！」

『コマンドワード認証』『スタートアップ』『リミットカウント開始』

憎悪で手に入った情報の1つ。それが、《逆境》スキルの効果とその発動方法だった。なんで憎悪関連で手に入ったんだコレ………

このスキル、【逆境のスキルレベル分だけ自身のEDU以外の全ステータスを1・n倍し、更に全てのスキルレベルをnレベルプラスする】というバケモンじみた性能をしている。

今はLv3なので全ステ1・3倍、恐怖耐性に至ってはLv1である。スキルレベルは上限分からん。分かれよ！情報くれよ！なんで逆境だけなんだよ！

ただし、デメリットがとんでもなく重い。

まず、【制限時間がスキルレベル×10秒】しか持たない。

次に、制限時間を超過前にスキルをオフに出来れば問題無いが、出来なかつたり忘れると【1秒超過する毎に超過秒数×1時間、オフ後に全ステータスが半減】する。5秒やらかせば5時間以内に修羅場が起きた場合、難易度Lunaticでやらされる事になるのでシャレ

にならない。

更に、5秒以上超過すると《ソウル》Ⅱ【謎のナニカ】が削られていき、20秒経過で完全消失する。

【魂の根底に位置する謎の物体】と呼んでいたモノは、どうやらソウルと呼ばれる物らしい。時間経過でソウルは少しずつ回復出来るが、大雑把に言えば「20秒超過すれば多分俺は完全に消滅する」。

最後、「再発動のクールタイムはスキルレベル×12時間」。

うん、これ終わったら36時間待たないと使えないんだ俺。Lv10まで行ったら120時間だよ。丸々5日ってバカだよな？絶対時間感覚狂ってるよね？

これらの壊れメリットと、重過ぎるデメリットを天秤に掛けた上でスキルを発動させた理由は……………【ソロモンの杖の回収】狙いである。

1. 3倍ブーストによつて、シンフォギアもどきのブーストが消えてもDEXは現在脅威の35を叩き出している。

更にマルチタスクは脅威のLv9、回避もLv7、高速演算すらLv6に、予測もLv8を達成している。

これら全てを総動員し、「装者達の攻撃を全避けしながらソロモンの杖を回収、即座に宝物庫に帰還」しようという算段である。

というのも、ハッキリ言つて全スキルを総動員した上で出した結論が「意地張つて継戦したら確実に死ぬ」だった。

実際、消えた格闘術の代わりのにやってきた戦闘術も、憎悪のスキルも、何もかも分かっていない点が多過ぎる。完全な未確認のアイテムのみで戦つて戦闘中に事故を起こせば、確実にその隙を狩られる。

やると決めたらやってやるぞオラア！

ランサーばりの全力疾走で避け切つてやるよオ！

「狙いはソロモンの杖か!？」

「絶対に触らせないで！」

「させない！」

「やらせないデース！」

うおおおおお!!!
?!!?!!?!!?

丸鋸にガトリッ!グに蛇腹剣とか遠距離武器のデパートかよ!つー
かやべえ!一気にDEXもSTRも上がってるからさつきよりも滅
茶苦茶速いの強引に踏みとどまられたりで感覚がカオス過ぎる!

しかも横から鎌がツ!そオイ!

「グッ……………押せないデース……………」

STR差どうなっただよマジで……………!いくらこつちが短刀
とはいえ全く押し返せねえ!

ていうか体格はこつちの方が一回りデカいんだぞ……………!まっ
ずい競り負ける……………!

ていうかヤベエ!制限時間が10秒ねえ!鎌を流すか弾き飛ばし
て突っ走るしかねえ!つーか鎌流すとか刀身長過ぎてやっぱ無理!

「弾かれたデース!?!……………しまッ!?!」

届けエエエエ!ついでに飛び込みながら逆境オフ!

スライディング飛び込みゲート!よし今すぐ

「ッ……………ノイズさん……………」

——なんで今になってお前が立ち上がる？

ソロモンの杖は奇跡的に回収出来た。今すぐにも宝物庫を開いて逃げれば終わるのに……………」

足がそういう風に動かねえ……………！

「……………ノイズさんは……………分かり合えますか……………？？」

……………クツソ……………なんでこんなにもツライ……………？

「ノイズさんとは、いつか手を取りあえるって思ってますから……………」

『そんな未来等、無い』

「……………いつか、待ってます」

今俺の声で喋ったのは誰だ？

俺自身か？失意の中で無意識下に溢れ出ていたのか？

なら何故俺は言った内容を自分の意思で発言した様に覚えている？シンフォギアもどきの効果なのか？それとも《憎悪》か？

俺にいったい、何が起きてやがる？

クツソ……………今は撤退だ……………

あ、でも最後に1つ。

『なア、たちはナヒビキ』

「なんですか？」

『……………お前ノ格闘技ヲ、また今度見せてくれ』

「……………は、はいっ！」

格闘術習える相手が立花さんしか居らんのや……………ゆるして

……………

ちよつと困惑してたビツキーかわいい (???)

『レベルアップしました』『トリガー達成』『情報を開示します』

宝物庫の扉を閉じ、座り込んで落ち着いた瞬間だった。

急なレベルアップに、情報開示とか言ってるんだけど……………KY
だらけかあ？

ぐううッ……………情報を開示って言うてるのに脳内に振じ込んで
来んのかよ……………頭いつてえ……………

で、まさか【レベルアップ方法】をLv5にもなってねじ込まれる
と思わなんだ……………オイオイオイ、神恨むわコレ (殺意)

と言ってもおおよそは俺の予想通りの方法だった。

1つ目、【自分以外の生命を葬る】。絶対やらんしやる気も無いから
無視。

2つ目、【未知を得る】。ナニコレ？って思ったけど多分これが俺が

レベルアップしてきた理由じゃないかと思う。ていうかこれしか書いてないって何？不親切過ぎん？

まあ勝手に予想すると、【スキルの獲得】も【死線を潜る】事も【人との交流】も、全て未知の獲得に含まれるんじゃないかと思ってる。というか、そうしないと最後の3つ目との辻褄が合わない。

3つ目、【生命の源を受け取る】。

ホントにナニコレ？生命の源なんてモノどこにあんの？《生命の源》みたいなアイテムがどこかにあるの？そうとしか考えられないよ俺？つーか説明不足過ぎんだろなんとかしろマジでこれ作った奴！

はい、今回の件で装者との関係が確実にカオス化したので本気で考えないといけません。

響 ▶ まだ良好(?)

翼 ▶ かなり無理ゲー臭

クリス ▶ 先輩が無理なら無理だろ！

マリア、切歌、調 ▶ うーん、無理！

主人公達の内5人から敵対関係とかどうすんのこれ
.....? ?

よし、一旦寝転がってから後で考えよう(現実逃避)

レベル上げの苦行ってしんどいよね

「に——えー」
「は」
「ル——を——」
「……る……す！」
「……が、お前に分かるか」
「……す！」
「……ます」

うるせえ！叫び散らかすなら全員シバき……あれ？誰も居ない……ていうか宝物庫だから居たら問題か（完結）

にしても……なんださっきの声……夢の中で聞こえたなら、これは《憎悪》のせいか？——事はさっきのは憎しみの怨嗟って事か？

人のモン押し付けてんじゃねえ！あと快眠邪魔すんな！ここぐらいでしかゆったり休めねえんだぞ俺は！

まあそれは置いて
閑話休題

寝転がってゴロゴロした後で思ったんだが、俺はどうしようか？

取り敢えず憎悪は必ず消滅させるか無力化させる。こんな休息邪魔してくるスキルなんざ（有能でも）必要ねえんだよ！

はい次、装者とは出来る限り仲良ししたい。というか単純にクリスのあの弾幕避けるのがタマヒュンの繰り返しになるからやりたくない。タマないけど。

はい次イ！スキルとレベルを可能な限り上げる。このままだと何回死線潜る事になるかも分からんし、普通にこのレプリカント起動さ

せめても押し負けそうだった。向こうは常時逆境チートみたいなもんやし……………

あれ？無理ゲー臭がするな……………

考えるのめんどくせえからさっさと何かやるぞコラア！大量の漂着物をアホみたいに放り込んだからこちとら資源たっぷりやぞ！

で、何しよ？

・スキル獲得

・スキル上げ

・レベル上げ

・睡眠

うーん……………

・スキル獲得

・スキル上げ

・レベル上げ

・睡眠

やっぱり僕は王道を征く……………スキル獲得、ですかねえ…………(前
言撤回)

で、そうになると何か良い感じに出来そうなのが欲しくなる訳で――

……………ギター、ねえ？弦も無いしピンも壊れてるから弾けねえけど、どっかで弾けるモノみつけたら演奏してみつか。案外、あの仲良し2人組の片割れが言ってた「心が揺さぶられる」というのに掛けてみるのも良いかもしれんね……………

で、取り敢えずパツと探し回ってあったモノ1つ目はゴムボール。流木で適当に標的を作って投げまくったら、投擲みたいなスキルが手に入らないかと思つた（小並感）

おらっ！流木にゴムボールをシュウウウウツッ！

超！エキサイティング×100！

あれ？全然当たらない……………

ああ待って！ボール飛びスギイ！回収面倒くさいから待つてエエエエ！

60回目ぐらいだけど……………疲れた……………走ってる時はこれの数十倍体力使つてんの……………ランナー最高……………

『スキル：投擲を獲得』

キツたああああアアア！さっきまでの疲れとか知らねえ！まだまだ行くぞコラア！

あ、さっきより格段にコントロールが良い……………スキル補正バケモン過ぎんか？

『スキル：CON強化を獲得』『スキル：投擲がレベルアップ』
あれから更に60回ぐらいブン投げたぐらいで、予想外のスキルが
ゲット出来た。

予想以上に直接ステータスに触ってくるタイプで正直かなりビ
ビってるなう。

ちなみにステータス確認した感じ、スキルレベル分CONをプラス
してくれるモノだと思いました（予測Lv5並感）

こんなスキルあるならまだまだやってやるぞコラアアアア！時
間はたっぷりあるんだよお！そおい！

あ、ゲート開いてる……………

んんんんん？ちよつと待って？ボールくんゲートに入らないかい
そのルート？

ああああああ！！！！待ってエエエエエ！！！！

アツ……………アツ……………（絶唱顔）

貴重なゴムボールがア！絶対許さねえ！ていうか無機物でもガツ
ツリ外出れるのな……………いや、入ってこれるなら出れるかそりや
……………

……………で、今外に出るのは正解なのか？取るだけ取って、即座に
ソロモンの杖で帰還……………うーん、嫌な予感がビリビリする。

よし、怪奇現象にはなってしまうけど放置しよう。

出待ちされてたらもう知らん（雑）

はい次！漂着物にあったヨーヨー。誰だよこんなの捨てたヤツ
……………装者の1人に轢き殺されるぞこんな事したら！

で、これを持ち出した訳だけど……………【ストリングプレイスパイダーベイビー！】したい訳では無く、単純に遠投か精密操作とか、その辺でスキルを狙えないかどうかという事で取り出してみた。

という事で早速挑戦。前世の頃になんかほんのちよつとだけ見た覚えのある……………えーと……………なんて言う技なのこれ……………？なんかヨーヨーグルグル回すヤツ！そおおい！

ああ待って糸絡んできてる！ほどかないと……………いやほどくのめんどくさッ！なんで固結びここで出来てんの!?

クツソ……………ゴリライズしたいけどそんな事したら絶対コレが壊れる……………！いや、耐える俺！コレもスキル獲得の苦行と思つて……………！

———1分経過———

アア……………POWの強化これで出来るんじゃないか……………？
ていうかDEXおかしいだろ！これ確か器用さも兼用してたんじゃないのかよ！もつとなんかあつただろ！

……………もうあんな苦行したくないので普通にヨーヨー回すだけから始めるか……………

あ、案外楽しいコレ……………うわ、なんか死ぬ程またさっきの技やりたくなる。禁断症状かよ？

……………えええい！なる様になれエ！

あ、出来た。

『スキル：精密行動を獲得』『スキル：DEX強化を獲得』

FOOOOOO!!!

予想外のオマケまで付いてきてテンション無限大に上がるぞコレ！ところでなんで操作じゃなく行動？もしかして色んな《行動》に対してバフ掛かってくれたりする？それだったらもう踊るよ俺？無駄に高いDEXでゲツダンするよ？

……………虚しいなあ……………

また、行くか。取り敢えずソロモンの杖持つところ……………

何処に出るのか全く見てなかったわ（猪突猛進）

クオクオハ……………山頂？あ、風がすつごい良い感じ……………景色も良いっすねえ……………ノイズじゃなかったら普通に黄昏て終わりののにさあ！ハア……………

あ、ゴムボールくんじゃん。転がってそのまま放置されてた模様でなにより。じゃあさっそく宝物庫内にシューツ！超エキサイティング！

で、さ……………見間違いないじゃなかったらなんか見たくない何か遠目に見えるんだけど……………？

『スキル：望遠を獲得』

早くなあ？じゃなくて！アレ《アルカ・ノイズ》じゃねえか！

……………位置バレするけど、殺るか？

《憎悪》の力で何かしら武器を作り出してぶっ刺せば殺れるかもしれない。人間は絶対殺らんが、ノイズ死すべし慈悲は無い。

こんな事浮かんでる時点で決まりだよなあ……………森林内だし大丈夫だろ！よっしや行くぞコラア！

という事で……………全力ダアアアアツシユ！DEX28ナメんな！

あ、ポイント振ってない……………

「なんだコイツは!？」

「アルカノイズをぶつける！装者じゃないなら問題無い！」

———アア？ヤバいぐらい殺意が勝手に湧いてくる……………コイツは憎悪の効果の1つか？ならなんで装者相手には殺意湧かなかったんだ……………ま、そんな事は置いといて

今回憎悪の力で生成しますのはコチラ！

「なっ、武器を生成しただと!？」

「錬金術でもあの様な事は出来んぞ！」

はい、ごく普通の片手剣でございます。もう全体が真っ黒だから、どう見ても某イキリが使ってたエリユ○データにしか見えません。なんか右手に持つの嫌になったから左手に持つか（嫌味）

アルカノイズがどうなるか分からないけど、コイツで顔の辺りぶっ刺せば少しはなんとかなるだろ！そりヤア！

あ、刺さった……………でも倒せてねえ！なら、何本でも生成して刺しまくるだけだろ！

オラオラオオラオオラア！スタンド（1人）攻撃を喰らえエい！
イヤーツ！グワーツ！

20本ぐらい刺したぞ……………一体倒すのに20本必要ってなんだよ……………

エリユシ○ータが20本も……………（戦慄）

取り敢えず、目のステンドグラスみたいな所に攻撃加えた瞬間に行動が鈍くなったので作戦変更！

両手にナイフ生成！そのままノイズの顔？にぶん投げまくる！こちとら弾数無限だぞコラ！さっさとデバフを喰らえ！

『スキル：投擲がレベルアップ』

新規獲得スキルの生かし所さん!?まさかこんなタイミングでもう使う事になると思わなかったよ！

あ、すっごおい……………ザクザク刺さってて笑うしかねえ。

次イ！能力で大剣生成！何処かの魔王のオジサンが振ってそうなの掛け声と共にアルカノイズ共に振り下ろす！

ドリヤア！ああ〜真つ二つウ〜

という事で全員赤い砂にしてやりました（?）

残るは不躰なアルカノイズの召喚者だけ……………！

『レベルアップしました』

え？早くない？

決戦前の準備時間が1番好き

はい、私です。レオンです。

今、レベルアップした事の困惑と目の前の不躰共をどうしてくれようかという思考の2つが同時にやってきて大困惑中にございます。

あ、良く考えたらアルカ・ノイズも生命の1つに入るんか……………て事は、十数体倒しただけで1レベルアップすんの？経験値効率バグってない？俺あんだだけの死線潜ってやつと4つレベル上がったんよ？泣いていい？そりや装者も強くなるわ！あ、ステータスは多分俺だけだった……………

「クソツ！錬金術を使え！迎え撃つんだ！」

「アルカノイズを倒せても、これなら！」

雰囲気ブチ壊しにしゃがって……………！

——ん？錬金術？

……………学び所さん!?

よし！無駄に高いDEXとINTに高速演算とかのスキルも使つてガン見だ！ガン見するんだ！視姦の数百倍ねつとりと術式を見回し——

オエツ……………術式構築してる線一本一本が滅茶苦茶細いの、それが数十本単位でなんか連なってる……………ナニコレ……………

しかもこの線自体、どうやって出してんの？糸じゃないよねどう見ても。

鍛錬したら出せんのかな？ていうかこの線が魔力だとしたら、カルマノイズには魔力あんの？ていうかそもそも魔力ってなんだっけ？
想い出とかうんたらかんたら……………

思い立ったが吉日！まずはさつき見た線の形を思い出しーの……………指先から線でてるけど、身体中から出せたりしないのそれ？なんか身体から出る感じ！抜ける感じで……………こうッ！

『スキル：魔力操作を獲得』

きつたア！お！背中から線でとるやんけ！

……………ん？背中!?これはアレか！余裕綽々で自分の背後に大量に陣描いて魔法連射するアレをやれという神の思し召しか!?

そうと決まれば話は早い！何がなんでもやってやるぞコラア！

むっずい……………！避けながら正確に組むのがこんなにムズいとは思わなかった……………！

「向こうは攻撃出来ない様だぞ！」

「面で潰せ！いずれ避けきれなくなる！」

無駄に戦術知ってるんじゃないよ！点で撃て点で！

『スキル：魔力操作がレベルアップ』

うっしや！さつきよりも更に組みやすい！

よし、1個組めた！見間違いが無いならこの術式は炎弾のハズ！発射ア！

おお、手のひらサイズ……あ、でも火力高くない？ 3発ぐらい相手の錬金術打ち消しながら飛んだよ？

『スキル：錬金術を獲得』

スキルとして手に入ったぞオイ！ どうなってんだよあだだだだ脳内に直接はやめロツテ！ 嫌がらせか！

おっふ………戦闘中だけど軽く倒れそうになる頭痛はホントにシヤレにならないけど代わりに大量の錬金術が脳内に来たし、ここは四元素連射で凌ぐ！

錬金術がスキルとして手に入ったおかげで術式は記憶せずとも脳内にこびり付く！ ならば後は魔力操作だけで構築をアシストしてやればいい！

オラオラオラオラ！ 行くぞ不躰共がア！

「錬金術の速射、それも四元素だと!？」

「並行詠唱しながら四元素を速射など、貴様本当に人間か！」

いいえ、ケファイアです。

じゃなかった、カルマノイズです。

ですら無かった、今原罪だったわ。 ややこしすぎんだよ！

んな事はどうでもいい！ 今はコイツらを何がなんでも遠ざける！ 錬金術師だから無いと思うけど接近戦を仕掛けられると本当にマズイ！ 主に向こうが！

『スキル：マルチタスクがレベルアップ』『スキル：高速演算がレベルアップ』『スキル：魔力操作がレベルアップ』

ぐううう………！ 確実に魔力操作も錬金術の練度も向こうが格上！ 数すら負けてるなら、こっちはスキル使つての大立ち回りカマしてやるよ！

さあ！駆け出すぜ！

「走りながら錬金術を使える、だとオ!?」

「大幹部ですら成功率の低い技だぞ！何者だ貴様！」

やっぱ止まってないと無理なんすねえ…………

ていうか錬金術師達の大幹部っていうと、もしかしくなくてもサンジェルマンさんとかの辺り？

そう考えるとスキルやば過ぎんだろ…………500年以上の努力平然と踏み躪ってんぞコレ…………

ま、知った事では無いんですけどね。

死にたくないからやるだけなんだよなあ…………あ、アホな事考えてたら術式が雑に…………集中しよ…………

「増援が来たらしい！」

「よし！押し潰せ！」

あん？何言ってるんだコイツ…………ら…………

あ、経験値タンクアルカノイズさんじゃないっすか。オツスオツス。

経験値寄せ見敵必殺！速度最高の風撃連射ア！ついでに走りながら憎悪でナイフ生成して顔？部分にぶん投げる！刺されオラア！

あゝ学習能力0だから同じ事の繰り返しで溶けるのええゾ

やつと俺TUEEEしてる感あるわ…………俺なんでこんなバケモンみたいなモノもらつといてちよい前までスペランカーしてたん？おかしくね？

……………まあ、いつか…………

『レベルアップしました』『スキル：錬金術がレベルアップ』『スキル：投擲がレベルアップ』

「アルカノイズが全滅……だと!？」

「これだけ投下しても無理なら戦力の無駄だ！錬金術を撃ちながら撤退しろ！」

ま、流石に引くよな………ていうか今回一瞬でレベル2つ上がるわスキル上がりまくるわでカオスのかまたり………じゃなかった、塊なんだが？

無理に追撃する気も無いし、相殺だけしてほっときましょ………

無事皆さんお帰りいただいた様でなにより。

で、レベルアップしたんやけどポイントホントにどうしょ？15ポイントも余ってるんだけど？

「やっと見つけた！」

「敵なの分かって言ってるんだろうなこのバカ！」

「私達はただ、奴の真意を見極めるだけ！」

やっと、来たか。

原初の3人！全力で立花さんだけでも懐柔………じゃない！仲良くなる！ていうかならないとヤバイ！

『立花さん』

「うえ!?何!?!」

『………タイムンしない?拳で』

「………話し合えないの?喋れるのに!」

『話せても、喋れてモ、言葉だケじや伝わラナイ事ダツてアル』

「………だから、拳で語り合おうって事?」

『そう。戦イの中でシカ、見い出せナイ真実もアル!構え口、立花ひびキ!』

「………」

もう、言える事は言った。

理想は僅差での勝利or敗北。最悪は圧倒での勝利or敗北!もつとヤバいのはこれで死ぬ事!だけどなあ!やらないとダメな時つてのはあんだよ!今このチャンス逃せば終わってしまう予感が収まらない!

俺の知ってる数少ない格闘技の1つ、空手!全力で右手を引き絞つて正拳突き予備動作をする事で少しでも引き込む!

頼む!通れ!

「……………翼さん、クリスちゃん。もう一度だけ、任せてもらってもいいですか？」

「……………出来るんだな？」

「正拳突き of 構えを取るって事は、多分空手を知ってます……………その上でわざわざ私にという事は、正々堂々付けたい何かがあるんだと思います……………」

「……………確証はうつつすいけど、バカがそういうんなら多分最後には有り得んだろうな……………やってこいよ！」

「ありがとうクリスちゃん！」

「雪音が任せるならば、私が任せない道理も無い……………」

「翼さんも……………ありがとうございます！」

最っ高だ。

ステータスはさっきの内に振り方を考えた。

この1戦に、自らの生命線を賭ける！

「行くよ！ノイズさん！」

『行くぞ立花響イ！』

カオスのフルコース　くカオスを添えてく

はい、私です。レオンです。

マジでヤバいです。

「はアツ！まだまだこっちは行けますよ！」

『余裕カマシヤがって……………！』

歌いながらどんどん格闘技のキレ増してきてるんだけどどういう事？正々堂々の勝負仕掛けないと良い感じにならない以上、撤退も錬金術も死の直前以外は出来ない！

だったら速度よりも力が無いと厳しいのでは？

と考えた結果取り敢えずSTRに7ポイント振って25にした。2段階大幅に引き上がってはいるが、それでもかなり厳しいモノがある。というか受け流すのが限界で押し返せねえ！

最悪の手段として、憎悪を利用したアーマー装備がある。ただ、今よりも体力消耗が激しくなるし声が壊れるとステータスダウンとダメージが同時にやってくる。しかも相手に攻勢のタイミングを与えてしまう為、使うならそれで決め切ってしまうしかない。

これ以外に方法が見付からなかったとはいえ、厳し過ぎるぜコレは

……………！

『強いナ、立花響……………間違いなク、これまでで1番強い！』

「それはッ、褒め言葉なのかな？」

『俺にトッテの、最大の賛辞サ！続けルぞ！』

「行くよッ！そりゃあ！」

掛け声の割に殺意が高過ぎる！右ストレートあんな速度で打ち出せるモンなのかよ!?お前はプロボクサーか！

いやプロボクサーよりタチ悪いわ。全然KOしねえもん。

クツツ……………残り8ポイント、DEXは31だから4ポイント

振って上げた場合STRに振り切れない……!

INTは閃きだから2ポイント振って予想外の一手に掛けてみるか……?……?

いや、まだ早過ぎる。落ち着け、確実に焦り始めてるぞ俺……!

「ハッ!セイツ!」

『チッ!ゼアッ!』

重過ぎるッ……!……!

始まってから格段に一撃が重くなり続けている……!

このまま歌い続けられると無尽蔵に戦闘力が跳ね上がっていく!

どうする!?!どうすればいい!?

なんとしても【歌を止める方法】を探し出せ!

あの歌を、これ以上続けさせてはダメだ!

—— あん?なんで【歌を止める】事にここまで執着してるんだ?
?……

せつかく俺の手にガングニール引っ付いてるなら……

【歌を利用する】でも良いんじゃないかねえのか?

………とにかく、固執してた理由は後でいくらでも考えられる。今は利用方法を考えよう。歌を止めるのはハツキリ言っただけ無理ゲーに等しい、なら歌で発生するフォニックゲインを………調律によつてもう一度、自分と立花さんのガングニールを再接続すれば何かを得られるかもしれない!

そうと決まれば作戦を練らないと………無理に受け止めようとするれば多分腕が持つていかれる以上、拳を止める方法としてこれは却下。

受け流しはダメージを限りなく減らせるけど拳を止められない以上、調律がどうなるか分からないし却下。

うーん………あ、同じガングニールなら風鳴さんにやった【周辺】のフォニックゲインごと調律】は問題無く出来るんじゃないやねえか？聖遺物同士の競合は恐らく起きないハズ………よし、まずこれで行こう。無理そうなら作戦変更でハイ、ヨロシクウ！

行くぞオラア！

『絶対ニ、勝つッ！』

「勝つのは私だッ！」

負けれない戦いつてのはこういう戦いの事を指すんだよオ！

《調律》ッ！今一度、《俺自身のフォニックゲイン》と《立花響から放たれたフォニックゲイン》を1つに！

空気中のフォニックゲインを同じ波長にするの滅茶苦茶難しいぞこれ………！調律Lv7なのに………！

いや待て、俺から出てるフォニックゲインが少な過ぎる！これこのまま取り込んで大丈夫か!?

………仕方ない、憎悪使つてシンフォギアもどき装着！歌いながら強引に調律する！

「来たッ!」

『~~~~~』

うわ、ビックリするぐらいテンポ速いなこの歌！舌あつたら絶対噛んでるぞコレ！

キタキタキタキタ！量は立花さんに比べりやまだただけど、装備

前の数十倍はフォニックゲインが湧いてる！

後は1：1ぐらいで正確に調律すれば……………！

『規定量のフォニックゲインを確認』

『一定値以上の侵食率を確認』

『 GANG ニール・レプリカントの《広域化》開始』

ん？広域化……………？

あ、まーたギアペンダント光ってるよ……………

「うわッ、また!？」

『おおまぶし……………』

相変わらず意識も持っていかれるのね——

「——えええ!?!」

うるせえ! (デジャヴ)

はいはい、今回は何処が事故って……………

首?なんか首に違和感感じる……………

……………うーん、これは完全にガングニールマフラー!

は?

……………どうしたもんでしょうか、これ?例によってマフラーも黒いし……………

あ、遠目で見ても残り2人の視線が痛い……………

「え?!どういう事!?!」

『……………さあ?俺にもさっぱり……………』

「……………ん?私の声にそっくり?」

『え?..そう?..』

侵食率が上がって立花さん要素強くなったからって事ですかア?

ん?ちよつと待って!会話が普通に出来てるやん!しかもめっちゃ話しやすくなるどころかノイズほぼ無くなって!もう意味分からんよコレ?

はい、ステータスチェックのお時——

んんんんん

?????????

調律に変化無かったけど、歌唱がLv5になってたゾ……………4つも跳ね上がるってすげえな(他人事)

歌唱と調律のレベル次第で、会話が流暢になるって事?もう滅茶苦茶上げたいよ?今すぐ宝物庫に帰って1日中歌うぐらいには上げたいよ?帰れないけどね!ちくしょう!

あ、種族くん……………また変な事に……………

種族：原罪(聖遺侵食：34%)

侵食され過ぎでは?100%になったらどうなんの俺?ブラック立花さんになるの?それはそれで有り……………なワケねえ!ややこしい!

「どういう訳か、聞かせてもらおうか?」

「前も似たような事して、今回は逃げねえだろうな?」

『すいません……………』

「土下座しても変わらないモノは変わらないぞ」

「たっぷりと話してもらわねえとな?」

『スイマセン……………』

視線が……………言葉が……………圧が凄い……………

これは……………ダメそうですね……………

「……………えっと、ノイズさん?」

『……………あの、サ。ノイズさんって名前長くない?』

「え?……………いや、まあ確かにそんな気もするけど……………」

『レオンって名前があるんだ。良かったらそう呼んでくれない?』

「……………分かったよ、レオンちゃん!」

『……………ちゃん?』

「え?違うの?」

『……………いいよ、それで』

「やったー!」

……………この声を恨みたい。いや、マジで。
ていうか、マジで説明どうしよう……………

逃げたら今度こそ詰むし、全力で戦意の無い事を示しながらなんとかするしかねえ……………!

「……………それで、前もそうだったが何故立花のギアペンダントが光る度にお前は立花の GANG ニールを模した物が付いていくんだ?まさか、立花の想いを利用してゐる訳では無いだろうな?」

『決してそんな事はございませぬ……………ッ!』

「ほう?ならば何故毎回立花に執着するのか教えてもらおうか?」

うつぐ……………言いたくねえ……………絶対この場で言いたくねえ……………!

修羅場しか引き起こされないの分かってるのに言わないと詰み

……………!

(肉体的に)死ぬか、(社会的に)死ぬかだつてえ……………?死と死しか選択肢無いとかガチのクソゲーかよ!

だああああ!なる様になれ!

『エっと……………それは……………』

「それは、なんだ?」

『立花さんが好きだからです!』

「えッ!？」

「……………は?..」

「はあ!？」

ああ、ぼくはのいずだ。にんげんじゃない。つまりにんげんしゃか
いにはいないんだ。ということは、(社会的に)しんでもいいよね
……………?..

「……………えっと、それはLoveの方? likeの方?」

『……………お恥ずかしながら、Loveです……………』

「……………アハハ……………えっと、ごめんね?」

『分かっテましタヨ! チクシヨウ! コロセ! 今すぐ!』

「待って! 落ち着いてレオンちゃん!」

『うあああああ!?! HA★NA★SE!』

そうです私が限界オタクおじさんです (自己紹介)

しにたい

よりにもよって本人が居る前で言う事になるとか恥ずかしい通り
越して自殺願望湧いてくるわ。

なんでや? どうしてこうなった?

あ、大体全部俺のせい?

あ、ふーん……………

寝よつと

「…………寝転がったぞ、コイツ」

「…………ノイズというのは、まだまだ不思議な存在だな……………」

「多分、レオンちゃんが特別なだけだと思います……………」

【急募】 推しが近い場合の対処法

☒———え！☒☒———は———！———ない！☒☒———
———を！お前は！☒

☒絶対にお前は許さない☒

『……………ん？んんん???'』

「どうかしましたか？」

『どうかしかしてないんだけど？なんデ立花さんいるの？テイウかな
んで俺死んデないの？』

「倒せる訳無いじゃないですか……………ていうか、一旦落ちついてく
ださいー！」

『???????'』

はい、私です。レオンです。

もう死んでもいいやと自暴自棄になりながら不貞寝して、起きたら立花さんがすぐ近くに居ました。

いや、また夢でギヤーギヤー言ってるから叫ぼうとしたら目の前に立花さんが居たんよ？心臓止まるかと思っただわ。

ん？そもそもこの身体心臓あんの？いや、もう後でいいやそんなの。

顔無くて良かったわ、今頃顔と息が凄い事になってそうだもん。戦闘中だからなんだかんだ冷めきってただけ今見るとやつぱマジで美人だな……………いや、そもそもこの世界美形多い！顔面偏差値死ぬ程高い！

しかも声が良い！性格も良い！（全部）

ま、そんな事よりも大事な事が多過ぎてちよつと……………

『ねえ、立花さん』

「何かな？レオンちゃん」

『ちよつと、シンフォギア纏ってクレない？』

「……………何をするの？」

『ギアペンダントが光ったり、俺に立花さんの GANG ニールみたイナ装飾が増えていく理由の説明』

「……………色々聞かせてもらうからね！」

こんな絶好のチャンスを得られたんだ。

ステータスシステムやスキルを一部晒してでも信用を勝ち取らないと、この先どれ程の困難があるのか分からない。

ならば、ココで絶対にやり遂げてみせる！

「……………で、シンフォギア纏ったけど……………なんで GANG ニール

みたいなアクセサリーが増えてくの?」

『それなんダケど、俺って少シ特殊な力がアって……………フォニックゲインを操作出来ルンダ』

「フォニックゲインを操作……………どういう事?」

『えつと……………立花さん、右手出してクレない?』

「え?う、うん……………」

『ちよつと失礼』

「……………うわっ、人間の手みたいにしっかりしてる……………あ、ごめんね!そういう意味は……………」

『大丈夫大丈夫、そんな事ヨリ…………』

あ、フォニックゲインが少な過ぎて実演出来ねえ。

『……………フォニックゲインが足りない』

「……………何をすれば良いのかな?」

『……………一緒に歌ウ?』

「良いねそれ!何歌う!」

『えエつと…………』

……………シンフォギアのフォニックゲインに干渉して人為的ユニゾンって出来たりしない?ていうかその前に俺もモドキ纏わないと無理か……………

「うわっ!?!急に装甲が!」

『ゴめん、何も言っただけ……………それよりモ、少しシンフォギア触るヨ?』

「う、うん……………」

……………ふむふむ。なるほなるほ。

フォニックゲイン操作出来るどころなに内部構造が分かりやすいモンなんやね……………で、この場所が心象スキャン部分つと……………

なら、この場所に俺のフォニックゲインを適応させたら！

「へ？うわっ、同じ音楽が鳴ってる!？」

『出来ター！これぞ力の1ツ、人為的ユニゾン!』

「切歌ちゃんと出来たアレを、誰とでも出来るの!？」

『ソウ！誰とだって同じ歌ヲ歌えル!という事で歌おう!』

「うん!」

良い感じの雰囲気が出来た様で何よりです。

因みに流れてた曲は【Reverse／Re:birth】でした。

……………なんで？

「ふう……………いい歌だったね!」

『そうだね……………知ってる曲だと思わなかったケド』

「え？シンフォギアから流れる歌って毎回新しい歌ばかりじゃないの?」

『……………うーん、俺のコレに関しては何モドキだから、良く分からないんだヨね……………』

これは本当。実は前に流れてた歌とかも軽く聞いていたけど、何故か知ってる特撮ソングだらけだった。

なんで特撮ソングだらけなのかはともかく、俺のこのシンフォギアもどきは【心象風景に基づいた曲を生成する】のでは無く【心象風景に最も歌詞が一致する曲を選択する】の方が近いのでは無いかと目を付けている。

そんな事よりも最推しが俺の横でニッコニコで特撮ソング歌ってるってこんな幸せなんか？死んでもええわ。いや、やっぱ良くねえわ。

「……………で、フォニックゲインが集まった訳だけど……………どうやったらそのマフラーとかプロテクターが出来たの?」

『えつトね……………シンフォギアに使われている聖遺物からフォニツクゲインが出てるんだけど、ソレと自分自身を一体化させタの』

「……………えつと、どういう事?」

『ウーん……………ガングニールとコノ身体を1つニしようトしてるつテ言えば分かる?融合症例みたいナ感じ』

「融合症例……………それって大丈夫なの!」

『大丈夫というか、ムしろ狙つテやってル』

「え!?!なんで!」

あれ?話す気無かったのになんか言葉が勝手に……………

『俺ハ、人間ニ……………いや、ノイズをやめたいんだヨネ……………』

「……………確かに、誰も炭化させようとしてないけど……………なんでなの?」

『変な話だけド……………人間としテノ記憶がアルからサ、誰にも触れラれないって本当に……………本当に、ツライ事だつテのを再確認しタんだヨ……………』

「人間としての記憶が……………私はシンフォギアを纏ってれば触れるから、私で良かったら相手になるよ!」

『……………じゃあサ、俺の実験手伝つてくれナイ?』

「何をするの?融合症例になりたいって言ったのが良く分からないんだけど……………」

『ノイズでさエ無くなれば良いんだカラ、聖遺物ソのモノにするのガ1番現実的力なっテ思っテ……………』

「でも、それじゃあ……………」

『元カラ人間じゃないし、そもそも1回捨てタ命なんダカラもう変わらナイヤ』

「……………それっていったい」

『暗い話ハここまでシテ実験付き合っテよ!』

「……………また、いつか聞かせてね?」

『……………気が向いたラね。取り敢えず右手まただーして』

なんで最推し相手にこんな話して顔曇らさせてるんですかね？1
回死んだ方がいいよ俺？

取り敢えず、侵食率を可能な限り上げて人間のフォルムを確定させ
る！

さっきの歌唱でフォニックゲインは充分！

今回は同意の上なのでお手手繋いでる！ていうか柔らかい！ヤバ
い！理性飛ぶ！

で、強引に繋ぐんじゃないかって今回はゆっくり《場のフォニックゲイ
ン》に自分が適合しに行く！

自分のフォニックゲインを揺らして少しずつ場に適合させていけ
ば、異物混入じゃなくて適応になってくれたりしない!？

『スキルの指定レベル到達確認』

『フォニックゲインの規定量到達確認』

『特定条件の達成を確認』

『スキル汚染・精神汚染を感知』

『スキル：同調の獲得を緊急停止』

『緊急浄化開始』

……………ア？

「——ンちゃん!?レオンちゃん!」

『……………ンン?』

「あ、起きた……………」

……………んん?いつ倒れた?ていうかまた目の前に立花さんの顔が……………近い!近いよ!シンフォギア纏つてるとはいえ俺ノイズの1種やぞ!」

「それにしても……………なんか、雰囲気変わった?」

『雰囲気変わツタの……………?ていウカいつ俺倒れタ……………?』

「覚えてないの?手を繋いで集中してたら、急にレオンちゃん白くなり始めたんだよ?」

『……………エエ?白く?漂白剤力何か?』

「え!?漂白剤食べたの!」

『一言もそんな事言つてナイ!』

食い意地の異様な張り方はともかく、白くなったねえ……………ステータスはどうか?

特に変化無し、侵食率も変わらず……………あ、いや1%だけ増えてるわ。

……白くなつたって事は、俺の種族がカルマノイズだった以上カルマが抜かれたと思つただけ……見た目にも種族にも変化が無いって事はそれは無いな。

ん？《雰囲気が変わった》《緊急浄化》《スキル汚染並びに精神汚染》
ねえ……

ああ、分かつたわコレ。多分《憎悪》か、それ関連が引つかかったな？明らかに浄化必要そうな名前してるもんコレ。

ていうか待った、何回かあつた思考誘導つてもしかしてコレ？そうだったらタチ悪過ぎねえか？

何してても干渉してくるし、思考誘導までされてるなら自分の思考にすら細心の注意払わないとダメじゃねえか！

憎悪は消えてない以上、応急処置レベル……
完全に取り除く為には別の方法が必要、と……

ま、大体の予想は付きつつあるし今はこの平穏とも言えない微妙な空気を楽しむ事にするか……

「どうしたの？凄く考えてたみたいだけど」

『黒幕の予想着いたワ』

「何の黒幕？ていうか誰なの？」

『言つてモ誰つてダケだシ言わなーい』

「ええー!?教えてよレオンちゃん！」

あ、立花さんイジるの楽しい……

ま、それよりも……激戦になりそうだな、これから……

レベルアップしたい

「レオンちゃん……その腕どうなってるの？」

『軟体動物ミタイな感じでこウ………骨が無イからさ………』
「うわ、凄い動きしてる………」

はい、私です。レオンです。

イジって反応を楽しんでましたが、急に身体どうなってるのかと聞かれたので腕をクネクネさせたら若干引かれました。

いやまあ、仕方ないよね。ゴム人間化してる様なモノだから許して欲しい、ホント。

『それよりモ！立花さん！』

「へ？な、なにかな？」

『ソロモンの杖知らない？』

「え!?えーつとお………」

聞いたけどゴメン、予想付いてるんだ。形だけでも聞いたかないと重要ファクターど忘れするアホの子認定されそうだもん！

『あれ無いト家に帰れナイんだケド！』

「家!?宝物庫に住んでるの!？」

『だつて延々追い掛けられるもん！仕方ないじゃん！』

「えつと………ごめんなさい？」

『あれエ………?』

ソロモンの杖が必要な理由を言ったら推しに謝らせてしまったでござる。解せぬ。

それよりも、厚かましいけど少し交渉掛けてみつかあ！

『立花さん、もしアルカノイズが出たら、連れて行ってくれナイ？』

「え？何をするの？」

『アルカノイズを倒す事デ、この身体に何が起きたノカ分かるかモ知れなインダけど……………』

「……………うーん、聞いてみるけどどうなるか分からないよ？」

『向かってルノ見かケタラ勝手に追いかけるからダイジョーブ！』

「それ大丈夫なの……………？」

『そもそもノイズと会話してル時点で大丈夫じゃナイよ？』

「……………それもそっか」

悲しいかな、これが事実。

そんな事よりもだ、少しばかり嫌な予測が立ちまわって気が気じゃないんだよなあ……………気の所為なら良いんだけど、予測が合つてたら俺これからガチの死闘を装者以外と殺る事になりそうなんだよなあ……………？

ていうか、ソロモンの杖で思い出してスキル欄見たけど、また《緊急レポート》家出してるしな！お前いつスキル欄居るんだよ！

「……………アルカノイズ、出たらしいよ？本当に来るの？」

『撃たれテモ文句言えナイけど、なんとカするカラそんな心配しなくテモなんとかスルよ』

「……………絶対に死なないですよ？まだまだお話ししたいんだから！」

『そんな事言わレタラ、余計死又訳には行かナイね！』

あ、大事な事言うの忘れてた。

『へりより多分走つタ方が速イからお姫様抱っこして良い？』

「えッ!?ていうかへりより速いの!？」

『……………あ、やっパリ無しで。周りの目が凄イ事二なりソウ』

「……………確かに」

言ったのは良いけど意味無かつたね。ていうかお姫様抱っこして

走ったら多分、周りの視線より先に俺の方が心停止しそうだわ今気付いたけど。

……………あ、へりに乗れる訳無いし速度調整しながら追っかけるしか無いんかこれ……………仕方ない。

「レオンちゃん！ホントに来たのー!?」

『来ちゃっター!!』

はい、本当に立花さんが乗ったへり追っ掛けて出現地点の街中まで来ました。途中でスピード不足気味だったのと、速度がこれからの戦いで必要になりそうなのでDEXに4ポイント振りしました。

ちなみに街道通過しそうな場所は遠回りしてでも森か裏路地通過してました。DEX35って便利！（違う）

で、眼前には50体近くのアルカノイズに……………

「バカの奴変なの連れてきてやがるぞ!」

「立花！問題無いのだろうな!」

「大丈夫です！手伝ってくれるそうです!」

風鳴さんと雪音さん……………ていうか報告してくれてすっごい助かります、ハイ。

じゃ、開幕信頼獲得も兼ねて喰らえノイズ共！

「な、錬金術だど!」

「レオンちゃん錬金術使えるの!」

「ノイズが錬金術を使えんのかよ!？」

おーおー驚いてんねえ。威力最高の代わりに速度が出ない炎弾だけど、木偶の坊のノイズにはこいつの方がぶっ刺さる！

で、調子に乗ろうとしたけど錬金術師共が構えてやがるな……………ナイフでも使ってノイズ瞬殺してから何人か装者に任せ——ん？

前までナイフならほぼノータイムで出せてたよな？今一秒ちよつと掛かるぞ？

……………あ、浄化か。

多分浄化した結果、汚染が減った代わりに弱体化したな？出すのに時間が掛かるだけなら良いが、切れ味とか耐久性まで落ちてるとシヤレにならない。

仕方ない、錬金術師の足止めだけやろう。

『ノイズは任せます！俺は錬金術師ヲ!』

「レオンちゃんやってくれます！私達はアルカノイズを！」

「レオンちゃんってアイツの事かよ!?!?ていうか信頼すんのか!?!」

「この状況下だ！争うよりは協力した方が早い！私達はアルカノイズから先に倒すぞ！」

風鳴さんがリスクマネジメントの出来る方で良かったです。でもなんで部屋はあんなに汚くなるんや……………??

まあまあええやろ
閑話休題

飛んでくる錬金術を死ぬ気で迎撃する！前回の森林の時より明らかに人数多いから密度が凄まじい！

ていうかお前ら普通はすぐに撤退するだろ！錬金術の撃ち合いに

持ち込んでくんじゃねえ！

うっわ追加召喚してきやがった……………ていうか何体召喚してんだ!? 50体近く居るじゃねえか！

援護入らねえから瞬殺しねえと押し切られるぞこれ！

装者の位置……………は問題無い。なら錬金術に集中してノイズを瞬殺する！

———だあああ！頭爆発しそうなぐらいにキツイ……………！

連続発動が可能なら、同時発動はどうかと思っただけダメだ……………処理の必要な情報量が多過ぎて高速演算をフル稼働しても、まだ速射の方が早い！

だったら1発ごとの構築速度を引き上げる！魔力線の動きじゃない、脳内の術式の完成系をイメージしろ！それを無意識で組み上げれる程に……………！

『スキル：魔力操作がレベルアップ』

よし来た！さっきよりも更に構築速度が上がってる……………！

んだが……………威力が若干落ちてねえか？魔力量不足か？術式にミスが出てんのか？それ以外か？

気にしてたら物量に押し切られる……………！

いや、ある！デカイ一撃をぶちかましてやればいい！

幸い、スキルとしての錬金術知識のおかげで強引に出力を上げる方法は手に入ってる！

魔力の消費効率を下げ、1発に過剰な量の魔力と術式を書き込む！元から速度に振ってもあんまり意味無いから、撃つのは炎弾一択！

「火焰球だど!？」

「防御結界を貼れ！吹き飛ばさず！」

今更おせえ！

ブツ飛べ！

『スキル：POW強化がレベルアップ』

『レベルアップしました』

何故にPOW？ていうかヤベエ、道路焦げてるし、一部燃えてるし、木に延焼してるし……………水元素で消しとこ。

「レオンちゃん……………やり過ぎじゃない……………」

「やり過ぎなのは否めなくもないが、凄まじい量の増援が来ていたのはコチラでも視認した。消火活動も行っていたから、情緒酌量の余地はあるだろう」

「ていうかノイズが錬金術を撃てんのかよ!?誰かそこに突っ込めよ！」

また、荒れそうです。

ていうか錬金術師共どこ行った？

交流関係は難しい

「……………ハア？錬金術は見て使える様になったア？」

『いや、あノ……………はい、そうデス……………』

「ノイズの癖にハッキリ喋れねえのか!？」

『スイマセン!』

はい、私です。レオンです。

結局あのままだと大問題が起きるので、近くの森林に引きずり込まれて今現在お話されてます。

めつちや雪音さん怖い。マゾヒじやないので詰め寄るのはやめていただきたい。

ていうかノイズなのに喋れてる事自体異常だろうが!どこにキレてんだよいい加減にしろ! (逆ギレ)

「んで？なんでノイズなのに錬金術使えんだよ？ありや魔力とかいうのが必要なんじゃないのか？」

『それなんですけど……………全力で魔力出ろト念じたら出ました』

「バカみたいな根性論言ってんじゃないやねえ!」

『ねエねえ!立花さんと俺そツくりだっテ!』

「え、ホント!?レオンちゃんとそツくりって嬉しい!」

「……………ハア……………」

めつちや溜息つかれたんだけど悲しい。推しにそツくりな思考してるって言われたらテンション上がるもん (過激派)

で……………どうも嫌な予感が拭いきれない。装者達の反応を見る感じ、多分錬金術師には逃げ切られてる。となると、さつきみたいなのがいずれまた動くであろうワケで……………

なんとしても宝物庫に戻って、錬金術を学ばないと行けない。憎悪のナイフ生成に問題が発生してる以上、万一錬金術を突っ切ってくる様な奴が居ると対処出来ない。

誰も近寄れない程の高密度・高出力の錬金術弾幕を貼れるのが理想だが、魔力操作と錬金術だけに限らず、高速演算とかそういった系列もかなりの高レベルに纏めないとハッキリ言って無理ゲー過ぎる。毎秒3発で既に思考のほぼ全てを全振りして連射する事になってるから、毎秒4発以上張る必要が出たら俺は発射以外の事を考えられなくなる訳で、まあ危ないとかいう領域じゃない。撃ってる最中にブラフ掛けられたらマジで引っかかるからやめれ。

『ソロモンの杖ハ……………』

「回収して分析に決まってるんだろが！返せとでも？」

『あれが無いと家に帰れないんでス……………』

「……………家？」

「レオンちゃんはバビロニアの宝物庫に住んでるんだって！」

「ハア!？」

返してもらおうと思っただけどやっぱりS・O・N・Gに行ってるよね……………まあ原作通りに進んでるなら、1兆度で臨界点に至って融解したネフィリムくんと共にこんがり焼けたハズだからねえ。残ってたらしりや研究するわな()

で、ホントにどうしよ……………あの何も無い空間が逆に嬉しくなるタイミングが来ると思わなかった……………下手に錬金術撃ちまくるとコッチ側に居る時は大惨事引き起こしそうだからなあ……………

どうにかしてソロモンの杖を返してもらおうか、家出した緊急テレポくんは今ご帰還願うか……………どっちも無理しかねえなあ……………

あ、顔が急に変わった。絶対なんか起きたなコレ。

「……………アルカノイズが出た。お前はどうせ着いてくるんだろ？」

『当たり前じゃん』

「……………ココから1km向こう。錬金術師達だ。友好的に来るんだったら、証明してもらわねえとな？」

『仕留めテ来いト?』

「当たり前前だろうが。アルカノイズだけを綺麗に倒し切ったら、下手にコツチも動かないと約束するってよ」

『……………ふーン？まあいいよ。一瞬で終わらせテくるから』

喧嘩売られた様で腹立つなこん畜生……………一瞬で終わらせてやるよオ!?

DEX35フル活用のダツシュで一瞬で目的地まで！居る方向は指された方角的に恐らくまだ森林内！だったら錬金術連射で牽制しながら瞬殺出来る！ココで信用には至らずとも中立の立場はもぎ取つとかないとストレスがマツハでヤバい！

……………予想はしてたけど、そんな旨い話がある訳無いよなあ。

「来たわね……………!」

「凄いスピードで来たデスよ!?!」

「切ちゃん、落ち着けば問題無い」

待ってたのは錬金術師じゃなく装者達。という事は後ろからやってくるのは……………

「騙し討ちの様で悪いが、ノイズなんだから仕方無えよな？」

「……………雪音、いくらノイズ相手とはいえこの仕打ちは……………」

「レオンちゃん……………！」

風鳴さんと立花さんからの関係は中立的、残り4人は敵対的か……………

仕掛けて来るとして2人近接型、2人遠距離型……………死ぬ程バランスが良くてなんか腹立つな……………

さて、攻撃をすぐに仕掛けて来ないって事は時間稼ぎ中か？それとも意見分裂中か？

前者の場合はどうしたもんか……………緊急テレポは未だに帰ってきていない……………逃走経路は確保が難しいなココ……………

森林から一旦出ないと、この場所は狭過ぎる。下手にやらかせばお互いに不利益しか無い以上……………ん？それじゃあなんでここで仕掛けてきた？もつと森林中央とか、郊外とか、色々仕掛ける場所は合ったはず。何故わざわざここで仕掛けてきた？

考えろ……………何故このタイミング？何故この場所で？何故6人使い切つてまで？

……………上層部か？

「お得意の話術で、なんとか言ったらどうかしら？」

『いくら得意でも、こんな状況は初めテでネ？』

「動揺が隠せないといった所かしらね？」

『当たり前だろ？6対1は中々に骨ガ折れソウだよ』

「……………負ける気は更々無いって事かしら？」

『全力でやりやア、早々負けネエゼ？』

「そう……………残念ね」

上の問題くつせえなあ……………まあ、今はこの殺気立ってる4人無力化して中立的な2人に事情説明するしかねえ！というか何かしら距離を取らないと無理だろココ！

……………ア？

アレは《瘴気》か？

『退ケッ！』

「いきなり何——嘘でしょ!？」

タイミング最悪過ぎんだろうが……………!?

なんで今ココで俺以外のカルマノイズが出現しやがる!?

しかもよりにもよってマリアさんの後ろ!どつかれて戦闘不能とかシャレにならねえ!

そして何より……………!?

「レオンちゃんと戦ってる!？」

「人間を無視するだど……………!？」

「アイツらの間で何が起きてやがる!？」

「どういう事かしら……………!？」

「ノイズ同士が戦ってるデース!？」
「いったい何が……………」

この二足ノイズ……………俺を殺る対象にしてやがる
つー事は……………俺は……………

(元) 同族にも敵対者認定されましたね、ハイ。
ふざけんな!

「ノイズ同士なのに戦い方が全然違う……………」
「奴が特別な存在だという事か……………」
「特別な存在だとしてなんで同族に攻撃されてんだよ!」

外野は取り敢えず置いて、相手の観察だな……………
普通の二足歩行型、手にランスじゃなくてぐるぐる巻きの良く分かるのが引つ付いてるタイプで、攻撃は基本手の謎オブジェを伸ばしてくるだけなんだが……………

如何せん一撃の速度が速い!立花さん程では無いにしろ、近いレベルの速度だぞアレ!
なんとか、DEXが大幅に上がったのと戦闘術のおかげで受け流しは出来るけど……………こっちから殴れてない以上、このままじゃジリ貧になる!

そーいや残ポイント9だったわ。STRとDEX1段階引き上げ

てこの戦闘で慣らす！

錬金術を使うとしたら、この場で撃つて被害が周辺に出ないのは風元素だけ……………速度が出るだけで、威力は見込めない。撃つてもアドバンテージにはなるだろうが、スキルの錬金術知識によると「魔力欠乏」なる状態があるらしい。

許容限界を超えると精神疲労でダウンするらしいが……………この身体のキャパが分からないし、ちよい前まで錬金術師共と死のダンスしてたんだぞこちとら！

しかも最大の問題点は憎悪……………ナイフを用意して手の謎オブジェを斬りに行くのが最速なんだろうが、出現に時間が掛かるようになったから恐らく弱体化している。という事は斬れ味も前よりは落ち込んでるハズ。

そうだとしたらナイフを下手に出すのは悪手だろうな……………折られた事に動揺してそこをブン殴られたらシャレにならない。

距離を取りながら錬金術を叩き込むのが最適解か……………？

幸い、かなり装者との距離は近いハズなのに一向にそつちを向く気配が無いから相当に俺にお熱らしい。何も嬉しくねえ！

後は……………

『立花さん！頼ムから追いかけて来ないデ！』

「えっ!?協力して対処したら……………!」

『これは、俺がやらなくちゃいけない!』

「……………待ってるからね!」

もおゝマジで最高か？涙出てくるわ。ていうか信頼され過ぎじゃない？そんなあつさり逃しちゃうの？アホの子……………だったわ。でも可愛いからセーフ。

んじやまあ……………しつかり着いて来いよ!?!経 験 値カルマノイズ!

キミトハアイタクナカツタヨ―

「凄まじいスピードに、あんな速度で走り回りながら錬金術を連射……後ごんだけ力を隠してやがる？」

「レオンちゃんと本気でやり合わなくて良かったよ……」

「全力で殴り合ってたアレは本気に入らないのか？」

「あ、アレはそのお………テへ」

「ハア………取り敢えず、追っ掛けるぞ！」

「分かったよクリスちゃん！」

はい、私です。レオンです。

なんとか引き離しながら風弾ぶつけまくってたんですが、カルマノイズの野郎がしぶと過ぎてそろそろキレそうです。

もう風弾100発以上ぶち当ててんのに1回も怯みすらしねえぞ!?アーマー値的なのを超えてねえのか?だとしたら………精密行動に賭けて錬金術の精密射撃をやってみるか?

いや、ダメだな。万一ミスった場合の二次被害が悲惨なんてモノじゃなくなる可能性がある以上、装者も居る状態では絶対に出来ない。

風弾で効いてる気配が見られないなら、コイツはカウンターとズラし用に使うか………

魔力のキャパが分からない以上、無闇矢鱈にこれ以上連射すれば、枯渇した時詰む!

………と、なると《憎悪》、《ガングニールレプリカント》、《逆境》の3択か。

森林外に出しちまったら直ぐそこは街中だ。俺は回避出来ても力

ルマノイズは知った事じゃねえ。途中の人間皆殺しにしながら着いてくるんだろうな。

取り敢えず、逆境の起動はラストに取っておく。DEX40のおかげで回避は余裕なんだ。

ここで踏み止まってやるよオ！そっちの体力が切れるまで、持ち堪えてやるぜ！

『スキル：CON強化がレベルアップ』『スキル：予測がレベルアップ』『スキル：回避がレベルアップ』『スキル：戦闘術〔近接型〕がレベルアップ』

おい……………ふぎけん……………体内時計で30分近く経ったぞ……………体力バカかコイツはよお!?

それに、動きに一切衰えが感じられない。いくらノイズとはいえ、そんなバケモノが居るか普通！

攻撃はこっちはかなりキチィ……………ガングニールが起動出来ればあの時みたくバフが掛かるんだろうが、如何せん起動方法が不明なせいで分からねえ！

《憎悪》のアーマーでフォニックゲインを発生させるか？体力の消費がここから更に一段階消費が早くなる代わりに、起動出来れば大幅に楽になる………しかし、起動方法が不明。

唯一掴めてるのは、聖遺物である以上一定量のフォニックゲインが必要であろうという事だけ………

マジで不明点が多過ぎる！何が悲しくて実地試験繰り返し返さなきゃなんねえんだよ………うおつとあぶね！

いやちよつと！急にペース上げるのやめ、ちよつ、あの、おい！！

ふざけんなコノヤロウ！やってやんぞコラア！

シンフォギア（もどき）起動！

今回の歌は——【Full throttle】かこれ？

俺は猪突猛進野郎ってかあ!?

やってやるよオ！

『一定値の《戦意》を確認』

『指定スキル習得完了確認』

『《器》の精神力不足確認』

『スキル習得失敗』

オイオイオイオイオイ待て待て待て待て待て。

スキル獲得失敗した事も大問題だけどさあ！なんで精神力不足が問題点なのよ？

俺また憎悪みたいな爆弾抱えさせられそうになつてたの？シヤレにならんよ？

いや、それにしても………これ纏うだけでこんなに楽になる？

STRとDEXに+10だよ？ヤバすぎ無い？今速過ぎて俺何回木にぶつかりかけてるか分からんよ？

ん？あれ？前纏った時は+20とか無かったか？

……これはアレか？フォニックゲイン不足ってヤツ？
いやでも、10もバフが付いてるなら充分過ぎる！このまま仕留めにいき————たいんだがカルマノイズの弱点って何処？俺と同じく胸部？

物は試し！フェイント掛けながらブン殴りに行く！

ほんとツ、腕が伸びるのがツ、お速いようデ！

急に弾幕張るかのように腕伸ばしては戻すの繰り返してんじやねえ！

お前はル○イか！ガトリングを腕で再現してんじやないよ！

いやでも、これ普通にマズくね？どうやってこのえげつない腕弾幕超えりや良い？秒間8連打って所？

アーマーの耐久度に掛けて突っ切るか？それとも………

仕方無い、ナイフ使おう。

流石にこのラツシユは多分、アーマーが持たねえ。

ただ、性能落ちてるんだよなあ多分………

………待てよ？カルマノイズって確か、瘴気の塊って言っ
ていいぐらい瘴気に塗れてたよな？

——嫌な予感がするけど、ナイフ刺し込んだら強化されたりし
ねえか？

憎悪とかいう名前付いてんだし悪意のかまたり、じゃなくて、塊
みたいなアイツぶつ刺せば案外吸いそうだぞ？

ただ、どうなるかなあ………

ああもうヤケだ！何がなんでもぶつ刺す！

というかナイフ生成して投げ付けまくれば勝手に刺さんじやねえ

のかコレ!?

そうと決まりや行くぞ! 無駄に鍛えた投擲スキルを喰らえ!

滅茶苦茶弾かれますやん。

でもやっぱり………刺突力ウ………ですかねえ………

投げるのやめて突っ込めば! ぶっ刺せるだろ!

痛い痛い! 再生するし痛み無いけどそのラツシユは精神に効く!

よっしゃ! まずは1本!

『コネクト確立』

『ハッキング感知』

『妨害完了』

『《憎悪》並びに《一定量の瘴気》を確認』

『《憎悪》の進化開始』

『エネルギー量不足』

『《魂の経験》を統合』

『進化成功』

は??

……………ア？

なんか、いつの間にかカルマノイズの動き止まってるし……………

まあいいや、死ね。

『レベルアップしました』

『レベルアップしました』

『レベルアップしました』

3Lvアップか……………いやまあ、そんな簡単に大量レベルアップする程甘くないよね流石に。

そんでまあ、まーた色々やらかしてくれやがった声が聞こえたけど……………ステータスはどうかなー？

Oh……………

◇◇◇◇◇◇◇◇

名前：レオン

種族：原罪（聖遺侵食：35%）

Lv：10

STR：32（30+2）

CON：16（14+2）

POW：36（24+2+10）

DEX：42（40+2）

INT：16（24+2-10）

EDU：7（15+2-10）

残ポイント5

スキル：恐怖耐性Lv8 ランナーLv4 治癒力強化Lv5

予測Lv5 回避Lv5 マルチタスクLv7 戦闘術【近

接型】Lv5 高速演算Lv4 投擲Lv4 魔力操作Lv

4 錬金術Lv2 CON強化Lv2 POW強化Lv2

望遠Lv1 調律Lv7 歌唱Lv5 【大罪之種】デッドリーシード

◇◇◇◇◇◇◇◇

うわあ、ステータスポイント変動が見やすい。

じゃねえ！おいちよつと待て！ツツコミどころしか無いぞ！

まずなんで3回レベルアップの声聞こえたのにLv10なんだよ！Lvどこ行った！

しかもINTとEDU死ぬほど下がってんぞ！俺に脳筋の猿になれと!?

そんで最大の問題点は……………

憎悪がまた変貌してんぞオイ！しかも余計ヤバそうなのに！マジでどうすんだよコレ……………?

取り敢えず、何のスキルが消えたこれ……………?明らかに文字数減ってるぞ……………?

うん、精密行動くんと逆境くんどこいった?

精密行動はまだしも、逆境に関しては諸刃の剣とはいえバケモノスキルだから出来れば置いといて欲しかったんだけど?ねえ?

……………いやホント、どうしましょコレ……………

取り敢えず、立花さんまだ居るか分からないけど戻ろ……………

いや、めっちゃ近くに居たわ。

「レオンちゃん……………黒くなった？」

『黒……………？それってどういう……………？』

「なんとというか……………イカスミかけられた感じ！」

『カルマノイズはイカだツタの……………？』

「タコみたいなノイズも居るから、イカみたいなのも居るかもよ？」

『見ツケたら墨吐カセテくる』

「出てくるのは炭じゃないかなあ……………？」

出会って数日程度ですが、会話がもう完全に友人のソレです。多分

……………

さっきの大惨事で凄まじい困惑しか来なかったけど、なんだかんだ会話してるのが1番落ち着きますねえ！

「さっきのが一体どういうことなのか」

「説明してもらわねえとな？」

『アツ……………』

うーん、Bayonet^銃 Charge^{突撃}はご勘弁願いたいところ

……………

逃げてても事態が悪くなるだけだしなあ……………今回3名多いけど

……………

ん？

「あのく……………レオンっていう名前なんデスカ？」

『ソウだけド……………何処で聞いたのソレ？』

「響さんがとても嬉しそうに話してたデスよ？」

切歌ちゃんの敵意が和らいでるヤツター！

ていうか立花さん強過ぎでは？予想以上に装者からの敵意減ってビビるんだが？

『……………ソツカ、ソツカソツか……………』

「きゅ、急にどうしたデスカ!？」

『いやア、そんな風に話しテモラえるって嬉しいナアって……………』

「……………元人間、なんデスよね？」

『記憶があるだけで、もしかシタら違うかもしれナイけどネ？』

「それでも、騙し討ちみたいな事をしてゴメンなさいデス……………」

『……………あノさ、ちよつと皆集めテくれナイ？』

「へ？」

『ちよつとばかり、秘密を明カソうと思つテ』

「……………分かったデス！」

《前世の記憶》も交渉カードに出すべきかな、これは……………

集団ストーリーカーに襲われています（逆）！

はい、私です。レオンです。

今日はね、一世一代の大勝負に出ようとね、思いますね、ハイ。気味悪がられたらもう即逃げる。無駄に高いDEX活かせばどこかには逃げられるでしょ……………逃げれるよね？

「それで、大事な話って何かな？」

『……………この世界デの出来事ヲ、断片的ニ知ッテルツテドウ思ウ？』

「……………え？それって一体……………」

はい、運ゲー開始です。

『俺ハ、最初カラ皆知ツテタ。立花さんモ、風鳴さんモ、雪音さんモ、マリアさんモ、暁さんモ、月読さんモ……………』

「え？……………どういう事？」

『ガングニール、天羽々斬、イチイバル、アガートラム、イガリマ、シユるシャガナ……………ギアの事モ』

あーあー、全員からの視線が凄い事に……………でもやらないといけないのよね、悲しいけど。

『ルナアタック……………フロンテイア事変……………アルケミック・カルト……………この世界で起きた、様々な転換点……………』

「……………レオンちゃん、アナタはいつたい……………」

『立花さん、別世界カラノ存在ツテイウのは、信じるかい？』

「別世界……………並行世界の事？」

『違ウ。これは皆ニも聞いテ欲シイ』

よし、全員からの視線が更に凄い事になった所で爆弾一個投下と行こうかあ？

『俺ハ、ギャラルホルンでハ行ケナイ世界カラやつテ来たんだろウト
思ッテる』

「……………それって、どういう事？」

『エルフナインって子居たヨネ？その子に繋いデ欲シイ。直接説明しながら意識してもらウ』

「本当になんでも……………」

「ボクがエルフナインです。それで、意識してもらおうというのは……………」

『ハツキリ言うト俺バカだから、噛み砕いテ説明つテノが出来ないんだヨね』

「……………分かりました」

そんじや、話していきまスカあ……………

あ、その前に喉治さないと……………

途中で壊れたら泣く。

『ンンツ……………俺ハ、このトは別の法則に支配された世界……………
言うナレバ、他の根幹世界カラ来た存在……………かもしレナイ』
「他の根幹世界から……………では、出来事を知っているのは何故ですか？」

『俺ノ知ってる元の世界でハ、この世界に良く似タ世界での物語ガ創作物として有ッタんだ』

「なるほど……………そういう事ですか……………では、皆さんにも説明
させていただきますね」

『宜しく頼ムよ』

あつぶえ……………若干や喉壊れかけましたね……………

それよりも、遂に言っちゃいましたよ転生者だって。

最初から情報知ってる事を全部カルマノイズのせいにしても良
かったんだけど、僕がダメです（半ギレ）。

にしても……………ホントに【大罪之種】ってなんだよ、新種のスキ
ルくんかあ？新種だけどさあ！

『情報開示請求確認』

『スキル情報を開示します』

んんんんんん
????????????

◇◇◇◇◇◇◇◇

スキル名：大罪之種

進化条件：縛才纏✓

効果：・戦闘行動に対しての大幅補正^{ブースト}

・《武具》と認識されるオブジェクトの任意精製

・【魂の経験】の30%を吸収

・精神の補強、変容

・【大罪】を許容する程、効果向上

◇◇◇◇◇◇◇◇

……………お、おう。

精神の変容ってなんですか？ヤバイよね？俺の精神返して？いや

そもそもどんな物よ？

ていうか、【魂の経験】ってさあ……………こいつの進化の時にぶっこ抜かれたけど、多分レベルアップに必要な経験値だよね？俺これから70%しか得られないの？

しかも進化条件文字化けしてるし……………なあにこれえ？

「レオンちゃん……………話は聞いたけど、それでもやつぱり良く分かんないよ……………」

『別世界から来タ程度に思えばいいインじゃない？』

「奏さんとか、セレナさんみたいな感じ？」

『……………うーん、そんな感じかな？』

「なるほど……………」

『ねエ立花さん。気味悪がらナイの？』

「へ？うーん……………」

『関ワリナンて無い相手ガ、自分達ノ秘匿されタ歴史を知ッテイる。ソレは異常な事ナンダよ？』

「それはそうなんだけど……………」

『……………アツハハ；(*@ハ……………グツ！』

「え、どうしたの急に!？」

『……………ヤッパリ、最悪な状況だツタ』

「……………え？」

『スキル保有者の危機感知』

『情報取得完了』

——やっぱり、平和的には無理だったかな？

イヤな情報今送ってくんじゃねえよ、大罪野郎。

知りたくも無い物を押し付けるタイミングに関しては1000点どころか1000点くれてやるよ！

『……………ゴメン、ココでサよナらかナ？』

「……………え？」

『どうやら、俺ハ厄病神らしくてネ？これ以上迷惑はかけられナイヨ』

大罪スキルがたった今送ってきやがった最悪な情報。

【ウロボロスが俺に目を付けた】という事。

良く考えたら当たり前だよなあ……………急に同族ぶつ殺し始めて、しかも殺す程強くなっていくカルマノイズが居るときた。

そりゃ観察対象になるよねえ？

ていうかなんでスキルくんがこんな事知ってんの？謎くない？

ま、それはともかく俺が暫く留まっていたら何処にいても情報が特定されてピンポイントでカルマノイズが送り込まれてくるらしい。

カルマノイズを餌に、俺の事を育てるつもりなんかな？

という事は俺に世界蛇になれというお達しですか？

ていうかそんな謎技術あるならそれで装者攻撃すれば良くない？

なんでやらの？舐めプ？

……………うーん、ヤバい思想が出てくる。

「ワザとウロボロスの思惑通りに動いた後、世界蛇殺したらどうよ？」
いやでも、《憎悪》と《ガングニールレプリカント》の件があるしなあ

……………

世界蛇単独で倒せる程のバケモンになった後で精神喰われて暴走したらマジでシヤレにならん。

というか良く考えたら、今より弱い状態で既に装者2人を暴走状態でダウンさせちゃってんだよなあ。

……………ホントに大丈夫か？

いやでも、やるしかねえしなあ……………

ほおら、もう来た！

「な、カルマノイズがもう一体!?!」

「先の言葉はどういう意味だ!?!」

『ソのままノ意味さ。俺ノ近くニは良クそいつラガ湧クラシいよ?』
「なんだと……………!?!」

あーあ、せつかく装者達と中立関係ぐらいにはなれそうだったのに
さあ……………

『じゃ、ここいらでお別レの時デーす!』

「なんで私みたいに言うんデスか!」

『いいジャーん。それじゃ、皆まタね!』

「待ってレオンちゃん!これからどうするの!?!」

『ん?カルマノイズ皆殺シにスルだけダよ?』

「えっ……………?」

無駄に脳内で高速演算と予測をフル活用した結果、出た最適解とい
うか、ハッピーな感じで終われそうな確率が1番高いルートが
【定期的に送られてくるカルマノイズを皆殺し。レベルアップしま
くって世界蛇を超える】だった。

精神力不足でスキル獲得がキャンセルされたが、精神汚染が発生す
る系列のスキルが大量ならPOWをレベルアップで上げまくって《大
罪之種》を超えてやろうって算段。

多分、P O W 値の問題さえ無ければこういうスキル群は普通に有用スキルとして使えるんだよなあ……………というか実際《憎悪》多用してたし。

という事で、頑張つてレベルアップしまくって世界蛇超える旅に出ようと思いまーす……………ハア……………

残ポイントをSTRとEDUとINTに振って、と……………

『ふぎけんナこのクソガア！セッアッアッ！』

「めちやくち言葉が汚いデス!？」

「耳が……………」

「そんな事より、凄く速い！それに威力も……………!」

それはそれとしてこのタイミングで出てくるのやめろやこのタコノイズ！

装者とせつかく仲良くなれそうやったんやぞこちとら！

立花さんと折角ここまで関係持てたんやぞ！

なんなら6人中3人とは中立ぐらいになれたんやぞ！

オイ！ふぎけんマジで！

『スキル：怒を獲得』

オオン……………これもう名前だけで分かるよ？

《大罪之種》とか来たからこれいずれ《憤怒》になるヤツでしょ？ヤバ
いヤツでしょこれ？

分かる分かる

ふぎけん！怒る事すら大罪の養分になるとかどうすりや良いっ
てんだよオ!?

オラツ、喰らえガングニールパンチ！

『アッアッ！』

「まるで、獣の様な戦い方……………」

『スキル：怒がレベルアップ』

誰だつてこんなのブチギレるに決まってるだろうが！

なーにが悲しくてここまで積んできた努力蹴散らされてキレねえ
んだよ！

俺に僧侶にでもなれと？無理だね！

『ウラア!! シツ!』

「錬金術使ってた奴と思えねえ戦い方だな……………!」

ハア……………ハア……………怒んの疲れたわ……………

こんな感じでキレ続けたら秒でバテるわこんなん……………

理想は、効率的に削り取らねえと……………

多分、調子に乗ってウロボロスが大量投入してきたら秒で押し潰されるぞこのペースだと!

『《戦意》感知』

『《大罪之種》の保有を確認』

『余剰経験値を消費してスキル強化を開始』

『スキル：CON強化がレベルアップ』

『スキル：予測がレベルアップ』

『経験値不足』

『スキル強化を終了』

うわああお……………バケモンチートだなコレ……………

つか、大罪之種って憎悪みたく武器出せるんだったよな？これで思い出したわ。

だったら、1番効率的そうなのは……………！

『シツ！ゼエ！ア！ツ！』

「急に二刀流に……………しかも慣れてる!?!」

認めたくねえけど、俺の能力を考慮したら1番良いのは二刀流なんだよオ！なんでイキリトと同じ事しなくちやなんねえんだ！

あ、ナイフ二刀流だからキリトじゃない。じゃあこれは問題無い、うん。

いやホント、再生が効くなら変に守るより超攻撃スタイルの方が良いよなあ……………

あと単純に俺が堅実な守り出来る気しない。というかこつちが本音。

まあそれより……………凄まじい切れ味だなこれ？

全力で振り抜いたら結構簡単に足の先端ぶつた斬れるぞオイ

……………いくらSTR30越えとはいえ、マズくねえ？

俺目指すレベル滅茶苦茶高いからその頃にはどうなってるんだ？

いやまあ、今気にする事でもねえか……………

じゃあ、沈め

『レベルアップしました』

「本当に、1人で……………」

「カルマノイズを倒しちゃったデース……………」

何も話さずに去るとしますか……………

この場で話せる内容も度胸も無いとも言う。

自分で言つてて悲しい……………

取り敢えず、太平洋に出てみるか？もしくは、日本海側に行つてか
ら……………」

あれ？俺どうやって海渡りや良いの？

……………海に着いてから考えよ

お一人様コースって大抵虚しい

はい、私です。レオンです。

結局、何も言えずに全力疾走し続けてここまで来ちゃいました。

シレットとランナーが1Lv上がりしました。

今現在、何処か分からない砂浜です。

知ってる場所かと思っただけ全然知らないっすわここ。マジでどこ？

で、ずっとココに居るとまたカルマノイズがやって来ちゃう訳なんですが……………

日本でそんなノイズ出て暴れて問題無さそうな場所ある？無いな

(自問自答)

……………ホント、どうしましよ……………

水中走れないかなーって思ってた水に浸かってみたのは良いけど、めっちゃ浮いたし……………

じゃあ泳いでやろうと思っただけど、速度は流石に異常なレベルとはいえ何キロあるか分からないし……………

武器生成能力悪用してサーフボードみたいな作ろうとしたら、沈んだし……………

ホント、砂浜でマフラーたなびかせて謎プロテクター付けてるまっくろくろすけが立っているって絵面どうすりやええんや……………？

細工でもしてローブみたいなの作るか……………？

ていうかそれだ！細工だ！

手芸やってれば何かしら方法が浮かぶかもしれねえ！

ま、その前に……………

空気ぶち壊しに来てんじゃねえよ、クソノイズ。

俺の糧になれ！

という事で、今回のお相手は二足歩行ドリル付きカルマノイズさんです。

対戦よろしくお願いします。

「出会い頭の炎弾連射喰らえコラア！」

海辺だから出血大サービスだぞ嬉しいだろオ?!

……………あり？効きが悪い？

レベルアップしてから、明らかに威力も魔力も伸びてるハズなんだが……………ツ!?

あつぶねえ……………急に刺突してくるとはツ、思わなかったツ、ねえツ！

さつきまで撃たれたい放題だったじゃねえかコイツ！

なんで急に動けて——ドリルか！

ドリルで炎弾を起爆して威力を減衰させやがった！

コイツもダメージ覚悟でやってるって事かよ……………！

で、流石にこれで終わるとは思ってたが……………

自傷覚悟で特攻されるんだったら錬金術がまーた役に立たねえなこの野郎！

まーた、ナイフ二刀流……………いや待て、ドリル相手にナイフは射程不利が過ぎねえか？でも他の武器慣れてねえし……………

DEXに振って突貫……………は流石に嫌な予感がするな。

STRに振って、ドリルを跳ね上げるのが最適解か？慣れない武器使うぐらいならナイフでやった方が良いだろ多分……………

それにしても、スキルはマジで気持ち悪いな……

持つてるだけで、見た事も聞いた事も無いような技術が簡単に手に入るし、再現出来る。

今この野郎と打ち合えてるのも訳が分からん。

相手が積み上げてきた努力を易々と踏み躪るかの如く圧倒的な力と技でねじ伏せる。

それも、俺が知らない技で……………

ま、それに罪悪感感じるかと聞かれればN.Oなんだがな。

むしろ感謝してるよ、神様には。

やっとな手に入れられそうだったちよつとした幸せすら手に入れようとした俺を、弄ぼうとする野郎共に正面から堂々と仕掛けられるんだ。

ほら、怖くないだろう？

よし、跳ね上げた。

もう片方は——パンチか。じゃ、風元素を思いっきりぶつけてやっつてッ！

空いたその寸胴に、一閃！

あり？もう終わりか……………

もうちよつとどころかだいぶしぶとかったハズだろコイツら

……………？

『スキル：戦闘術【近接型】がレベルアップ』

『レベルアップしました』

「またもレベルアップ、と……………」

「70%でコレだろ？確かに普通のノイズとは別格の戦闘力だし、技まで繰り出してくるからシヤレにならねえんだが……………」

「それにしてもこんな経験値あるモンか？」

「命としての価値が高いのか？」

「いやでも、今はそれより細工をやってみよう。」

「……………でも、何すりや良いんだ？」

「取り敢えずで出来る物って何があんの……………？」

『スキル：作製を獲得』

『スキル：模倣を獲得』

あーうん、まあいいや……………

結局、物品を作るよりもせっかく海辺なんだから

【水元素で あそぼー】したらこうなった。

思いつきりおふぎけでシン○レラ城とか、カ・ディングルとか、フロンティアとか色々作ってた。

正直楽しかった。

で、俺はこつから急いでレベルを上げ……………無くても良いな。

カルマノイズをブチ殺しながらレベリングして行こう。

世界蛇を殺す為には絶対はこの程度じゃ足りねえ。

あんなデュオレリツクとかいうバケモン使って、9人で仕掛けて、えーと……………なんだっけ？あの箱みたいなのも使ってそれでなんとかギリギリ勝利だろ？

さあ、後何Lv……………いや、上げ続けよう。

どうせ最終決戦まで俺は1人で戦い続ける事になるんだ。

それにレベルを上げて悪い事は何処にもねえだろ？

『スキル：錬金術がレベルアップ』

『スキル：マルチタスクがレベルアップ』

『スキル：魔力操作がレベルアップ』

ハア……………

水遊び最中にもドンドンカルマノイズ共が出てきやがって

……………

ただまあ、錬金術の練習にはなったよ。

水を圧縮してから風元素で圧縮して放出を繰り返したら水圧カッターみたいになった。なんで？

まあ、それで出来た檻内なら閉じ込められるとは思わなかったけど……………おかげで閉じ込めながら錬金術の練習出来たよ。

ただまあ、近付けて斬ろうとしても硬過ぎて削る事すら出来てないんだけど……………

仕方ない、三・体・同・時・だ・が・相・手・す・る・し・か・ね・え・か。

唯一の救いは多脚が居ねえ事か……………

ドリル付き1、謎オブジェ1、スライム型1……………

どいつから仕留める？ずっと攻撃されてるから補填し直してるけど、そろそろ錬金術解除しとかないと魔力残量が怖えぞ……………？

まずは遠距離の出来る謎オブジェから一瞬で仕留める！

解除からの突撃——ツああクツソ！

最悪だ……………《連携》してきやがった!

ドリル野郎が謎オブジェを守って、謎オブジェが相変わらずゴムパンチしながらスライムが突撃……………カウンターを入れてたら迎撃が……………

投擲で……………いや待て、土元素で武器を生成出来ないか?大罪の力でナイフを生成して投げ付けるのは隙がどうしても出ちまう。

やっぱダメだな。魔力残量が不明な以上、錬金術で勝負はかけられん……………

ならッ、ナイフをぶん投げて射し込む……………いや違う!剣だ!剣で迎撃だ!

無理に謎オブジェ野郎から仕留める必要は何処にも無い!

まずは突っ込んでくるスライム野郎から捻り潰す!

久しぶりだな……………相手に攻撃させてカウンターを狙うやり方ってのは……………!

どれだけ力に溺れてたかよく分かるぜ全く……………!

最初の頃、マトモな一撃すら入れられず、回避すらままならなくて死ぬ気で避け続けようとしたあの頃はとうした?

唯一入った数撃のカウンターすら、俺にとっては腕や足を斬られた程度の、極僅かなダメージにしかならなかったあの頃はとうした?

戸惑いも無く逆境を発動させて、自ら死地に挑んで行ったあの頃の俺は?

——甘えてんじゃねえぞ俺！

ステータスとかスキルが有ろうが！ヤバいモンはヤバいってのは嫌という程学んだらうが！

カルマノイズ一体を倒せる様になっただけでつけあがってんじゃねえ！

油断無く、ブチ殺す。

『《意思》を確認』

『ステータスラインクリア』

『スキル：修羅を獲得』

『《殺意》を確認』

『ステータスラインクリア』

『スキル：殺戮を獲得』

名前は物騒だけど、不思議な感覚だな……………

まるで、欠けたピースが埋まるかの様だ。

コイツは、元々カルマノイズが持ってた種族特性に近しい……………って所か？

さて、仕切り直しだ。

向こう側に目立った損傷は無し。

コチラは魔力欠乏の可能性に、人数不利……………

それがどうした？

これまで6人の主人公達から逃げ続けて来たんだぞこちらら。

たった三体のやられ役相手に、こんな力もらってて負けられっかよ

！

俺のプライドに掛けて、潰す！

レベルアップは唐突に

『シッ………ハッ!』

はい、私です。レオンです。

久しぶりに全力で戦ってます。

剣でのカウンターを狙ってたけど、謎オブジェマンのパンチが刀身に当たってふらつくという事故が1回あったので結局慣れた格闘でやってます。

それにしても………《修羅》と《殺戮》の効果凄まじいな。

さつきよりも格段に相手の攻撃が避けやすいし、カウンターのタイミングが視える。

まあ、それで倒し切れる訳じゃないんだけどね………

ステータスへのバフは見られなかった。という事は多分、この2スキルは今亡き《格闘術》の様なパッシブブーストスキルだと思ってる。

ただ、それにしても強過ぎねえかコレ………?どっちもLv1なのに、マジで目に見えて違うレベルでさつきよりも余裕だぞ?

そうやって余裕をかましてた所に………ホラ来た。「油断してたら足元掬われるぞ!」と言わんばかりの2段構え………

突貫役のスライムは躲せてもスライムに隠した謎オブジェの攻撃が当たっちゃう。

かといって受け流せば腕の振りっ返しが間に合わない。

という事で………自分の攻撃で味方を傷付けてもらおうかな?

やる事は簡単。右ストレートでスライムをぶん殴った後に、風元素でスライムの軌道を謎オブジェのパンチ軌道上に修正!

そこで謎オブジェのパンチが入ったらこっちにスライムが帰ってくるから………火元素で右脚燃やしてカルマノイズ共に向けて蹴り飛ばす!

コイツが俺の考案した技の1つ！

《ファイアトルネード》！

……………どっかで見覚えあるなこの名前……………？

ま、無事直撃つと。

残りはドリルと謎オブジェ。スライムは炭化、と……………

『レベルアップしました』

ホント、経験値量どうなってるんだ？

ワンキルワンレベルとかになってるぞ？これ終わったら15Lvか？しかもこれ3割経験値吸われた上でのレベルアップだろ？ホントにとんでもねえな……………

さーて、面倒な中距離型と近距離型……………

ていうか、ここからが本番か？スライム野郎は付け合わせのミックスベジタブル程度にしか感じない程微妙な立ち位置だった……………ドリル野郎は違う。

後方の近・中距離を殴れる謎オブジェに合わせられる超近距離のヘイトシールドーって所か？

そういう相手の定石はシールドー無視で後方から潰す事なんだが……………

ヤバいな。

このドリル野郎、多分武の心得がある。

一定の構えに入るまでに迷いが無い。しかもパツと見で隙のある部分が見付けられねえ……………

本当にたまたまでこの形に辿り着いたのか、何かしらの方法で武術をインプットされたタイプか………どっちだ？

距離を詰めりや、分かる事か。

DEX40オーバー舐めんな！生半可な動きだったら一瞬で仕留める！

アカ——ン！

待って、普通に武の心得あるんだけど!?

戦闘術Lv6なのに………ちまちまこっちの拳撃が受け流されるしカウンターまで入れられる………!!

しかも、後ろからのツ、援護攻撃が鬱陶しいツ!

作戦変更！ナイフ二刀流でラッシュかけて仕留める!

ステータスとスキルでゴリ押しした戦い方になるのは否めないが、これで嫌でも連携無視で迎撃しないといけない相手になったろ!

後は頼むから後方の味方の事忘れろ！アイツの援護があると思つた以上に攻められん!

よっし！確実にさつきよりもオブジェ野郎の援護が減った!

流石に味方ぶん殴ってでも攻撃してくる程のアホじゃなかったか………

ただまあ、さつきよりも格段に攻撃がしやすい！体制を整えられる前にどっちか一体仕留める!

おいこらドリル野郎後ろ見るんじゃねえ!

『アッアッアッ！』

叫べ！一瞬でも良い！注目させろ！

よっしやこつち向いた！さあ、迎撃してこいドリル野郎！

そう！ちゃんと迎撃したな！

狙いは元から後ろなんですけどね、初見さん。

刺されるの覚悟！残り衝突2mのギリラインで《投擲》！全力で後方のオブジェ野郎にナイフをぶん投げながら踏ん張って、向かい風をドリルに向けて全力展開！

ドリル止まれエエエエエエツ！

っしやア怯んだ！後は右手に剣生成！STRとDEXに任せてドリル野郎に刺し込む！

よっしや1本！1本でも刺さったらコツチのモンだ！

距離取ってから大量に剣を生成して投げまくる！

Unlimited Blade Worksもどきを喰らえ！

『スキル：投擲がレベルアップ』
『レベルアップしました』

残り、1。

2本投げた内、1本が右足に刺さったか。どうせなら2本共良い場所にヒットさせたかったんだが……………あの体制からの強引な投擲だったし、及第点かな？

「じゃあ、ナイフ生成してつと……………」

流石にお前にタイムマンは負けねえよ？

『スキル：修羅がレベルアップ』
『レベルアップしました』

ふいー……………この砂浜着いてからもうカルマノイズ4体倒したんか俺……………

カルマノイズ多くね？量産体制みたいなの整ってないか？マジで疑うレベルだぞ？

それよりも……………《大罪之種》の効果が見たいって思ったらすキル効果が出たんなら、他のスキルも見たいって思ったたら効果出るんじゃないの？

やってみるかあ。

全然反応しねえ……………

ただまあ、《修羅》と《殺戮》と《怒》だけは出てきた。

全部ヤバそうなヤツ関連じゃねえか！ふざけんな！

◇◇◇◇◇◇◇◇

スキル名：修羅

Lv：2

効果：・単独での全行動に大幅な成功補正

・単調行動の継続に対する苦痛軽減

・単独で無い場合全能力が大幅弱_{ディレイ}化

◇◇◇◇◇◇◇◇

スキル名：殺戮

Lv：1

効果：・殺害行動に対する苦痛大幅軽減

・殺害行動に大幅補正

・殺害数最多種族とその同系統種族に対しての殺害行動に極大補正
(最低必要殺害数：1000)

◇◇◇◇◇◇◇◇

スキル名：怒

Lv：2

進化条件：Lv：15達成

効果：・STRがスキルレベル分増加（発動条件：1つの対象に極度の怒りを持つ）

・精神の極軽度な変容

◇◇◇◇◇◇◇◇

うーん、ヤバすぎイ。

取り敢えず全スキルをまとめるとヤバいしか出てこない。

・ぼっちプレイしないとステータスに滅茶苦茶デバフ掛かる

・でもソロだと凄いい強い 後クリツカーにも強い

・カルマノイズスレイヤーになった

・ブチギレるとマツチヨマンになる

・なんかキレやすくさせられてる

お、オオン……………？

よし、ステータスポイントの振り方考えよつと（思考停止）

25ポイントってホントにバカだよなあ……………どうやって振り分けよ……………

ていうか良く考えたらLv13の時点でDEX45超えてたよな？ドリル野郎とやり合い始めた時点でもう超えてたよな？

激しい変化が感じられ無かったんだが……………40を超えると上昇幅が薄いのか？いやそもそも50m走が5ポイント毎に1秒縮まるペースで上がったのがだいぶおかしい気もするんだけど……………

いや、これ最初の変化がデカ過ぎただけでもうだいぶ上昇幅が減り

始めてる説もあるぞ……………？

ま、D E Xに今回触れる気無いんで良いんですけどね！

せっかくこんなアホみたいにポイント有るなら他のステータスを
バランス良く上げてかないと、絶対何処かでどれかが不足する事態が
起きるんだよなあ……………

もしくはウロボロスが俺に正確にメタ張ってくるか……………どち
らにしろシヤレにならん。

ちよつと待った。

前【余剰経験値でスキル強化】とか言ってやがったよな？アレは意
図的に引き出せねえのか？

……………うーん、無理そう。

戦闘中に勝手に起きて、勝手に仕事して（しかもたまに要らん事や
らかして）、また冬眠する感じか……………めんどくせえなコイツ！

じゃあ、スキル強化は抜きでステータス考えよ……………多分海渡り
はしばらくは無理そうだから、海岸線歩きながら行こう。

しばらくは北を目指して、かなあ……………

海岸線沿いを歩くノイズマン

はい、私です。レオンです。

現在、海岸線沿いを歩きながらステータスの振り方を考えて、ついでにローブかパーカーが拾えないか思案中です。

というのも、今の俺マジで何も事情知らない人が見たら「全身真っ黒で手に謎プロテクター付けてマフラーたなびかせてるヤベー奴」なんだよなあ……………後触れた人間が（多分）炭化する。

マジでヤベー奴じゃん（再認識）

ステータスの振り方考えるのも大事だけど風貌もだいぶヤバいぞコレ！

せめてパーカー羽織って……………ああ待つて！ズボン！

ズボンも履いてないと今よりヤバい奴になる可能性がある！

ずっと命のやり取りしてて全く感じて無かったけど、コレめっちゃヤバい！マジでヤベエ！

そうと決まりや服だ！今すぐ服を手に入れるんだ！そうなりや海岸線沿い全力疾走しながらなんか無いか探せエ！

あれ？カルマノイズ（今は違うけど）って服着れんの？

うーん……………

しばらく走って今思い付いたんだけど《憎悪》の時みたくあの
アーマー纏えたりしない？多分今よりはマシな見た目になるハズ
……………！

という事で展開！勿論想定する見た目はレウス装備！

……………男性用のヤツ出てきたわ。

前女性用のじゃなかった？

ゴツイのに軽いし、金属部分以外全部黒だし、金属部分は異様に光
沢綺麗だし……………良く考えたらなんだこの見た目特撮スーツ
装備……………？

ていうか良く考えたらこんな謎装備からあんな音とか流れて
……………アレ？

シンフオギア機能取り外されてないかコレ？

……………ブースト手段が……………あだだだだだ！

前も言ったけど強引に情報を脳内に入れるのを止めるつつってんだ
ろ！使い方は確かに大事だけどさあ！もうちよいなんかあっただろ
！

えーとそれで……………ふむふむ……………んんん？

……………なんかこの鎧出典の割にえらく近代的だな。

ていうか仮面ライダー要素混ざって無い？これ完璧にやってる事
カブトだよ？大丈夫？

ま、大丈夫か……………戦闘が楽になるなら、あつて損はねえだろ、う

ん。

はいこの話終わり！次ステータス！

で、ずっとステータスの振り方を考え続けてた訳だけど………どうしてもCONの低さが目立っているからまずCONを強化する事にした。

《ランナー》のお陰で走る事に関してはむしろチート並の体力を發揮出来るんだが………如何せん戦闘時にそんな全力ダッシュを繰り返す訳でも無い。

つまり、ランナーの効果が發揮されない素の体力が要る訳で………

次のレベルアップに賭けて、振るのは12ポイントにした。これでCONが34となる。残りは13ポイント。

で、次がEDU。

錬金術スキルを手に入れた以上、スキルのおかげで術式は手に入っているが、如何せん基礎知識が全然足りていない。

そこでEDUを強化して、何処かのタイミングでスキルに頼らない錬金術を学ぼうという魂胆だ。

後ついでにコレの強化での副産物がまだ分かってないからそれを確かめたいのもある。

という事で、これもレベルアップに賭けて12ポイント。

これでEDUが29となった。残1ポイント。

最後の1ポイントはINTに振った。これでINTが30。

平均値はこれで一気に引き上がったと思う。

ま、大幅に強化された訳だけでも………結局やる事は、定点に留まらない様にしながらも新しく手に入れた《作製》と《模倣》をレベルリングするぐらいかなあ？

特に模倣に関してはマジで上げておきたい。名前に多分、文字通り死ぬ気で立花さんの格闘術を学んだあの時に1番欲しかった奴なんだよなあ。

これ一つあるだけで出来る事が一気に増えそうな予感がするので
本当に上げておきたい。

後はなんとかして装者達の敵意を緩和しときたいんだよなあ
……………

世界蛇の時まで会わない可能性も有るんだが、十中八九日本中動き
回ってたら一回は会うと思う。そんな時に問答無用で攻撃されたら流
石にシヤレにならん。

というか一番ヤバいのつて、装者とやり合ってる最中にウロボロス
がカルマノイズ送り込んで来る事なんだよなあ……………カルマノイ
ズブチ殺しながら装者を相手取らないといけないとか鬼畜ゲーか？
鬼畜ゲーだったわ……………

まあ取り敢えず、このうるさい鎧ガシヤガシヤ鳴らしながら海岸線
歩いて行くしか無いよねえ。

どうすりゃ良いか分からんけど、錬金術で水遊びしてたら作製も模
倣も手に入ったんだからなんか水でオブジェでも作りながら行く
かあ……………

『スキル：魔力操作がレベルアップ』

作製と模倣スキル手に入れてから無駄に凝ったモノが作れる気が
して、記憶に残ってたフロンティアをミニチュアサイズにして本気で
水で作ってみた。

滅茶苦茶後悔した。

概要作るだけはまだ良かったんだが、あの円形の謎オブジェとか、謎の建造物の凹凸とかを水だけで再現しようとするのと死ぬ程細かい精密操作が必要な訳で。

結局地表部分の5%も出来てねえ所で、初めて凄まじい頭痛が来た。

特に情報とか、スキルの使い方がインプットされた訳でも無いし、あの謎声も何もアナウンスして来ない。

もしかしてコレが【魔力欠乏】数歩手前って奴ですか？

魔力の消費量の違いが分かんねえんだよなあ……………前なんて4元素合計100発以上撃つてたのに頭痛も何も無かったぞ？

もしかして、維持したり細かく形を変える事って滅茶苦茶消費燃費悪くなる？

それだったら案外この方法良いかもしれない……………でも最近はカルマノイズ側も連携取ってきたりでイレギュラーな事多いし、やっぱりダメだな……………気絶する可能性の有る練習をこのタイミングでやる気にはならん。

ていうか結局模倣と作製のレベル上がって無いし！

魔力操作のレベル上がったのは嬉しいけど今欲しいのはそっちじゃねえ！

……………ん？ちよい待てよ？

模倣も作製も、レベル上げとして使ってるのは水元素錬金術だろ？で、消費効率が悪いと必然的に練習出来る量が少なくなっちゃう訳だ。

これ、魔力操作と錬金術のレベルを上げたら魔力燃費良く出来たりしないか？魔力燃費が良くなったらスキル上げ出来る量も増えるし、威力も結果的には向上させられる……………

よし、方針変更。

《錬金術》と《魔力操作》のレベルから優先的に上げていこう。出来れ

ば錬金術はLv5、魔力操作は7か8欲しいな……………

マルチタスクとか最初期からずっとお世話になってるけど、8になつてから普通に戦闘しながら色々考え事しても問題無い程に進化したし……………

錬金術発射は集中しないと威力も精度も落ちるからそれは仕方ないとい置いて、Lv8にもなると3対1の戦いでも接近戦しながら色々思案する事が出来たから相当強いんだよな多分。

よし、魔力操作は目標Lv8にしよう。そうと決まりや、歩きながら魔力操作の練習だ！

体内に巡る魔力を感知出来ればそれを動かして云々——とか、ラノベで前世は見たけど……………何それ？

俺身体に意識集中させた所で、心臓の鼓動すら感じられんよ？《ソウル》も心臓辺りにあるんだろうけど、マジで何も感じんよ？

……………どうしようか、これ。

やあ。

誰だお前と思っただな？レオンさんだ。

意味不明な話し方すんなって？まあまあ落ち着け。

というかまず誰に喋ってるか分からん俺のこの思考が落ち着け。

よし、落ち着いてもう一度だ。

もう一度目の前をちゃんと見るだけで良いから。

はいっ、せーので

「何してるのレオンちゃん？」

なんで立花さんが待ってるんや

お前海岸線沿いやぞここワレエ！しかもどんだけ都心から離れてるか分からんぞココ！

つかアーマー付けてんのになんで1発でバレ……………あ、そう言えばカルマノイズはリーダーで追えるんでしたね！

しかも装甲の見た目結構似てるしね！

「どうしたの？困ってるみたいだけど……………」

「こればかりは言わせてください。」

『立花さんが居るかう困ってル』
「ええッ!? なんでえ!?’

色々あり過ぎると脳は良く止まる

「なんで放浪してるの？」

『ほうろツ……………カルマノイズが湧かない様にだヨ』

「歩き回ってたら湧かないんだ……………どういう原理なんだろう？」

『分かつテタラ逃げタ事謝罪シテルンダよナあ……………』

はい、私です。レオンです。

立花さんに会った以上、逃げる訳にもいかないので会話なうです。

勿論シンフォギアは纏ってもらってます。事故で触れちまって炭化とか俺の精神崩壊するし、不意打ちでカルマノイズ湧いてきたらお互いに発狂モンだからね、仕方ないね。

……………で、さつきからなーんかこのアーマーに対する視線が凄いな……………

『……………ソナナにコレ気ニナる？』

「うえっ?! い、いやあ……………アハハハ」

『前ノシンフォギアもドキが進化シタ形だヨコレ』

「え!?前はもつとスリムな感じじゃなかった?今凄いゴテゴテしてるし、凄い重そうだけど……………」

『見た目重そうだケド、実ハめちやくちや軽インダヨね……………前のアーマーと同ジぐらいだト思うヨ?』

「そんなに軽いんだ、これ……………不思議なアーマーだね……………」

『俺ニ言わせればシンフォギアモ充分不思議なだけド……………』

「あー……………それはお互い様って事で?」

逃げてから多分5時間ぐらいか?

もう夕日が落ち始めてるのがこの海岸線からだとか良く見える。綺麗な夕焼けなんだが……………

こう、なんだ……デートじゃねこれ？
何考えてんだ俺……？
考えない様にしよう……

『綺麗だネ、夕焼け空……』
「うん、そうだね……」

ヤバい、口下手がバレる！
いや元から口下手だったけど！
でも仕方ないじゃん！夕焼けに対して表現出来る語彙力は俺持つてねえんだよ！

——ハア。良い雰囲気だったのにまーた異物が……

「カルマノイズツ!？」
『引いてテ。俺ガヤル』
「でもッ！」
『1人の方がやりやすいんだよ、俺』
「……………危なそうだったら行くからね！」
『周辺二気を付けて。増援が来ないとは限らない』
「分かったよレオンちゃん！」

んじゃ、立花さん引き離れた事で《修羅》が起動するハズ。
で、相手は俺がなんだかんだ瞬殺出来たタコノイズ……………なんだ

が……………

なんか俺の記憶より足多くね？

なんかあそこまで行くと、多脚というより触手になってるんだが？

……………嫌な予感がするな。

最初は様子見から入るのが正解か？それとも、足の数が多いだけと踏んで、要らぬ知恵回される前にナイフで速攻仕掛けるべきか？

後方15m位置に立花さん……………触手の長さは現在目測1mと少し……………余程バケモノじみた伸縮性が無い限りは20mも伸び切らないし、万一伸びても異常な程細くなって威力は乗らないハズ！

先手は様子見からエントリーと行こうかア!?

「うわっ、キャロルちゃんみたいな事してる！」

炎弾連射の事キャロルって言うのやめろオ！威力も精度も向こうの方が遥かに上なんだよお！

あの世界絶対解剖するウーマン《錬金術》も《魔力操作》もLv9とか10相当あるんじゃないやねえの？

バケモンか？バケモンだったわ……………

ていうかその触手をブンブン振り回すんじゃないやねえ！避けんのがツ、キツつい！

あ、右腕に1発ツ……………ちよい待てエ！全力で飛び退いたから良かったけど、同じ場所に何発攻撃置いてんだ！5本ぐらい追加で来てたぞオイ！

やっぱキツついなアレ！物量がヤバいせいで1回でも被弾したらそこに連撃喰らいかねない！

《投擲》で無限の剣製もどきしても多分向こうの方が速い……………か

とって錬金術連打はつい数十分前まで水遊びしてたから正確な残り残量が不明だから物量作戦は無理……………

突撃して触手斬り落とす！再生速度次第ではそのまま押し切る！

オラオラア！二刀流連撃のお味はどうだア!?

うわっ、大量に切れた触手全部ビタンビタンしてんだけどキツシヨ！魚なら良いけどノイズの触手がビタンビタンはマジで気持ち悪い！

——アア？

なんでノイズの触手が切れた後も動いてんだ？
前は炭化してなかったか？

……………まさか

「レオンちゃん後ろ！」

——まだ生きてるツ!?

『@—(; # = [@] @]?!?!?!?』

クツソ……………久しぶりに胸部に一撃貰った……………!!
それにしても、なんでノイズなのに切れた足が生きてんだアレは！
しかもそれだけじゃねえ……………

「ちっちゃなカルマノイズが!?!」

切れた足が集まって小型カルマノイズ作り出すってなんだよ
……………本体の足も修復されてやがるし！

どうすつかなあ……………

『立花さん！小さい方任せタ！』

「りよーかいッ！気を付けてね！」

『そツチこそオ！』

仕方ないけどまさかこんな形で共闘する事になるとは——う
おっ!?急に身体が……………!?

ヤベエ完全に忘れてた!

《修羅》のデバフか!?

ステータ——おい待てエ!?

全ステ—20はヤバい!スキルの事話してでも立花さんに戦線離
脱してもらわないと俺が死ぬ!

『立花さん!ごめん逃げテ!』

「えっ!？」

『俺の体質上、共闘したらめっちゃ弱くなっちゃウ!』

「ええ!?何その体質!?ていうか逃げるなんて出来ないよ!」

『戦闘に参加しないだけデ——ツ—#!:(!:@@!!?』

「レオンちゃん!？」

いってエなクソが……………!

つか戦闘術・予測・回避の3点セットでも、身体が着いてこないか
ら回避しきれねえ……………!

そう考えるとカルマノイズ普通に強えな!

「レオンちゃん!大丈夫!？」

『俺ハ治せるから……………今は退いて!』

「……………今ここでフォニックゲインを操作は出来ないの!？」

『イッた何ヲ言ッテ……………』

「ガングニールの力が有れば、倒せると思う!だから!」

『——今ココで？』

「それしか無いよ！だってレオンちゃん、強い時でも攻め切れて無かったもん！」

『……………見抜かしてたの力。ソっちガその気ナラ……………歌って！』

「うん！」

正直、攻め切れて無い部分があったのは認める。

見抜かれてたとは思わなかったけど……………向こうの同意があるならこっちだつてやってやらア！

ちなみにシンフォギア機能がこのアーマー無いので、僕はフォニックゲインが全然出せません。

立花さんが一方的にフォニックゲイン出すだけです。

で、カルマノイズである僕はフォニックゲインの波長が人間とまるで違います。

問題！

僕はこれまで身体外に発したフォニックゲインを人間のフォニックゲインと混ぜ込んだ後、出来る限り自分の身体に合うように波長を調整して取り込んで来ました。

じゃあ、体内に人間のフォニックゲインを取り込んで強引に調律した場合はどうなるでしょうか！

正解は……………

『アゝ！／＼@&a m p ;%1アゝ／＼+gアゝ＝@／＼』アゝ！！#∴（1
？ 『∥#?!?!／＼#?!?!?』
「レオンちゃん!？」

——あつ、無理これ気絶す——

—— んん？

ああ、そっか俺気絶したんか……………

あれ？おかしいな……………なんか6人見える……………
あ、主人公組か。

カルマノイズは？

あ、居なさそう……………

立花さんは？

問題無さそうっすね……………

—— なんでこんな見られてんの？

ていうか視界こんなクリアだった？

アーマーで見えなかったよね？

もしかして形が変わって——

『……………あれ？』

「装甲は無いわよ」

『いや、そうじゃなくテ……………何この感触？』

「貴方の顔よ。手鏡あるから見る？」

『見るけど、俺の顔真っ黒なだけだから——は？』

……………誰この美少女？

立花さんが黒髪になっただけやん。

えっ!?

『……………んんん?』

「随分と可愛らしい顔してるじゃない？立花響の様ね」

『……………手も……………足も……………身体マでインナーが……………』

「少なくとも、装甲姿よりは遥かにマシよ?」

『いや、そういう問題じゃなくテ……………』

「レオンちゃあああん!起きて良かったよおおお!」

『立花さん……………心配かけてごめん……………』

「本当に心配したんだからね……………でも、人間の身体……………ていうか、私の身体?になれたなら結果的にはOKだよ!」

『ソレに関しては、俺の問題だと思っただけド……………ていうか、身体触れタ?』

「司令にまだ分からないって言われたからシンフォギア無しだと触れてないの!…どうなの!?!人間になれたの!?!」

『ワっかんないヨそんなノ!…ていうか俺が1番困惑してルの!』

「レオンちゃん!一人称が俺はダメだよ!せつかく可愛くなったんだから別の一人称にしよう?」

『なんデ一人称を変えないといけな』

「良いよね？」

『イヤあの』

「良いよね？」

『……………はい』

押しが強いんじや……………

ステータスは……………

??????????

ふて寝しよっかな……………ナニコレ……………

変化がデカすぎる

はい、私です。レオンです。

一人称【私】か【僕】にしようかな……………俺のままだと圧で殺されそう……………

まあそれはどうでもいいんですけど今は。

ステータスが大問題過ぎて頭痛がマツハで寿命もマツハなんですよ奥さん。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

名前：レオン

種族：原罪（聖遺侵食：78%）

Lv：15

STR：39

CON：34

POW：41

DEX：47

INT：30

EDU：29

残ポイント0

スキル：緊急テレポルト、調律Lv8、恐怖耐性Lv8、マルチタスクLv8、予測Lv6、戦闘術【近接型】Lv6、魔力操作Lv6、投擲Lv5、歌唱Lv5、回避Lv5、治癒力強化Lv5、高速演算Lv4、錬金術Lv3、CON強化Lv3、POW強化Lv2、修羅Lv2、模倣Lv2、殺戮Lv1、作製Lv1、《大罪之種》

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

あら〜

ハア!? いやいやいや、78%はおかしいでしょ!

直接取り込んであげつないぐらいの痛みしたけど、それにしてもこの進み方はおかしいでしょ!?

え、40%以上進んでるよコレ!?

中和せずに取り込むだけでこんなえげつないぐらい侵食されんの!?

しかも調律のLvまた上がってるし!

今あるスキル群で最高レベルの8だし!なんだこのカオス!

あ、でも一応種族はまだ原罪なんだ……………悲しい……………

緊急レポートに関してはこれ何? ホントに何?

「前から思ってたのだけれど、顔が分かる様になって確信出来たわ。貴方何処を見て狼狽してるの?」

『え、あノ、いやそれは……………』

「言えないのかしら?」

まっずいステータス見てるのがバレた……………!

ちゃんとした顔が出来たって事は視線もバレるんかよ……………!

しかもよりにもよってバレた相手がマリアさんはマズイ! 下手な誤魔化しが効かねえ!

どうする……………強引に押し通して、場を凍らせてでもステータスを隠し通すか?

それとも……諦めてステータスシステムを開示するか？
どっちが正解なんだ……!!?

「黙りこくって、どうしたのかしら？」

『……話しマす』

「何を話してくれるのかしら？」

『この“力”について……』

「それは、さっきの視線と関係あるのかしら？」

『関係し力無いでス……』

流石に装者6人の凄みには勝てなかったよ……

戦闘じゃない部分でこれは本当無理……泣くレベル……

しかもこの場で隠し通したら後々に問題の種だらけになっちゃう
から結局言うしかない……クツソ……

「ステータス、ね……………」

「まるでゲームみたいデース……………」

「レオンちゃんそんな事が出来たんだ……………」

はい。

流石にスキル詳細とかステータス値とかのマズイ情報は控えて

- ・ステータスというシステムで強くなれる
 - ・スキルという物のおかげで色んな事が出来る
 - ・話せてるのはスキルのおかげ
- の3つだけ話しました。

というか信頼得れてかつ、自分の戦力を晒さないラインギリギリが
ここな気がする。

「レオンちゃんも最初に会った時と今じゃ全然違うもんね……………」ど
れぐらいステータスって変わったの?」

『どれぐらい……………あノ時の3倍以上ハ全ステータス上がったネ』

「3倍!?じ、じゃあスキルは?」

『そつちも3倍以上』

「そ、そんなに……………じゃあその、1人で戦わないと弱くなる体質つ
ていうのは?」

『スキルの1ツだね。誰かト共闘出来ないんだつタのを言っつかラ思
い出しタ……………』

「……………レオンちゃんって案外おつちよこちよい?」

『ソれを言うナあ!』

ツライ……………共闘したら《修羅》の効果で弱くなるって確認してたのに、焦ってやらかした時から恥ずか死しそうだったのに……………！

ここで言い直されるとホントにツライッ……………！

「それにしても……………なんで響さんの顔なんデスカ？」

『暁さん……………おッ……………じゃない、私にも分かんない……………』

「そうなんデスカ……………というか無理に一人称変えたデスよね？」

『氣ノ所為だヨ？』

お願いします。

お を言った瞬間にこっち向くの止めてください立花さん。

胃が死んでしまいます。

「それにしても……………黒髪の響さんもこれはこれで……………」

『月読さん？私ハ立花さんじゃないヨ？』

「響さんの顔をしているし、響さんとずっと会話してるなら響さんと扱っても良いハズ」

『えエ……………？何ソの理論……………』

ヤバイ。

年頃の女の子ってこんな凄まじい理論展開してくるもんなの……………？俺の胃ぶっ壊れそうだよ……………？

「それよりも、だ。何故あの場でカルマノイズを倒した後逃亡したのか教えてもらおうか？」

『風鳴さん……………端的に言えば、同じ所二私ガ留まっテタラカルマノイズがすぐ近くに出てくるんだ』

「何……………？カルマノイズを呼び寄せているということか？」

『……………ウロボロスがちよっかい掛けて来テルんだよ』

「ウロボロス、だとツ……………!!?」

ああ、この反応的に多分ウロボロスと会ってんな。

ていう事は……………あの……………Fa○eの魔法で出てきそうな名前のヤツも見たんかな? まあそれは分かんないけど……………

「レオンちゃんウロボロスに追われてるの!?!」

『追われテるといウよりハ、目をつけられたに近イかな?』

「目を付けられた……………どうして?」

『いやだツテ、戦う中デ勝手に成長スるカルマノイズとカ、敵でモ味方デも気にナルと思うんダけど』

「……………確かに。でも、あの変なカルマノイズは何なの? 私は見た事が無かつたんだけど……………」

そこなんだよなあ……………

前世でシンフォギアのゲームをやったり、リアタイで見てたりもしたけど……………

武術の心得があるノイズや、連携行動を取ってくるノイズ、明らかに触手に近いレベルの足があるノイズ……………触手に関しては増殖分裂もどき機能付き、と……………

ハッキリ言つて、異常過ぎる。

まるで何かを模倣したか、模倣出来なくとも参考にして新たに作り出したとしか思えないぐらいの異様なノイズにばかり今の所会っている。

もしかして、送られてくるカルマノイズは戦闘データ取り用のモルモット?

いや、まさか……………有り得るのか?

だけど、そうだとしたらカルマノイズの量産体制が整ってねえと無理だろ？あれ結構有用な駒だけどそんな使い捨てみたいに量産は出来なかったハズ……………

しかもそれだけに限らず、カルマノイズに対して俺の位置に正確に登場して俺を攻撃する様にする高度な知能が要る。

転送だけならウロボロス側がやってるとしても、あの装者達も居た場で俺だけを正確に狙ったあの行動は異様過ぎる。

確実に、ただカルマノイズであるというだけでは無理な話だろ……………よりもよって、変質しているとはいえ【同族】を攻撃してんだからな。

逆らえない絶対命令的なのを下されていたとしか考えられねえんだよなあ……………元から同族を攻撃する様に作られてるなら欠陥品でしか無いし

うーん……………？

「レオンちゃん！無視しないでよ！」

『——うえ？』

「魂抜けてたよレオンちゃん……………急に下向いて無視されたから嫌われたかと思ったじゃん！うわああああん！」

『シンフォギア纏ってるとはい工抱き着かれるト困ルんだけど……………！』

「だって無視するレオンちゃんが悪——

レオンちゃん、おつきくない？」

『エ？何がおつき——えっ………？』

運の尽きだつて言うんですか？

現実逃避して見ないようにしてたのに……

これが喪失までのカウントダウンですか？

無くなるのは俺の1番大事な尊厳なんですけどねー

感覚が無いけど………おむねがある………涙が出てきた

………

割とデカイし………

ああ、もうしらない

えいっ

「ほっひえひっびゃらないでよ………」

『急二抱き着いた挙句、揉んデキタんだから良いでシヨ!?立花さんのえっち!』

「ひよれとこれはまた別じゃん!」

『いいヤ一緒だネ!やりタイ放題しテ………!』

「レオンひゃんいひゃいひゃい!」

周りの目が生暖かいけどもう知らね………

カオス時々シリアル

はい、私です。レオンです。

まさかの……………あの……………π付いちやった……………ええ……………？

触られてるけど何も感じないから多分神経通ってないんだろっけど……………戦闘で邪魔だよこれ！

「それにしても……………変な感触……………」

『ノイズだもん……………私モよく分かって無イし』

「なんとというか……………凍ってない保冷剤みたい」

『凄い例えだネそれ……………ていウカいつマで触ってルの？』

「面白い感触だから、つい……………」

『ハアアア……………触覚無いカラ良いけど』

「え、感覚無いの？」

『無いんだよ……………』

なんかぐにぐにしているらしいっすよこのお邪魔物体。

っーかそれよりもなんで付いてきた!?

防盛で良かったろ！こんなところまで立花さんに寄せなくて良いんだよ！

後なんで女体なんだよそもそも！TSは望んでねえぞ！

頼むから男体であって欲しかったツ……………！

あれ？そう考えたら下は？

あ、いや、まさかね……………無いよね？

手先足先以外殆ど感触無いからわっつかんないけど……………たまたまこれが付いてきただけだよな？

流石に（二元）カルマノイズだったんだから無性だよな？

こんな所で精神ガリガリ削られるとは思わなかった……………！

「でもレオンちゃんって、なんで急にこのインナーとか顔が出てきたんだろ?」

『もたレかカリながラ話ヲしよウとシないデ!』

「ええ? これぐらい良いでしょ?」

『色々当たつてつらいインデす! 主に私ガ!』

「……………もしかしてレオンちゃんってすけべ?」

『スケベ以前ニ、元々私ハ男ダツ!』

「——え?」

『え?』

あれえ? 言っでなかつたつけ?

「レオンちゃん……………男、だったの?」

『……………はい』

「……………なんで、その……………胸があるの?」

『分かりません……………』

「カルマノイズに正座させるってどうなんだ?」

「立花がそうさせてるのだから良いだろう?」

「レオンさんが正座させられてるデース……………」

「元は男……………確かに、そういう風を感じる言動と行動はあったわね」

「響さんの見た目で中身は男……………良く分からない……………」

「なんでその……………そんなに大きいのか?」

『立花さんが好きだからです』

「どういう意味!?……………前から思ってたんだけど、なんで私が好き

なの？」

『え？可愛イカラ』

「か、かわッ……………」

ドン引きされてもしらないので限界オタクぶちかまします。
引かれたらもうおーわりって事で！閉廷！

『いやだッテおっちょこちよイだし、初心だシ……………』

「わあー!?言わないで！っていうかなんで知ってるの!？」

『いや、前知ってるッテ言ッタじやん……………』

あたふたして顔真っ赤の立花さんカワイイヤッター！

まあそんなアホみたいなことしてる間にも解析できるマルチタスクって便利だなと本当に感じる。

しばらく聖遺侵食の意味とか、緊急テレポルトに線が入っている理由を考え続けていたけれども結局予測だらけになってしまった。

仕方ないじゃん……………証拠が少な過ぎるし……………

取り敢えずで付いた予想としては、まず《聖遺侵食》は単純に「シンフォギアのフォニックゲインを取り込んだ量」だと思ってる。

前に強制浄化が入った時に侵食率が1%だけ上がったけども、多分取り込んだ時のつかえみたいなのが取れたと予想してる。

で、その結果フォニックゲインが循環しやすくなって1%上がった……………のか？って感じ。

次、《緊急テレポルト》。

これに関してはもっと予想が激しくなるけど「《俺という存在》が薄れて宝物庫との繋がりが薄くなった」と予想してる。

というのも、侵食率なんてモノが出てきてから緊急テレポートの発動可能までに謎のデイレイが発生する様になった。

具体的には、スキル一覧からの消失。

何が理由かずっと分からなかったが、多分聖遺物との侵食率が上がった事で緊急テレポートの所有者である《俺と宝物庫を繋げるリンク》的なのがあるんだろう。

それが侵食率と共にドンドン薄れていき、78%になった事で完全にリンクが切れて使用不能になった……………と、予想している。

しかし、どちらも何処まで行っても予想の域を抜けない。

《予測》は確かに凄まじい性能を發揮している。

特に戦闘面に関しては、未来予測とすら言っても過言では無いレベルの先読みが可能な事もある。

ただまあ、あくまでもそれらは可能性の1つであり絶対では無い。

あくまでもそれを念頭に置いて行動していく必要がある。

ハア……………慣れねえ事していると眠くなるな……………

「レオンちゃん……………もしかして眠い？」

『……………ウん』

「ここで寝る？」

『仮眠でモ取——ア？』

「どうしたのレオンちゃん……………？」

「なんで眠いんだ？」

前こそ不眠不休で激戦繰り返した後の不貞寝で1回寝たけど、今回に関しては気絶直後で戦闘もしてねえぞ？

それに、錬金術も1度も行使していない。という事は魔力欠乏も有り得ない。

じゃあ何故急にこのタイミングで眠くなった？

侵食率上昇で人間に近くなったから？それならこの身体は相当体力の燃費が悪い身体になるぞ？

ステータスに変動は………一切無い。

どれだ？どれが原因なんだ？何が俺に眠気を呼び覚まさせている？

下手に睡眠するとカルマノイズ大量に呼び寄せて大変な事態を引き起こしかねない………なのにとんでもなく眠い………ヤバイ………！

「……………本当にどうしたのレオンちゃん？」

『なんか……………抗エナイぐライの眠気ガ……………』

「……………寝ても良いんだよ？カルマノイズを呼び寄せちゃうなら、私達が守るから！」

『絶対にソクナ事ハさせラレナイ……………コレは……………オレ……………ノ……………』

マズイ、意識が勝手に……………！

「……………ここは？」

「——久しぶりだな」

「……………神様？」

「時間が無い為、単刀直入に言わせてもらうのだが……………その前に
まずは、すまなかった」

「……………えっと、どういう事です？」

「伝えなくてはならない事があった為、こちら側で意識を強制的に
シャットダウンさせてもらった。ウロボロスに関してはコチラ側で
現在は対処しているから安心して欲しい」

「ハア……………？それで、伝えたい事ってというのは？」

「《大罪之種》についてだ」

「ツ……………あのスキルがどうかしたの？」

「酷な話なのだが……………《大罪》スキルを用いてカルマノイズを倒す
事を止めて貰えないだろうか？」

「……………何か、理由があるの？」

「《憎悪》までは、こちら側でも設定されていたシステムの1つだった。
しかし、《大罪之種》に関しては完全にこちらの設定されていないシス

テムだ。カルマノイズの瘴気を吸い取る事で変容しつつあるが、これ以上瘴気を吸い続けるとどの様な変容が起こるかハッキリ言っていない。明だ。

最悪の場合、今はこちら側で保護している《ソウル》すら呑み込まれるかもしれない」

「……………《ソウル》が呑まれると、どうなるんです？」

「良くて肉体の消失。最悪の場合、肉体のコントロールを奪われて意識のあるまま、殺戮行為に加担させられる可能性がある」

「……………スキルを一切使わずに対処するのは、ハッキリ言って難しい場面もあります。使用しない以外での対処方法は無いんですか？」

「……………本来は規約違反なのだが、今回に関しては特級の危険事態だ。情報を開示しよう」

「特級の危険事態って……………そんなとんでもない事態なんですか？俺一人の問題じゃないのです？」

「実感が湧いていない様だから簡潔に言ってみよう。」

——その力は、神に届き得る」

「……………ウロボロス側に利用されて侵攻された場合、対処に困るって事ですか？」

「理解が早くて助かる。それよりも《大罪》スキルの緩和方法なのだが……………」

話が長え！

いやめっちゃ大事な話なのは分かるし、聞いてるけど……………やっぱり長え！

「——という事だ。情報はこれで充分か？」

「ええ。神様の問題に関係無く、俺の事利用しようとしたウロボロスには個人的に私怨が湧いてるんです。

——潰してきますよ」

「そこまでしなくても充分なのだが………呑まれぬ様に気を付けるのだぞ」

「耳が痛いですよ、神様。【ミイラ取りがミイラになる】っていうのは俺の1番嫌いな言葉なんです」

「そうか。ならば、行くが良い」

「また、行つてきますよ」

さーて、でっかい話になっちまったなあ………

小山と連山と富士山（隠語）

ステータスとかスキルの事神様に聞いたときや良かった……………後悔するのが早すぎる……………

「あ、レオンちゃん起きた！」

気付くの早い、早いよ立花さん……………

あ、どうも。私です。レオンです。

もう定型文と化した挨拶をしつつも、現在は困惑なうでございませす。

なんせ……………

「スウ……………スウ……………」

『……………なんデ暁さん寝てルの？』

「夜も更けてきてるしカルマノイズと戦った後だから疲れたんだって……………」

暁さんがすぐ側で寝てたら誰だってビビるでしょうよ……………

まだ炭化させちまう可能性があるから下手に触れねえし……………装者全員の負担がデカくなる一方だぞコレ……………

もしウロボロスに攻撃を仕掛けてる最中に装者達がやられてしまったら実質的な負けになっちまう……………

その為にも、また離れるべきか？

それとも、《力》を交渉材料に《S・O・N・G》と協力体制に入るか？

どちらもメリットとデメリットが多い……………正解のルートは不明、【問題のスキル】は取得する為に【Lv・30】に到達する必要がある。

こっから15Lv追加で上げろってマジか……………？

『……………立花さん』

「どうしたのレオンちゃん？」

『前から聞きたかつた。なんデこのプロテクターが腕に付いた時から、私ニ優しくしてくれルの？』

「一人称無理に変えなくてもいいよ？それで、なんで優しくかあ……………」

「フオニックゲインを……………えーつと」

『調律のコと？』

「そうそれ！調律した時になんだけど……………映像みたいなのが流れてきたんだよね」

『……………映像？』

「ここは何処？とか、自分は何者なんだ？とか……………ずっと【唸りながらうずくまっている誰か】が見えたの。確信は無いけど、多分あの人はレオンちゃんだったんだと思う」

『私ハカルマノイズなんだよ？人間ノ見た目なんてしてないし……………』

「そういう事じゃないよ！きつとあの人はカルマノイズになる前のレオンちゃんだよ！」

『……………もしそウダとして、それが優しくする理由にはナってないト思っただけド？』

「私達がどんな道を歩んできたか知ってるんでしょ？それに、前も話してたから融合症例も分かるよね？」

『……………それに何の関係が？』

「自分が人間で無くなつていく恐怖つてのは私も経験した事がある。その時に、私は未来に……………それだけじゃない。二課の……………

S. O. N. Gの皆に支えてもらったんだ」

『……………何が言いたいノ？』

「同じ苦しみを知っていて、今苦しんでいる人がそこに居るなら、私は手を伸ばしたい！だから私は、私に出来る事をする！」

『……………それが、私に優しくする事だト？』

「そういう事！」

眩しいなあ……………もうとつくに日は落ちて、街灯も無いから月の光しか差し込んでこねえのに、まるで太陽の様にそこに居る。

推しだとかなんとか言つてたけど、それ以前にやっぱり立花さんは……………どこか歪んでいる。

『じゃア、相手が寄り添ウ事ヲ望んで居なかつたら？』

『……………それでも私は、手を伸ばし続けたい！』

『……………節度弁えナよ立花さん……………よつと』

『……………レオンちゃん？何処に行くの？』

『開けタ場所まデ旅する。そして、そこでカルマノイズを殺シ尽くス』
「……………どうして？ウロボロスに狙われてるんでしょ？協力した方が良いハズだよー！』

『これ以上、そっちニ迷惑は掛けられナイ』

「レオンちゃんが迷惑にだなんて！」『それに』

『それに私ハ……………俺は、戦わなくちゃならナイ』

『どうして……………?』

『ステータスを強化シないと、俺はいつカ【呑まれる】』

『呑まれる……………?もしかして、暴走!?!』

『……………俺ハ、俺の尊厳ヲ守る為に戦ウ。そして、この戦イは俺自身の問題ダ』

S. O. N. Gから離れて単独で戦闘するのが最適かな?

《修羅》の力を利用してカルマノイズを狩り尽くし、30Lvに到達する事で【あるスキル】を手に入れる。

その為に、立花さん達とはここでお別れですねえ……………悲しいけどね、仕方がない。

「……………なら、私を倒してから行って!」

『……………ハ?』

「私を倒せないのに、カルマノイズが1人で倒せるだなんて言わないで!あの時も、1人で倒し切れなかった癖に!」

『スキル：怒がレベルアップ』

『——言ったナ？今、しつかりト』

「私は逃げない！分からず屋のレオンちゃんからは！」

『スキル：怒がレベルアップ』

『——なう、ココで倒れる！』

「分からず屋には負けないッ！」

『スキル：予測がレベルアップ』

『スキル：高速演算がレベルアップ』

初めてだ……………《殺す》んじゃない、《無力化》する戦いっていうのは。

おっそろしく難易度が高い……………致命傷になり得る一撃を消し去って、肉体に負担を掛けられる位置に攻撃を掛けていかないと体力にモノを言わせて押し切られる可能性がある……………

それにしても、ステータスとスキルは本当にヤバい代物だったらしい。

「あの時よりも……………めちやくちや強くなってる……………ッ！」

『こんな所で止まっテられナイんだ！退け！』

「レオンちゃんをそんな状態のまま行かせられない！必ずここで止めてみせる！」

あの時、あれ程まで苦戦して、自らの出し切れる全てを出し切っても尚届かなかった相手と今は善戦している。

特に《錬金術》が1番ヤバい。

相手の攻撃に合わせて自分に風元素を軽くぶつけてやれば任意の場所にブーストが掛けられて、しかも俺は筋肉と骨が無いから無理な軌道からでも強引に回避が効く。

立花さんも不屈の精神で喰らい付いて来てるが……………体力勝負に持ち込めば恐らくこっちの勝ちだろう。

格闘術は確かに凄まじい程の研鑽が重ねられているし、死線を潜り抜けた経験だつて向こうの方が多いだろう。

だが、《修羅》《高速演算》《予測》《マルチタスク》《戦闘術》《錬金術》の6スキルと、俺のステータスの高さを組み合わせればッ

「ぐッ……………完全に動きが読まれてるッ!？」

『ソの行動ハ、予測済みダ！』

読み取れる……………右か？左か？フェイントか？それとも、上下？
何処から攻めようとしてるか……………どの様に戦術を組み上げて
いるか……………それに対しての最適な防衛方法、回避方法が【見える】
！
このまま押し切るッ！

「読まれるなら……………ハアッ！」

『その動きは予測済みだと』

「それは予想してたよッ！」

『そこからのカウンターなんて入れれる訳がッ!？』

「グッ!?セエイッ！」

『^@-? (+%ツ!』

肉が持たないぞー!』

「そこまでしないと、レオンちゃんは止まりそうに無い！」

自分の足の筋肉に負担掛けてまで反転回し蹴りぶちかまされると
は思わなかったな……………完全に予測外だった。

《ソウル》に少し負荷が掛かったが、それぐらいか……………

立花さんは体力にまだまだ余裕がありそうだが、先の行動等から恐
らく足の方が先に尽きる。

俺はまだまだ全体的に余裕が残ってるし、何より《大罪之種》の力
をまだ使用していない。あまり使いたく無いが、起動すれば恐らく一
瞬で終わらせられる。

慈悲じゃないけど、一瞬で終わらせてやる。

アーマー展開。そしてカブトもどきの力、使わせてもらおうぞー！

「あの時のアーマーが……………!」

『決着ノ時ダ、立花さん』

「うわっ、アーマーが!?

——私と同じ、シンフォギア?」

『まさかここまで模倣する事になるとは思わなかつたけど………ここ
レで終ワリダ』

【仮面ライダーカブト】に出てくる、キャストオフ。

外装を弾き飛ばして内装を展開する技なんだが………まさかレ
ウス装備でそれする事になるとは思わなんだ。

ていうかまさかのこれ二重構造でした、とか分かる訳ねえだろうが
!絶対そんな事出来る分厚さねえだろこのアーマー!

しかも見た目がガングニールのシンフォギアになってるし!

元々黄色かった部分真っ黒で、白かった所が暗い黄色だけど………
プロテクターも、マフラーも、完全にガングニールだこれエ!?

そんな事はどうだっていいんだよ今は………大事な事じゃない。

そう、今はそんな事よりもっと大事な事がある!

「聞いた事のない曲………それに、動きが速い!?

『おいおい、コイツハ………』

予想外過ぎんだろ……………流れてきたのが特殊過ぎる！
コイツは……………

ユーロビートじゃねえか！しかもなんで【Nightmare】なんだよ!?

いやでもなんかめっちゃくちゃ動きとか早くなってるな！なぜか腹立つけどめっちゃ嬉しい！

ていうか速すぎイ！

ステータスは……………あ、すんごーい

DEXしかブースト掛かってないけど+20って何？エグすぎん？

立花さんには悪いけど、コイツで一瞬で終わらせる！

迷い悩み決断し

はい、私です。レオンです。

GANGグニールもどき纏っちゃってから一気に戦力差が出始めてます。

いやだって、バフ込とはいえDEX67は、ねえ？

しかも最近は速度の尋常じゃない変化にも慣れてきた。

慣れてきたというか、《予測》《高速演算》の組み合わせで速度と距離を確認しながら《錬金術》で微調整。

▶《マルチタスク》《予測》《高速演算》で最適な踏み込み距離を予想。

▶再度飛び込みながら、《予測》《高速演算》で踏み込み距離を再計算。

▶《マルチタスク》《予測》《高速演算》のループを戦闘しながら高速で繰り返す。

10回も突撃すればほぼ慣れる。ヤバ過ぎない？

「前よりも、格段に強い……………」

『俺は進ム。“未来”に辿り着く前に、こんな所で終われルか！』

「なんでそこまで、1人で戦う事にこだわるの!?皆と一緒に戦う事だって出来るハズだよ!」

『俺ハ、1人デないと戦わナイ……………戦えない!』

「例え誰かと居たら弱くなってしまうスキルがあつたとしても、皆でその穴を埋めれば問題無いハズだよ!」

『迷惑ヲ掛けテ、その上デ飄々と戦エるモノかア!』

「誰も迷惑だなんて思わない!誰だって長所もあるし、短所だってある!私だって間違える事もある!だけど、間違っていたらそれを正してくれる仲間が居る!だから、私は自らの道を突き進める!レオンちゃんだって、それは分かっているハズでしょ!」

『グッ……………俺ハ……………俺ハ……………!』

「レオンちゃん!私の手を取ってくれるだけで良い!無理に共闘しよ

うとしなくても良い！だけど、無理に1人で進もうとする必要は無いハズだよ!？」

……………どっちが正解なんだ？

弱体化を受け入れて、共闘するのか？

孤独の戦いに身を投じるのか？

弱体化を受け入れる場合は相応のデメリットを覚悟しなくちゃならない。

装者達は2人が良好4人が中立……………《修羅》のデバフを考慮した場合、今現在のステータスに戻る為にはLv25ぐらいになる必要がある……………

戦闘スタイルは錬金術一辺倒化……………ステータスが大幅に弱体化する以上、雪音さん以上に接近戦が出来なくなる。

しかも、発射角度や攻撃タイミングを間違えるとフレンドリーファイアが起きる……………

一人旅の場合、デメリットはほぼ無い。

強いて言うなら、休息が取れなくなる事ぐらいだが……………そもそも人間じゃないから睡眠の必要は無い。酷くても数時間座り込むぐらいだ。

……………優柔不断な俺にイラついて仕方ねえ。

つい少し前まで1人で行こうとしてた所だったのに、何心揺さぶられてんだ俺は……………!？」

『それデも俺ハ、突き進む!』

『スキル：P O W強化がレベルアップ』

「……………どうしても、なの?」

『ウロボロスは確かニ脅威ダ。弱体化してデも、共闘すルのも間違イ
でハ無いダろう……………』

「なら、どうして!?!」

『コレは俺自身ノ問題ナンド。これ以上、土足デ俺の事情に踏み入ル
なア!』

「……………やっぱりレオンちゃんは間違ってる!悩みを1人で抱え続
けたって、ちゃんとした解決にはならない!」

『ライブ会場の事件、カ?』

「ツ……………私は未来のおかげで押し潰されずに生き続けられた!で
も、今のレオンちゃんは押し潰されそうなのにまだ1人で居ようとし
てる!そのままじゃ、本当に押し潰されちゃうよ!」

人の事情に、押し入るなど言ったばかりだったのにツ……………!

いくら推しとはいえ、話の聞かない分からず屋ならこっちだってイ
ラついて来るんだよ……………!

『人の話ヲ、聞けエ!』

「レオンちゃんは焦ってる!1人でやる必要なって何処にも無いのに

！

『1人デあるからこそ意味がある！それヲ知らないお前にイ！否定されテたまるかア！』

「じゃあ、一緒に歌ったあの時間はなんだったの!?一緒に話したあの時間はなんだったの!?アレは全部、その時限りの事だったっていうの!?!」

『それは関係無いツ……………今必要なハ、戦える“力”と延命の為の“技”ダ!』

「延命の……………技……………?」

『そこを……………退けエエエエ!』

使いたくなかった……………けど、押し切る為ならなんだってやってやる!

「錬金術!?それに、キャロルちゃんよりも数が多い……………!」

『ナメるナよ……………!四大元素フルエレメントを扱えるのは、キャロルだけじゃない!』

まあ、発射速度と弾数が多いだけで威力は小規模爆発なんですけどね!
キャロルやっぱ頭おかしいだろ!

『捉エたツ!』

「グツ、うわツ!」

はい確保。右手しっかり持ったらもうこっちのモンよ!

ゴリ押しで逃げられても困るから水元素で身体縛りあげーの、手離して距離取りーの、これでOKかな!

めっちゃ手柔らかかった……………

『……………ゴめん』

10秒で解除される様にして……………全力で走り抜ける！

目指すは北！DEX67の全力ダッシュなら、10秒もあれば400m以上は突き放せる！

「レオンちゃん!？」

ツライ……………Lv30超えたら謝罪しに戻ろう、うん。

取り敢えず、ひたすら北の方に走り続けて人が居なさそうなポイント……………関東圏だと何処が人居ないんだ？

東北まで走っても良いんだが……………なんなら北海道でも良いけど、取り敢えず人が居ない場所って言うのが前提条件なんだよなあ。

うーん……………奥羽山脈とか？

いやでも、ハイキング客居そうだな……………ていうか、その理論で行ったら日本中何処でも人居そうだな……………

孤島……………ですかねえ？

でもなあ、海渡れない事で挫折したばっかだしなあ……………しかも孤島って何処にあんの……………？

ていうかどうでもいいけど《ランナー》すげえな!？」

砂浜とかいう悪路の王様みたいな場所平然と平地と同じ速度で走れてんぞオイ！

もしかしてこれ悪路走破性能も爆発的に上がってんのか？だとしたら山脈も充分過ぎるぐらい候補に入んぞ！

見られる前に全力逃走すりゃ良い話だかな！

このまま北に海岸線を登っていったとして……………そういえば原
子力発電所を通んのか……………確実に人の目があるからそこ考えな
いといけねえのか……………
かんっぜん忘れてた！
ヤベエ。普通にヤベエ。
いやまあ、走んのは止めないけど。
ホント、どうしようかなあ……………

流木がありました。

うろ覚えでカヤックぐらいのを作ろうとしたんです。
軽く力込めたら割れました。木が真つ二つに。

いや、あの……………STR39とはいえ、無いわ……………

海渡る方法も今の所浮かばないしなあ……………泳ぎ続けるにして
も孤島が欲し……………ん？

なんかかなり遠目だけど割とデケエ島見えるな……………？

孤島事情には詳しくねえけど、あれ結構デツケエんじやねえの？
こっからでも大きいと思える山が見えるぞ？

あ、なんで見えるのかと思ってたけど《望遠》のおかげか……………
ラッキー！

あそこまでなら泳いでも行けるくね？目測2〜30kmだろ？泳ぐ速度は走りよりは遅いけど、それでも50m10秒ぐらいの訳分からんペースで行けたから時間換算で約1時間泳ぎ続けりや着くハズ！

CON34まで上げてるし、多分行けんだろ！そうと決まったら行くしかねえ！行くぞおおおお！

『スキル：スイマーを獲得』

海水で髪が……………約30分泳いだか……………？

だいぶ砂浜から離れてるし、島との距離もさつきよりかなり近付いてるからまあまあ泳いだろ……………

ていうかスイマーって？ランナーみたいな感じか？

取り敢えず泳ぐに限る！

あつ、すつげえ。

さつきより更に速くなった感覚あるし、割と疲れてたけどなんか止まってた時より楽！なんで!?

いやでもこんなスキルゲットしたらもう行くしか無いっしょ！G

OGO!

『スキル：スイマーがレベルアップ』
『スキル：修羅がレベルアップ』

なんで修羅が上がって………あ、言っ飛ばせば単調作業かコレも………

まあそれはともかく………着いたぞー！

髪びつしよびしよだし流石に立花さんと同じ髪をエグい事にする気にはならん！どっかで乾かしたいけど乾かせる物なんかあんのか!? 思ってた通りこの島ジャングルしてたからタオルとか絶対ねえぞ!?

あ、無いなら作ればいいんか。

せっかく《作製》があるんだから作れば良いじゃん！

でも、タオルってこのジャングルでどの素材使えば作れるんだ………??

ヤシ? いや知らないけど。

ていうかまず何があるのかわかんねえ！

まずは探索じゃオラア！

無人島生活（ただし実行者は人外）

はい、私です。レオンです。

もうね、ツライ。

何がっらいって、身体よ身体。

ガングニールインナー状態の立花さんの身体でしょこれ？しかも今は海水でびちよ濡れだし……………髪もびしょ濡れだし……………海は髪がこんな大惨事になってめんどくさいから嫌なんだけど……………シャワーどうしょ？

しかもタオル作れそうな物が見当たらない……………作れそうというより、吸湿性の良さそうな物が無い……………

……………あ、水元素の操作で髪にへばりついてる水を操作して抜き取ったり出来ない？

そうと決まればやるしかねえなあ!?

『スキル：魔力操作がレベルアップ』

『スキル：錬金術がレベルアップ』

嬉しいけど……………嬉しいけどツ……………！

ムズ過ぎる！なんじゃこりやあ!?

髪に着いた海水だけ分離するってこれクツソムズくねえ!?!何回かミスって髪の毛分ごと抜いて髪。パッサパサになったぞオイ！

しかも時間掛けるとドンドン髪に海水が浸透して更にムズい！もう髪の毛を分析するだけでゲロ出そう！

いやホント、錬金術師の方尊敬しますわ……………こんなんより難度高い分離をずっとやってんでしょ？やっぱ天才も秀才も一味違いわ……………

……………髪の毛分ごと意図的に抜いた後にヤシ油みたいなのを髪の毛分に近付けてぶち込み直すってどう？

いや、立花さんと同じ髪型でそれやる気にならねえな……………パッサパサになるだけじゃなくてなんか別の事故が起きそう。

どうしようかなあ……………髪磯臭いし……………ていうかなんでインナーだけじゃなく髪出てきた……………？

聖遺物侵食でインナーとかマフラー出てきたんだから、【髪の毛も含めて全部聖遺物かそれに属する物】とかいう大事故は無いよね？

……………無いよね？最近《予測》Lv7になったばかりだから怖いんだけど？

……………よし、スキル鍛錬とカルマノイズ殺しを繰り返す拠点を作ろう（現実逃避）

取り敢えず雨風を防げる場所で何かしら作らねえと……………カルマノイズだから風邪とかそういう事は大丈夫なんだが、かといってそういう事がかまけてたらガチで人間社会に溶け込む必要出た時に常識無くなつてそうだ。あと気が滅入りそう。

流星にヤバそうなのでなんとかしてみよう！

土元素で地面を隆起させて家を作っていこうと思いまーす。

硬さは水混ぜた後に火で焼いたら少しはマシになると思う。ていうか土元素で家の壁とか泥の状態で作れないの？わざわざ水混ぜて維持してがダルい！

物は試し！

土元素で地面を盛り上げーの、盛り上げた後に水元素の術式を割り込ませる！

あ、待ってヤバい崩れ——ああああ!!??

ちよ、地面が軟化した!?違うそうじゃねえ!地面軟化は本気でシヤレにならない!

あゝあゝあゝ疲れた………

火元素で地面炙つたらなんか泥が中途半端に固まったせいで踏んだら崩れたし………結局柔らかくなつた部分全部引っこ抜いた後に、火元素で周りの木焼かない様にめっちゃ注意しながら泥焼いてなんとかなった。

いや、それにしてもめっちゃ色浮いてるウ！明らかに後から補修しました感がすごい！

あ、そうか。ここをキャンプ地とする！

取り敢えず木が3本ありーの、海水だけど水は近場にありーの、砂浜も近くで、高さも大丈夫だから潮がちよつとぐらい満ちても大丈夫そう………

うん。ていうか元々ここに作ろうとしてたからね、立地良くなかつたらダメだよね！うん！

………ホント、どうしよ？

家のレイアウトってなんでこんなむずかし——ハア、久しぶりのやな感覚な事で………

ま、後ろに居るよねえ………カルマノイズクン！

ここ、開けてないし建築予定地だから戦闘は勘弁願いたいんだけど？まあ、聞き届けてくれる訳も無いよねえ………？

つーか、開幕飛び掛かってくんじゃねえよ。

人の思考遮って直ぐにそう噛み付いてくるの見てるとムカつくんだよクソ野郎が

『スキル：怒の起動条件達成』

え、これだけで起動すんのか……………怒の存在忘れてたし、普通に怒っただけなのに……………なんでや。

まあ、それよりもどうやって倒すか……………レベル上げないといけないのは確定なんだが、それはそれとしてスキルも上げときたいんだよなあ……………

幸い、相手はあんな触手野郎じゃなくて普通に手に謎オブジェが付いたタイプ。

つまり、伸縮パンチだけだから速度も威力もあるが、単調過ぎる。《マルチタスク》で避けつつステータス確認としゃれこみますか！

うーん……………戦闘系で一番上がってないのは《錬金術》なんだが……………頭痛が来てないし、まだ魔力容量には余裕が有るのか？なら試しても良いんだが……………生憎、こんな入り組んだ森林内だとやりにつくいッ、物でッ！

しかも建築予定地だから風元素すら下手に撃てねえぞココ……………《錬金術》は別のタイミングに回すか。

次に低いのは……………《投擲》か。

コイツなら刺さっても問題は無い、んだが……………「カルマノイズに大罪スキルで関与する」っていうのが大問題なんだよなあ……………ハッキリ言っただけならばマジで何が起きるか分からん。やり合ってる最中に気絶とかしたら本当に大問題だし、かといってなんか別に投げれる物があるかと言われれば無いし……………これも却下。

ていうか、近接戦闘手段また無くなってね……………？

アーマーでシンフォギアもとき作ってぶん殴るのはどうなんだ？ どうせだし試してみるか！

さあ、ぶん殴っていく——あり？

暗黄部分すら真っ黒になってるんですけど？ホントに全身真っ黒なんですけど？マリアアガングニールもビツクリの黒さだよこれ？

いや、なんで？取りあえず流れてる曲は……【THE END】かコレ。知ってる曲で良かった……でもまたユーロビートじゃねえか！

ステータスは……うん、相変わらずのDEX特化な様でなにより！

取りあえずDEX67……飛び込めば余裕でオラオララッシュは叩き込める……ていうかこれ以上ここで暴れられたらこの場所が大変な事になるじゃねえか！

取り敢えず砂浜方面までエ……ぶっ飛べエ！

おーおーすごい綺麗な直線軌道……あ、そっか《怒》か。

STR43とか初期に比べたらホントにゴリラじゃん！そりやDEX67と組み合わせたら電車の衝突と一緒にみたいなモンだしな！飛ぶわな！

でも、それって速度乗せてぶん殴ったら電車の衝突と同じぐらいになっちゃったって事じゃ……

おー綺麗に海水に浸ってるようで……カルマノイズが水に突っ込んでもホント何もねえな！ぶかぶか浮いてるだけじゃねえか！

あ、すげえバタバタしてる……………もしかしてこれ水中にぶち込んだらパターン入る？

取り敢えず砂掴んでブン投げる！

あ、何も出来てねえ。

パターン入ったわコレ。要は上がってくる前にもう1回海水にぶち込んでやりやいいんだろ？

《投擲》 上げの為にまあ、犠牲になってくれよ？

『スキル：投擲がレベルアップ』

『スキル：作製がレベルアップ』

砂ぶん投げるのに飽きて途中で流木をガントレットで削って槍作った。

ついでにそれブン投げて刺すのを繰り返してた。

刺さった端から炭化して大したダメージにならなかったけど後悔はしていない。

スキルのレベリングにはなったので、OKです！

というか、良く考えたらこのアーマーシンフォギアというよりファウストローブじゃね？

歌ってねえけど展開し続けれてるし、歌ったらフォニックゲイン出てるぞ？

……………これまでシンフォギアと言い張ってきたのはなんだった

んだ……………ッ！

まあ、取り敢えず……………海水に飛び込む事になるけど一撃叩き込んで終わりにしますか！

Adios, Amigo!

『レベルアップしました』

あ、ちよつと爆撃後みたいな水柱の立ち上がり方してませんか？
ちよつと待つてこれ俺に全部かかるんじや——

人間だったら絶対に風邪引いてた……………もう全身ビツシヨビシヨだし……………

火元素維持する訳にもいかないから枯れ木集めて焚火しよう……………髪乾かさないと結構邪魔だコレ……………

無人島来て直ぐだけど、災難の連続だなあホント……………

寝起き殺戮ドツキリ（仕掛け人：レオン）

はい、私です。レオンです。

もう髪が磯臭いし、濡れて気持ち悪い……………なんとか焚火は作れて髪乾かしてる最中だけど……………自然乾燥だから磯臭さは抜けないんだよねえ！

ねえ！抜けてよ！なんで嗅覚あんのか分かんないけどホントに磯臭いから勘弁して欲しいんだけど！

まあそれは後々どうにかするから置いて、今は拠点だよなあ……………
雨風が防げるのは当たり前として、身体が出来ちゃった以上風呂がシャワー作りてえな……………

軽く島を探し回ってみたけど、割とデカめだったのに湧き水が無い。つまり海水を浄化しないと飲水だけでなくシャワーとかにも使えない訳で……………浄化ってどうすんだっけ？煮沸したら塩しか出ない気がするんだけど？あれ？マズくね？

……………休憩場所も考えるか。

流石に土に直座りは休息には向いてないのは当たり前なんだが……………沈み込む感じのあのクッション性をここで作れんのか？あのフカフカ感作れば休息には最適なんだが……………作りながら色々考えてくとするか！

そうと決まりや取り敢えず制作だ！構造とかその他諸々は作りながら考える！

『スキル：作製がレベルアップ』

『スキル：POW強化がレベルアップ』

『スキル：魔力操作がレベルアップ』

頭いったあ……………エゲツないレベルの頭痛がしてるんだけど、魔力容量限界割りかけてる？

という事で拠点完成！外装も中身もほつとんど土から作ったけど、錬金術のおかげでそう思えないくらいええぞ！ええぞ！

外あかる……………作り始めたの夜だったよね？徹夜で錬金術使って拠点作りしてたんか……………

取り敢えず外装は土元素で盛り上げてから、そこに水元素を使って泥にした後、火元素に魔力をぶち込みまくって高火力で一気に焼き上げてやった。

取り敢えずそれを何層にも重ねてまあまあな強度を実現させている。勿論俺がぶん殴ったら壊れるけど……………

内装もかなり凝ってやった。というか、先に屋根も外装と同じ方法で作り上げて内部を竈みたいにしてやった。

おかげで外装以上に高火力で火元素を使ったので、もうそれはそれはやりたい放題した。

普通に何か焼く為に竈作ったり、拾ってきた流木とか漂着物を加工する為のテーブルとか、取り敢えず物ぶち込んで置く倉庫とか……………

そんな事よりも一番凝ったのはやはりクッション！

もうそれはそれは色んな趣向を思いついては試して失敗してのトライ&エラーの積み重ねで最高のヤツ作ってやりましたよ！

まあ、そのせいで倉庫に失敗作が4〜50個積み上がってるけど

……

あーフツカフカ！最高！もうこれだけで頑張った甲斐がある！もうこう、座ってるだけでテンション上がってくるよね！

ハーツ！もうなんかドンドン……

……眠く……

……アレ……？

うう……

……もしかしなくても寝てた？

外は……あるえ？日が登りきってるねー！おかしいねー！

……一体何時間気絶してた？

クッションに飛び込んだのが朝日登り始めてたぐらいだから

……軽く見積って6時間ぐらい？

良く襲われなかったな、俺……いや待て。

目測6時間同じ場所に定住してるなら確実にカルマノイズが出て
るハズだろ？ウロボロスが寝てるタイミングだけ出さない様にする
なんて良心的な団体か？

むしろ「おおかるまのいずよ！ねてしまおうとは なさけない！しね
！」的な感じで殺しに来てそうだしなあ……………そうなるかと余計襲わ
れなかった意味が分からんぞ？

というか、なんでこんな長時間気絶して——ああ、もしかしな
くても魔力容量？

今全然寝る前してた頭痛しないし……………多分魔力枯渇1歩手前
状態だと眠気がやってくんのかね？で、枯渇度合いによってその強さ
が変わるって所か？

取り敢えず……………魔力容量が回復して、かつ拠点内で寝たら襲わ
れないと仮定して……………

よし、カルマノイズシバき用のフィールドでも作るか！

取り敢えずなんか良さそうな場所でも探すかあ……………

……………なんでドア開けたらカルマノイズくん居るん？何故？

これがガン待ちくんですか？

まだコッチにはなんでか知らねえけど気付いてねえな……………距
離は約50m、タイプはドリル付き……………おいちよつと待て！

奥にもう一体いやがる……………謎オブジェ付きか、なら問題無い

……

——問題ありありだわやっぱ。

アイツら、いつぞやの時と同じく連携してやがる………ツーマンセルで別方向見ながらも距離は離れきつてない………一撃で倒し損ねると直ぐにカバリングされるな、コレ。

さーて、どうしたもんか………なんでか知らんが、コツチに気付いて無いのが最大のメリツトつて所か………

出来る限り隠密行動しながら木々の密集地帯に行くまで待つてからのアンブツシュが1番なんだが………ファウストローブもどき展開すると音楽のせいで位置バレするんだよなあ………

………あまり使いたくは無いが、《大罪之種》——長え、シードで良いか。シードを使うべきか？

瘴気に大量にシードで干渉したらマズイ予想は付いてるんだが、無理して避け続けて逆に窮地に陥ったら本末転倒だしなあ………

いやもう、行こう。シードでアンブツシュキル決めるのが1番だろ多分。

前の連携野郎共本気で鬱陶しかったから、変に連携される前に一瞬で決めちまった方が総合的にマシだろ………！

そうと決まれば隠密行動開始！出来る限り見つからないように、かつ無音目指してゆったりと行くぜ行くぜ行くぜエー！

……………コイツら相当うざってえ。

絶対に道無き道を進もうとしねえ……………必ず近くの茂みから1m以上は離れて歩いてるから、回避を間に合わされる可能性があるんだよなあ……………

しかもずっと止まらねえし……………向かってるのは島の中央か？中央は隕石落下でもしたのか知らねえけどクレーターが出来てたぐらいだからなあ……………

大して下見してないし、開けてるからアンブッシュ出来ないし……………ここいらで一旦引くか？それとも開けた場所を利用してアーマーで押し潰すか？

……………中央に着いた後どうするかだけ確認しよう。

うん、迷いなくクレーター内に行ったな。

さーて、一体どうするつも——

なんだ、こりゃ……………

何体カルマノイズいやがんだよ!?

目測で30以上は居るぞコレ!?!もしかして気絶中もずっと一定間隔で送られてきてやがったのかコレ!?

ていうか待て。なんでアイツら軍隊みたいに整列して集まってやがるんだ……………!

とんでもないぐらいの連携技術が刷り込まれてるならシヤレにならな……………ああ、成程。そういう事ね……………

「状況を報告しろ!」

「第1部隊、成果無し」

「第2部隊も同様です」

「同じく第3部隊も」

「グツ……………徹底的に探し出せ!」

「了解!」

あのさあ、ガンド化って【カルマノイズになる技】では無かったよね?カルマノイズの力を取り込むだけだよね?

……………つー事はさ、これまで俺ウロボロスの構成員何人かブチ殺してたって訳?

……………萎えるわあ……………

まあでも、やる事は変わらねえんだけどな……………

数は37、タコ足タイプとスライムタイプは居ない……………という

か、人型だけ……………あれ？それじゃあスライムとタコ足はなんだったんだ……………？

ま、いつか。

炎弾をたつぷりと練り上げてーの……

「居たぞ——人間？」

「いや違う、ターゲットだ！」

気付くのおっせえよ。人の平穩散々邪魔しやがって

——消え失せろ

『スキル：怒の起動条件達成』

『レベルアップしました』
『レベルアップしました』

17人蒸発……………残数20……………16重傷、3軽傷、1無傷か
……………重傷から瞬殺と行こうか？

『Cast, Off』

バフ込でDEX70か……………とんでもない領域に来ちゃったな、ホント。

じゃあな、クソ野郎共。

切り裂かれてさっさと——ああストップ！シールド使ったら要らん瘴気吸っちゃうじゃん！錬金術でなんとかするしかねえ！

「撃て、撃て！」

「傷が癒えるまで近寄らせるな！」

錬金術しつかり履修してるヤツも居るんだな………だがまあ、威力も精度も連射速度も、あの時の錬金術師達より何十倍もひでえ。強引にインプットされた感じ——ん？

………いや、まさかな………

取り敢えず速度最高の風元素超連射を喰らいやがれ！スキルレベル上がったからもう今は毎秒8連射だコラア！

超劣化版高橋名人の連射を喰らえ！

無傷野郎が凄まじい動きしてんな………ガンド化後のフォームは謎オブジエタイプだが、腕をガトリングみたいに振り回して錬金術ガンガン打ち消してやがる………

いくら風元素で威力は低いタイプとはいえ、そんな自己犠牲するとなあ？

ボロが出んだよ

「なっ、消えたツ!？」

「いや、まさか、最初から狙いは——」

DEX70でゴリ押しが効くなら、錬金術に集中させてから重傷者の所に飛び込めば良いよね？

悪いけど、俺は今若干機嫌悪いんだわ………火元素でたっぷり焼かれてくれ。

「グアアアア!?」

「熱イツ! 熱イツ!」

「嫌だ! 死にたくない!」

『スキル：殺戮がレベルアップ』

『レベルアップしました』

今回ばかりは、この声も耳障りだなクソツタレ……………最悪な気分だ。

さて、と……………重傷者全滅。残りは軽傷と無傷合計4体。

タイプはドリル2、謎オブジエ2……………ドリルから先に仕留めて、謎オブジエはなんとかしよう、うん。

I s t h e r e . j u s t i c e ?

『イライラすル……………』

「同志を葬り去っておきながらア！」

『黙レ、先に命を脅かしてきたのはお前達ダ。なラ俺も容赦はしない』
「それを言うなら何故お前はあの装者共は見逃す!? 何度も命を脅かされても、お前は逃げ続けているだけ! 殺す相手を選んでおきながら、容赦はしないだと? ふざけるのも大概にしろ！」

『お前ノ意見も理論モ知らン。死ネ』

……………んー? なあんか俺傲慢じゃなあい?

あ、どうも。私です。レオンです。

良く考えたら割と正論言われてんのにぶった切つてて草が生えま
すね!

にしてもなあんでこんなイライラするんだろ……………《怒》のせい
なんかね? 普通に判断力鈍る原因になるから早く鎮まって欲しいん
だけど?

ていうかこのドリル野郎強えな!? あの爆発の中で唯一無傷だった
からどつちかと疑つてたけど、普通に防ぎ切ったのかよアレを!

しかも諦めてアーマー展開して接近戦仕掛けて、戦闘術Lv6だか
らかなり熟達してるのに、普通に拳捌かれるし……………!

無傷野郎の後方から正確に狙い撃ってくるのもホント鬱陶し——

——あん? なんでガンド化解きやがったアイツ? 謎オブジエ一体
滅つたから良いけど……………

あ、待つて! ヤベェ! アイツ絶対増援呼んでるだろ! なんか通信み
たいな事してんもん! 1人で喋ってるもん!

搜索の為に30体とか放り込んでくる様なヤツらが本腰入れてき
たら一体何体来るんだよ!?

不意打ちであんな超火力弾叩き込んだから先制で削れただけで、対策されてたら一体倒せるかも怪しいぞ!?

クツソ……………このドリル野郎無駄に強えし……………下手に動くどどつかしら斬られる!

ヤベえ、完全に通信終わったわアレ。またガンド化したもん。ヤバいわ、コレ。

あーあー! ホントどうしてくれようかなあこれ!

「中々、やるッ!」

『そっちょッソ……………敵ながら見事!』

「《次代世界蛇候補》にそう言われるとは、嬉しいモノだな!」

あー……………やっぱ次のウロボロス筆頭候補になってんのね……………

でもそれって大丈夫なの? 特にベアトリーチエにくつついてたあのお爺さん発狂しそうだよ?

なんなら座を脅かしたらヒ〇口みたく「お前を殺す」とか言ってきたそうだよ? あの人。

ホントに大丈夫? 聞き出した方が良いんでね?

『次代世界蛇候補……………?』

「……………どうやら知りたいらしいな?」

『当たり前だろう。なんだ、世界蛇つテ?』

「我らを導く存在だ。今代の世界蛇であられる御方が、お前を次代の世界蛇になり得る可能性がある存在と判断されたのだ」

『次代モ何も、俺ハ蛇でハ無いノだが?』

「何、気にする事は無い。今代の世界蛇であられる御方も普段の姿はお前と同じ人間態だ」

『そウイウ問題ナノか……………?』

取り敢えず、今代のつてのがすげえ引つかかるな……………

アレ何代も引き継ぎする様な感じだったっけ？単独で生き続けて無かったか？代替わりする必要あったっけ？記憶あやふやだからわっかんねえな……………（役立たず）

いやあ……………やっところまで来て向こうに疲れ見え始めたな……………ていうか結構やり合ってたのにやっど疲れ出すってなんだよ。

後ろのヤツらはまだ連携が上手い事いつてねえな……………攻めれてないタイミングが何ヶ所か見える。

後ろから上手い事潰せねえかなコレ……………動揺誘えるし、今も来てる地味に鬱陶しい援護も消せるから一石二鳥なんだけど……………うーん……………

『随分ト引キ気味だが……………時間稼ギか？』

「そうだと言ったら？」

『お前達ガ死ぬマでの時間が短クなるダケだが？』

「……………クカカカツ！やってみろオ！」

『言われズとモ、送ッテヤるヨ地獄ニ！』

言いたかった事が言えたので満足！

で、取り敢えずDEX71とかいう超スピード!?だからこのドリル野郎を一瞬でも欺いて、その隙にレッツツゴ―陰陽師したら悪霊退散で終わったり……………しない？ダメそう？

取り敢えず1回やってみるか……………地面殴り付けて砂煙あげたら目眩しは効くから……………ここだ！

「チツ、目眩しか!？」

『判断ガ遅イ!』

「ゴフツ……………」

「カハツ……………ガツ……………」

『スキル：恐怖耐性がレベルアップ』

『レベルアップしました』

「狙いは元から後方か……………」

『後、フたり。まずハ後口のアイツダ』

ハア……………貫手ってなんでこんな効率的な殺しの技なんだろう
な……………グツロ……………萎えるわあ。

取り敢えず、無傷と軽傷でどっちもドリルだから援護射撃は無く
なったが……………連携されるとめんどくせえな……………

「チツ、《モジュール》を起動させろ！」

「了解！」

モジュール……………？

いったい何しようって——

『……………@;…(?!?!?』

「“モジュール”の効果は有効です！」

「よし！このまま押し切れ！」

はっ？え？……………え？

——攻撃が視えない。DEX72に、《予測》を組み合わせても？

いったい何が起きた!?

素早い程度なら《高速演算》《予測》《回避》の3点セットで、第六感的な感じではあるけど避ける事は出来る……………

けど、今回は別格過ぎる……………まさか、スキルが反応する前に攻撃された？

いや待て、《予測》を貫通するってのはどういう事だ……………？【モジュールの起動】ってワードの時点で、異常なスピードアップも予測の1つには入っていたはず……………

【モジュールの効果が無効】、【戦闘のハッピーセットが役に立たない】、【DEX72でも反応し切れない】、か……………

……………まさか

『クソツ……………倒しテどうスルつもりだ?』

「好き放題同志を殺してくれたからなア……………恨み辛みはあるが、まずはその前に世界蛇と対面してもらおうぞー!」

『随分ト強気だな、一撃入れただけで!』

「この“モジュール”の力があれば、お前を越えられる事は既に確認

している！このまま押し切らせてもらっ——ガッ、なっ!?」
『ヤハリな………身体が持たんヨ、それデハ』

ああ良かった最悪の予想が外れて………いやコツチも中々面倒
だな………

さしずめ、《グリスブリザード》って所か？瞬間的に有り得ないぐら
いの戦闘力を発揮出来るが………恐らく、持って2分。

制限時間に近付く程少しずつ身体が持たなくなり………最終的
に死亡か消滅って所か？

ただまあ、特攻部隊が全員瞬間的にでもバケモンじみた戦闘力にな
ると考えるとシヤレにならんよなあ………

無いと思うが、もしかしてDEX140とかになってたりする？
もしくは………強制的に《スキルに近しいナニカ》を習得させてい
る？

前者だと装者側が詰むんだよなあ………DEXが今の俺で捉え
きれないレベルとか、いくら主人公とはいえヤバいだろ………

で、後者でもかなりマズイ………未来予知に近いレベルの《予
測》が反応出来ない一撃って事は、第六感で回避しないといけない訳
で………

ああもう！今他の奴の奴の事気にしてる場合か！

“モジュール”の有効な対策が浮かばないと今ここで俺が詰むぞ
!?

「時間が近い！決めるぞ！」

「りよウツ………かいッ！」

『そのまま続けタラ死ヌぞ？ソレでモか？』

「お前を討ち取って、功績を得る！」

真正面から来る気かコイツ!?
いくらなんでも無謀過ぎ——マズイ胸部をやられたら!?

「もらったッ!」

「——足ッ?ゴブフッ……!?!」

『スキル：治療力強化がレベルアップ』

あんまやりたくなかったんだが………足を捨てるだけでカウンター出来る可能性があるなら勿論そうするよなあ?

あと、不可視化とか幻覚とかじゃなくて単純に超スピードになるだけ………なんかね、カウンター入るって事は?

まあ取り敢えず………残り、1体。

自己犠牲にも………殺人にも、何も感じなくなり始めてる。
恐怖耐性だけじゃない何か、この《種》にはある………

本当にコイツは、ただ《憎悪》が進化しただけなのか?《システム》を外れた影響は何処に存在する?アヌンナキなんてレベルじゃない、

本当の意味での神が知り得ない何かがある、このスキルには存在している？

このスキルの事は関係無しに、神を超え得ると言っていた………つまり、ステータスとスキルを正當に強化しまくれば理論上は神の領域に辿り着ける………いや待て。

《憎悪》がシステム上設定されたスキルって言っていたはずだ………そこから進化したコイツはなんなんだ？

《大罪之種》、お前は本当に、スキルなのか？

辛勝の味はマズイ

はい、私です。レオンです。

今日はね、大変最悪な気分の日ですね、ハイ。
なんせ……………

『……………遅かったか』

「ざっと50人。流星に次期候補でも、無理なんじゃないか？」

『次期候補ハ殺シに行くのが、ソチラのやり方なのか？』

「この程度で死ぬなら世界蛇には相応しく無いとの事だが？」

『頼んデモねえ試練課シヤがツテ……………!』

「こちら側だって仲間を殺されてるんだ。恨みっこ無しだぜ？」

『ソウカよ……………!』

ウロボロス構成員50人の増援……………全員がガンド化出来そう

……………既に錬金術対策が行われてるから、出オチ火球は無理

……………

まあじでどうすんのこれ？いくらバフ掛かっているとはいえ、51人を相手に不意討ち無しで勝てると思える程俺は勇気も戦意も無いよ？

残ポイント数は25……………DEXに振り切ったとしてバフ込で97……………速度はあるが、消耗戦に持ち込まれると無理ゲー、か。

これまでの経験から立てた、【P O W 値に比例して錬金術の火力が上昇する】という仮説を信じてP O W に振り切っても73……………しかも相手は既に錬金術を減衰させる結界を展開している……………これもダメ。

S T R に振って火力でゴリ押すか……………? いや、それでも無理

ゲーだな……………超火力で確実に沈められる様にはなるけど、一斉攻撃を喰らったら流石に回避しきれん。

当たり前だけどダルマになったら詰み……………!!

ああもうほらガンド化し始め——おい待て。《射撃特化みたいな》の《居るじゃねえか!?完全に空洞3つとか3連装砲弾だろアレ!ヤベエ!さっきまでの作戦はあくまでも「謎オブジェとドリル野郎だけ」な事が前提条件だぞオイ!あんな援護射撃特化野郎連れてきてんじゃねえ!しかも多い!

射撃型20、ドリルは今やり合ってるコイツ含め11、ガンド化してないのが20……………死ぬ程バランス良いなオイ!殺る気満々じゃねえか!?ふざけんな!

「さあどうする?逃げるのも1つの手だぞ?」

『テメエに言われるトそノ気が失セル……………!』

「ならば全員殺すしか無いな?しかしお前に出来るか?俺すら殺せていないお前に?」

『焦ラズトも、そうシテやるヨ!』

ざっけんなマジで!このドリル野郎普通にこれまでのカルマノイズと別格の戦闘力なんだが!?下手すりや装者達負けるぞコレ!

いやしかし、マジでどうしよ……………援護射撃が飛んでこねえからヤッター!つて思ってたけど…………

あれどう見ても俺の突撃警戒だよな?絶対コイツ無視して後方に突撃する予想での待ち方だよな?もう全方位ガツチガチに固めてるんだけど?

……………先にこの謎強野郎から倒さないと、無理に突撃したら挟撃されんのかコレ。かといってほっといたら援護射撃が来る……………うつわめんどくさッ!

—— あん？ちよい待て。こいつ《モジュール》とやらの代償はどうした!?

打ち合えてるって事はもう解除済み……………だとしても少し謎が残るな……………あんな一瞬でダメージが出始めてたもう1人と比べて、こつちは一切のダメージが見受けられないし衰えも無い……………適合率的な問題か？

それとも……………もうとつくにカットしていた？正確には最初の一回目の衝突後辺り……………？

それなら納得が行く。確かに、コイツは最初の一撃でもう1人に合わせては来たが、それ以降は全部もう1人の独壇場だった……………コイツ自身は最初の一撃以外、1度も攻撃を仕掛けてきてねえ！

という事は、早い段階でモジュールをカットすればダメージは殆ど無いのか!?それヤバいだろ！ON/OFF連打したらほぼノーリスクであるバケモンスピード出せるぞ!?

いや待て、俺が思い付く様なレベルの方法を向こうは取ってこない……………気付いてないのは流石に有り得ない。だったら、ON/OFF連打もまた、別のデメリットがあると見て良いな。少しは気楽に行ける……………訳ねえだろ！

いやホント、どうしようかなあ……………殺害によってレベルとスキルを同時に成長……………いやでも、臨戦態勢50人と戦闘中のこの玄人同時に相手してはちよつと……………

それに、下手に拠点に戻れねえぞコレ……………もし休息してる事がバレたら完全に破壊されるかもしれないねえ……………!あんだけ手間暇掛けた拠点ブチ壊されてたまるかよ!

そうと決まればココで……………半数!半数死ぬ気で削る!搜索人数37人で俺の事発見出来てなかったから、25人ぐらいまで削ってやりや搜索も難航するハズ!

やるしかねえ……………何処から削る？

右……は砲撃型多めだけど、ドリル型も多め………1番硬い感じか。

左……はガンド化してない奴が多いな？錬金術部隊か？

というか、左はガンド化してるのがドリル型と砲撃型が一体ずつしか居ねえ………何考えてやがる？

中央はこのドリル野郎が居るから無理………うーん、どうしよっかなあ!?

………無理して攻めるより、発見される確率は跳ね上がるけど逃亡も有りじゃねえのか？

無理にここで攻めの姿勢取り続けたら、なんとなくだけどコイツらに圧殺される可能性無いか………？

ああ、分かったわ。

もう援護が来ないって保証何処にもねえわ。このまま50体で波状攻撃されたら余裕で詰むわコレ。

………逃げるしか無くね？流石にツ、このドリル野郎の攻撃避け続けんのもキツくなってきたぞ？いくら《マルチタスク》が有能とはいえ、思考がいい感じにまとまらねえ………！

『スキル：マルチタスクがレベルアップ』

これでLv9………戦闘はほんの少しはマシンになったけど、それでもまだまだだな………ステータスで押し切りたいのに向こうの技術がヤバすぎてプラマイゼロなんだよなあ!?

クソツ………そうだツ、砂浜に全力逃走で目を引いてからアクションを起こせばなんとかならねえか!?

ていうか、状況を大きく変えるにはそれしかねえ！タイミングを見計らってDEXでこり押す！

3………2………1………今ツ！

「逃げる気かッ!？」

『着いテこイヨ腑抜け共ッ!』

「追撃しろ! 必ずここで仕留める!」

おいおい殺る気全開じゃねえか! でも、今ばかりはその殺る気のおかげで作戦が上手く行きそうだけ全く……………

砂浜到着…………… 《望遠》で見た感じ、向こうは到着まで後1分半…………… さあ仕込み開始だ!

水元素で海水を操作して、砂浜の下に一気に浸透させて…………… 深さ5mぐらいの簡易落とし穴を作る!

海水に入ったら浮力が発生して大した行動が取れないのは確認済み! 出来る限り水量を減らして砂の硬さを保ちつつ、広範囲に広げる!

よっしゃ仕込み完了! 直径20m程度だけど、後はアイツらを上手く砂浜に立たせてやりやあ半数は削れるだろ!

「追い付いた! 前衛部隊は着いてこい! 砲撃部隊は援護射撃!」

前衛の方は速そうだな…………… 後衛を砂浜上に引きずり出して落とすか!

となりや、逃げるべき方向は…………… 最外縁!

「逃げたぞ! 追え!」

あーやつぱりい？追つてきちやうよねえ？

——今も錬金術で穴広げてるのにねえ？いやほんと、《マルチ
タスク》便利だなあ……………

「——錬金術ツ？水元素だ！海に警戒しろ！」

まっずいバレた!?後方部隊は……………ヤベエジヤングルに戻り始
めてる！今落とさねえと無意味じゃねえか！

落ちろコラア！トラップ起動！

「足場がツ!？」

「穴が深いツ……………」

「ガンド化を解け！泳いで戻るんだ！」

おいアイツら対処はええぞ！前衛部隊共はまだ来るし……………!

コイツら突っ切って穴に爆炎ぶち当てるしかねえ！水蒸気爆発起
こして吹き飛ばす！

「死ぬ気で、突っ込めエ!!」

「後方部隊を狙うつもりか!?だが真正面ならば！」

術式展開……………魔力供給は問題無し……………構築時間も問題無
し!

後は突っ切る度胸！行くぞコラアアアアア
!!!!!!

『@!／——(!ツツツ!!!』

「仕留め損ねたツ!？」

右腕……………左足……………右脇腹……………顔右半分……………見事に切断されたッ……………だがッ！
これで終わりだ

「結界展開！」

「死ぬ気で止めろ！」

そんな稚拙かつ咄嗟の錬金術で止めれる訳ねえだろうが……………本職ならまだしも、かじった程度のテメエらに止められる様なやつすい技じゃねえんだよ！

ブツ飛べ！

『スキル：高速演算がレベルアップ』

『スキル：錬金術がレベルアップ』

『レベルアップしました』

アア……………クソッ、何人吹き飛ばした……………？

前衛も後衛もまだまだ居る……………なら、ここは水元素の応用でやったこの技で……………！

「居たぞ！追えッ！」

OK引つかかった……………！大量に水が空気中であって、かつ太陽も照っていたからこそ出来る、幻影……………さつきと同じ方向に逃げさせたから直ぐには勘づかないハズ……………

今の内に……………拠点に逃げるしかねえ……………

休んで、少しずつアイツらを削っていくこう……………それしかやりようがねえ……………！

超強化されても無理ゲーは無理ゲー

「待てッ！話は終わっていない！」

『絶対待ちません！ていうかその刀降ろして!?!』

「お前が【あの様な事】をするからに決まっているだろう！」

『あの様な事ってなんですか!?!ていうかホントに待っ——うおッ!?!』

「問答無用！ここで1回くたばりやがれ！」

『挨拶無用のガトリングってかア!?!シヤレになってないから勘弁してください！』

「勘弁する訳ねえだろうが！堪えなア！」

『マイクロミサイルはホントにヤバいつて!』

「んな事言いながら全部避けてんじやねえ！」

『避けないと死ぬんだから当たり前でしょうが！ていうか待って、なんで待ち伏せされてんの!?!』

「ここから先はッ！」

「通さない」デース！」

『……………挟まれたんですけど?』

「よし、ではまずはそこに土下座するんだ」

『私そんな悪い事しましたっけ?』

「出会ったまでは良かったが、その後が問題だ」

『それ全部ですよ?』

「何か間違いでもあったか?」

『間違いしか無いですよ！そもそも私がやったのは立花さんとイチヤイチャしてただけじゃないですか!』

「イツ……………その後が問題だ！またガングニールのギアペンダント

が光っていただろう！」

『……………あッ』

「土下座ね」

「謝罪するデース」

「ギルティ」

「イチヤイチャの時点でおかしいだろうか」

『確かに私の責任だ。だが私は謝らない。ついでにサヨナラ！』

「待て！逃がすな、追え！」

「逃げるなって言っただろうがア！」

『ひいひい！ガトリングとミサイルがホントに雨みたいに迫ってきてる!!』

「それだけで終わる訳が無いでしょう!?!それでも喰らいなさい！」

『なんでそんな雨の中を蛇腹剣が綺麗に曲がってくるんですかねえ!?! ヤッバイ当たるッ！錬金術のお返しじゃコラア!』

「その程度！」

『炎弾を無傷で突き破ってくんじゃ——ゴッ@?!!／ブフツ!!』

「マリアが一撃喰らわせたぞ！このまま追い込め！」

『容赦無さすぎんだろうがア!』

どうしてこんな事になったんだっけ……………?!

もう何日前だっただろうか。

あの時仕留め損ねて残った40人近くのウロボロス構成員は、なんだかんだ数日掛けて全員倒し切る事が出来た。

といつても、あのクソ強野郎だけは最後の最後で逃げられたけど

……………

流石にヤバいと判断して、睡眠の必要性が(多分)無い身体に感謝して即鍛錬を始めた。

全体的に上げたのはスキル関連。構成員を倒しきつて25Lvになったので残ポイントをどう割り振ろうかとも考えたんだけど……………

いや、あんなレベルとか関係無いバケモン見ちゃったらもうステータスとか関係ねえんじゃないかなーって……………

でもスキル鍛錬に取り組んだ理由が実は1つちゃんとしたのがある。

というのは、「残ポイントを利用した不意打ちが出来そう」という点だ。

あの時、割り振れた残ポイントは50ポイント。これを1つのステータスに全部振り切つたら、5ポイント毎に1段階大幅にステータスが上がると仮定して10段階も上昇させられる。

別人じゃん。って事で敢えて今は振らずに危機的状況で振る事にした。

まあそんな訳でスキル鍛錬に打ち込みながらも、ちまちま懲りずにやってくるカルマノイズをシバいて……………

朝日が15回くらい登つただろうか、やっとLv. 30になった。ていうか5回登つた後ぐらいからなんか見た事ないタイプの奴らいっぱい来て完全に俺がモルモットにされてた。経験値美味しかったのでいいけど。

で、目的のスキルゲットは出来たんだが……………その、変化があり

過ぎて……………

◇◇◇◇◇◇◇◇

名前：レオン

種族：憤怒（侵食率78%）

L v . 3 0

S T R : 5 4

C O N : 5 0

P O W : 5 4

D E X : 6 2

I N T : 4 5

E D U : 4 4

残ポイント：55

スキル：〔憤怒〕^{レイジ}、〔適応〕^{アダプション}、〔決意〕^{デターマイン}、並列思考L v . 3、高速演算

L v . 8、創造L v . 2、錬金術L v . 7、魔力操作L v . 9、調律

L v . 9、歌唱L v . 9、投擲L v . 8、CON強化L v . 3、回避

L v . 5、戦闘術〔近接型〕L v . 7、望遠L v . 3、修羅L v . 3、

殺戮L v . 3

◇◇◇◇◇◇◇◇

なんかもう色々おかしいだろ？見てる俺もおかしくなりそう。

という事で、纏めてみた。

・種族が大罪になった

・スキルが統合& a m p ;進化した

・L v . 25から1ポイントしかボーナスポイント入らなくなった

・L v . 30で手に入ったのは〔決意〕

ねえ最初からヤバくない？大丈夫？大罪の下地で済んでたのに完全に乗っちゃったよ？マズイもの乗っちゃったよ？パンドラの箱開いてないよね？ていうか開かせないよ？

取り敢えず種族が変わった理由は絶対統合進化された結果なんだよね。という訳でここスキップ。

統合と進化については………ちよつとカオス過ぎた。

まず『怒』『恐怖耐性』『P O W強化』『治癒力強化』の4スキルが吸われて【憤怒】が出来上がった。

精神系に何も関係なさそうな治癒力強化が使われてるって嫌な予感しかないんだけど？ていうか種族変わった原因絶対これじゃん。

次、『ランナー』『スイマー』『予測』と、無人島生活でターザン遊びしてたら手に入った『ジャンパー』が統合されて【適応】が手に入った。

スキル効果的にも、かなり良いスキルで普通にこれはGood。

はい次、『作製』『模倣』と『一定レベル以上の錬金術所持』で『創造』が手に入った。

凄まじく強そうな名前だが、ジツサイツヨイ。脳内で思い描いた物質をエネルギー叩き込んだら大体作れるからねえ………とんでもない量の魔力要るけど。

因みに調子に乗ってデュランダル作ろうとしたら刃先が出来た時点でぶっ倒れました。

1cmちよつとしか出来なかつたので加工用の刃に使いました、ハイ。

最後、名誉ある『マルチタスク』くんがL V . 10になったら『並列思考』に進化しました。

これが他のスキルの追従許さないレベルでチートだった。

というのも、凄い表現が難しいんだが………複数の物事を集中を散らさずに行える様になった。

検証結果でしか説明出来ないけど………近接戦闘に集中しながら錬金術をガンガンいつも通りの威力と速度で撃てる。

うーん、ヤバすぎ！遂に魔法戦士みたいなビルドになっちゃった………まあ、そんな感じでスキルは色々大暴れした。

その次、Lv. 25から1ポイントずつしかボーナスポイントが入らなくなった点だけど………むしろこれまでがおかしかったんじゃないですかね？

もう既に125ポイントブースト掛かってるし、1レベル毎に全ステ1アップは結局続いてるし………

最後、【決意】についてなんだけど………スキル効果の見れた他スキルと同時に確認し直す方がいいかな？

◇◇◇◇◇

スキル名：憤怒

効果：・自身に対する敵意の感知、自動反応

・怒る程、STRに大幅補正

・怒る程、再生能力向上

・精神の大幅変容

・《武具》の任意生成

・【神聖存在】に対して極大特攻

◇◇◇◇◇

スキル名：適応

効果：・周辺状況への即時適応

・全地形の走破力に大幅補正

・全地形での行動に大幅補正

・【隠蔽】または【暴露】に大幅補正

◇◇◇◇◇

スキル名：決意

効果：・精神状態の大幅安定並びに補強

・行動に意思を込める程、大幅成功補正

・意思が尽きない限り、永続的に全行動に成功補正



うーん、チート。

【適応】がなんだかんだヤバイ。これ隠れる事も、逆に目立たせる事も出来るから色んなヤツ相手に役に立つんだよねえ……………

あとは【決意】。意思が折れなかったら常に全行動に成功補正が掛かるのはだいぶヤバイと思う。なんの意思なのか分かんないけど。

【憤怒】は知りません。【大罪之種】の時より更に変な物が増えてて胃が潰れそうです。

まあ、そういう訳で無人島で釣りしたり、ターザンしたり、歌ったり、錬金術ぶちまけたり、歌ったり、デュランダル作ろうとしたり、歌ったりを繰り返してこんなカオスな事になった。

ちなみに歌ってる時に『修羅』のレベルが上がった時程萎えるタイミングは無かったです。泣いた。

そうして色々鍛錬を繰り返してLv. 30になった次の日の早朝、俺は残してた目印を元に拠点に別れを告げて本島に戻った。

ちなみに帰りは泳いでません。

『創造』使って神獣鏡の使ってたあの……………えーと……………そう、『イオノクラフト』。アレを作って飛んだ。めっちゃ便利だねコレ、作る為に2回気絶したけど！

で、本島に戻って東京の方に歩いてたら居たんだよなあ……………装者とカルマノイズが4体ぐらい。

推しに突撃してしばかれなかった場合

『MA☆TTE！一回話そう！そうすれば分かりあえる！』

「お前が立花の様な事を言った所でなあ！」

『そうですよねえ！というかホントにガトリング止めて！避けきれなくなってきたんだけど!』

「じゃあそのまま当たっちゃまえ」

『辛辣ウ！ああ待って無言でミサイルも出さないで!』

「セイツ！」

『そいつは読めてる！けどちよつと振るの速すぎません!』

「これぐらいしなれば、お前には当たらなさそうなのでな！」

『お前じゃなくてレオンって名前があるんでちゃんと呼んでくださいッ！ていうかあつぶな!』

「必要最低限の動きだけで全て回避されていく………やはり、おじ様と同格の可能性が………?」

『最終兵器と一緒にすんな！絶対向こうの方が強いから!』

「前のあの時よりも強くなってないかしら？また一段とめんどくさい相手になったわね？」

『ねえ軽口叩きながら蛇腹剣エグい曲げ方するのやめてもらっていいですか!?普通に左腕軽く斬られたんですけど?』

「むしろなんでこれだけ移動出来る範囲狭めてるのに避けられてるのか私分からないのだけど?」

『分からなくて結構！ていうか殺意が高過ぎて胃無いけど胃が痛いッ!』

「そのまま蹲ってくれてもいいのよ？縛り上げるから」

『おいちよつと待てエ!』

「行くデスよツレオンさん！」

『よオしバツチコオイ!』

「フツ！セエイ！」

『おおう殺意全かアイ！』

「これぐらいししないと当たる気がしないデス！」

『当てなくて良いよ！なんならこのまま逃げさせて!?』

「それは出来ない相談デス！調！」

『ここで連携ツ!? 丸鋸は………後ろオ!?』

「切ちゃんなら避けてくれるって、信じてるから！」

『良い信頼関係だ。だが無意味だ』

「それも予想済み！」

『ウツソだろ—— ツ！右足を軽くやられた………回避予想した上で攻撃を置きまくって潰してくるって滅茶苦茶だなオイ………』

！』

「このまま押し切る！」

『しなくていい!』

カルマノイズ4体とかいう物量に若干苦しい戦いを強いられるのを見てどうしようかちよつと迷っただけど………

結局あの時の俺にはカルマノイズⅡ経験値ぐらいにしか見えなかったんよね。

て事で、『錬金術』で炎を固めて槍状に放つ技、命名【炎牙】で思いつきり刺し貫いた後、風弾で押し留めて炎弾連射で瞬殺した。

でまあ、そんな事したら一瞬で装者達に目を付けられた訳で

………

「いったい何処から……………」

「向こうの方から飛んできたデスよ?」

「なら、警戒しながら確認するべき」

あ、ちなみに俺は居た場所から300mぐらい離れた場所から遠射してました。

一瞬でいる方角バレてだいぶ冷や汗かいてたけどね、うん。

で、装者の中には《彼女》も居た訳で……………

「……………翼さん、さっきのは……………」

「レオン、だったか。彼……………?の錬金術とでも?」

「カルマノイズを一瞬で倒せる威力ですよ?サンジェルマンさんとか、それぐらいの錬金術師でも苦戦しそうですけど……………」

「ふむ、確かに一理あるな。ならば、確かめる他あるまい」

ああ……………立花さん……………どうしよ。

突撃して良い感じになったりしない?もうF・I・S3人組だいぶこつちに近付いて来てるし……………!

ええい!なる様になれ!立花さんに向かって突撃!しちやった訳ですなあ(謎観点)

『おはようございまあああす!』

「へ?うわっ!」

ちなみにお昼時でした。なんでおはようございます叫びながら突撃したのかは自分でも分かんかったです、ハイ。

『何日ぶりか分かんないけど久しぶりイイ!』

「え、レオンちゃん!?声すごいい聞き取りやすいしそんなテンション

だったっけ!？」

『特訓生活が地獄過ぎて癒しが欲しかったよおおお!』

「あー……えーつと……こうしたらいいのかな？」

『そ、そんなギューつと……めっちゃいやされますありがとうございます!』
『ぎいます!』

「本当にレオンちゃんだよね?そっくりさんじゃないよね?」

『4回は殴り合ったレオンで合ってます!』

「……根に持っていたりする?」

『ソナワケナイジヤナイデスカ!』

ハグしてもらってる……ヤバい、死ぬかもしれない。

俺は癒しが欲しいとは言ったけど萌死したいとは一言も言っていないぞ……!

「……こうして見ると、ホントにレオンちゃんが元々男だったとは思えないんだけど……」

『もう女でも良いかもしれぬ!』

「え、そんなあつさり……?」

『アレを乗り越えてこんな癒されるならもう性別関係無いかなくて!』

「……逆にその、レベル上げだけ。それしてる時に何があったの?」

『10回は死にかけて、一徹して作った拠点軽く壊された!』

「……んんん?」

はい、実は13夜目ぐらいの時に休息してたらカルマノイズに襲撃されて、守り切れずに屋根と壁一部破壊されました。

14日目の朝から機嫌最悪な状態で歌ってる時に丁度《修羅》のレベルが上がったから、もうなんか色々混ぜてこう………うん、最悪だったよね（語彙力）。

あ、それで思い出したけど情報共有せな………

あー待って、カルマノイズの中身が人の可能性有りって言うべきなのか？言ったらメンタル面に問題出ないか？

うーん………強い奴の情報だけ流しとこ。

『そういえば、手にドリルが付いたカルマノイズと戦った事ある？』

「そりやあ何回かあるけど………そのタイプがどうしたの？」

『なんかクソ強い奴混ぜてたりしなかった？』

「え？カルマノイズって全部同じ強さじゃないの!？」

「ちよつと待て、それはどういう事だ？」

「なんか面倒事運んできたなコイツ………」

「情報共有は有難いけど、嫌な情報ね………」

「レオンさんが強いって感じる相手デスか………」

「敵ではあるけど、仲間でもある………ややこしい」

やめて調ちゃん、それずつと思ってた事だから。

改めて突っ込まれると凄くその、ツライ。

『えつと、ヤバいぐらい強いのが一体そのタイプに居たから気を付けて欲しいなーって』

「ヤバいぐらい強いって………どれぐらい？」

『シンフォギアもどきに錬金術とスキルを全力で行使しても勝てないぐらい』

「前の一緒に戦ったタコみたいなカルマノイズと同じぐらい？」

『いや、アレの数段上かも。少なくともこれまで戦ってきた中では立花さん含めても1番強かった』

「そ、そんなに……………」

「今の立花よりも、か……………」

「認めたくねえけど、このバカかなり強い方だぞ?」

「1体1で立花響以上……………洒落になってないわね」

「どれだけ強いんデスかそのトンデモは!」

「私と切ちゃんなら、どんな敵にも負けない」

なんか静かに闘志燃やしてらっしやる方が居ますね……………意気消沈される数倍はマシだけどさあ!

あ、 “ モジユール ” の話してない。

『後、ウロボロスの構成員がなんか言ってたんだけど……………』

「え、会ったの!」

『なんかめっちゃ来たから、ちよつと……………』

「ウロボロスの人的大量に……………ガンド化されても大丈夫だったの!?!」

『高々20人程度だったし、大丈夫だったよ』

「に、20人……………ていうか、なんでそれだけ強いのに私達相手には全然本気で戦わないの?」

『いやだって、本気で戦う理由無いもん……………』

「んー……………じゃあ1回模擬戦しようよ!私もどれだけ強くなったか試したいしー!」

『え、立花さんそんな戦闘狂だっけ?ていうか嫌です』

「なんでえ!?!」

『いや、前にも言ったけどずっと居たらカルマノイズ呼んじやうらしいから、そういうのはちよつと……………』

「……………あッ」

『完全に忘れてましたって声だよねそれ』

「流石にコレに関しては……………」

「バカが悪いな」

あ、信号機組に否定されてしよげてる。めっちゃ可愛い。ヤバい死ぬ、限界オタク出ちやう。

あれ?“モジュール”の話出来てない……………
にしても……………

『ねえ、立花さん』

『どうしたの?』

『 GANG ニールなんか変わった? 凄い違和感が……………』

『えッ! い、いやあ……………気の所為じゃない?』

『明らかに GANG ニールじゃない何かを感じるんだけど? しかも聖遺物だよねコレ?』

『……………全部分かるの?』

『何となく、だけど……………ペンダント触って良い?』

『え? う、うん……………』

こう、信頼築いたおかげであっさりペンダント触らせてもらえるのは有難いですねえ!

じゃ、失礼して手掴みで! 無駄に上がりまくった《調律》の力を見せてやるぜえ!

あ、ちなみに GANG ニール以外の違和感感じたのはスキル関係無いです。ハグしてもらった時になんかすっごい、これまで無かった肌に刺さるようなビリビリ感感じたからカマかけただけです。

『……………♪』

『……………この前と比べても、滅茶苦茶歌上手くなってるなあ……………』

『♪? ……ん? あッ、き、聞いてた……………?』

『そのまま歌ってても大丈夫だよ?』

『恥ずかしいからやらない!』

『え……………?』

無人島で作業してた時の癖でやっちゃまった……………！クツソ恥ず
い……………！

めっちゃ恥ずいけど……………あつた！

……………けど、なんだこの聖遺物？イグナイトみたいにギアの一部
として完成してる訳じゃない。強引に接合している……………？

いや、強引に接合どころか聖遺物の力の残滓がぶち込まれてるだけ
じゃん。こんなの、強引に干渉されたり精神状態不安定になったら、
いつ暴走してもおかしく無いよね？

両方の力を1つに束ねられるならそりや凄まじい性能強化にな—
——あ、これもしかしてデュオレリック!?

つー事はこの聖遺物は……………あ、あれっ？名前が思い出せない
……………？なんか、雷を操つてた様な気はするんだけど……………うー
ん、空気が薄い聖遺物ならまだしもメイン活躍した聖遺物だから流石
に覚えてると思うんだけど……………ホントに思い出せないなあ、なん
でだ？

まあそんな事よりも、この聖遺物とガングニールを《調律》したら
立花さん強化出来んじゃないかね？強くなってもらったらコツチも楽にな
るし、暴走する範囲でやる訳じゃないから良いよね！

LETS調律！

「……………ん?!なんかペンダント光ってない!？」

「……………」

「レオンちゃん!?何してるの!？」

「……………あ、ギア内の……………うわめっちゃ光ってる!？」

「これって前みたいな事故が……………」

あ、光がヤバスギイ!しかも毎度毎度意識持ってくのやめろオ!
こちとらカルマノイズ引き連れ体質し……………

セーフポイント返して

「……………で、何故ギアペンダントが光っていたのか説明してもらおうか」

『いやあの、ガングニールともう1つ別の聖遺物の感覚がしまして……………強引な接合のせいでパスが変な事になってたからつつかえを取り除いたんですよ……………』

「ふむ、ならば問おう。何故私達が問い正そうとしたら逃げたのだ？」

『えーっと、それはですねえ……………すいませんでしたア！』

「……………つまり、反射的に逃げたと？」

『そういう事ですなハイ』

「ふむ……………まあ、少しは仕方ないと同情……………するとも思っただか？」

『……………』

え？まさかのブローリーですか？ブローリーなんですか？

「いい加減に逃げるのを止めないか。攻撃した私達にも責任はあるが、すぐに逃走するそちらにも責任はある。特に、今回の件に限らず大抵の場合そちら側が問題を起こしてるだろう……………」

『……………うぐっ』

「それに、今回ばかりは問い詰めてるだけでは話は進まない。協力を仰がなければならないのでな」

『……………へ？』

協……………力？

え、なになに怖いんですけど。何言われんの？俺今から何手伝わせれんの!？」

「ここからはあたしが説明する。レオン、共闘してくれないか？」

『……………いや、前共闘したら弱くなるって言いませんでした？』

「知ってる。あたし達の言う共闘は同じ場で戦うんじゃないやねえ、言うなれば共同戦線だ」

『……………ああ成程、別の場所に同時出現とかする様になり始めたんですか?』

「察しが早くて助かる。レオンにはソイツらの相手をしてもらいたい」

あ、うん。ごめん。クリスちゃん相手なんだけども、これだけは言わせて?」

『……………騙し討ちを1回しといて、随分な態度だな?』

「それは……………」

『確かに、カルマだろうがアルカだろうが、ノイズをブチ殺せるからあまり拒否する要素は無い。ただ、【共同戦線を敷こう】というのが、俺には受け入れられない。特に、S・O・N・Gとは』

「……………ダメか?」

『ダメだな』

「……………そうか」

『ただ』

「……………?」

『降り掛かる火の粉は自分で払う』

「……………そうか。悪かったな」

『あんまりしつこかったらどうしようか迷ってたが、えらく物分かりが良いな?』

「コツチも流石に少しは考えるんだよ」

『風鳴弦十郎か?』

「そーいや、知ってるんだったな」

『俺としては、あの人が騙し討ちを嬉々として選ぶ様なタイプには思えないんだがな』

「知ってる」

『……………何処だ？何処がその指示を出した？』

「……………アタシらが判断して騙し討ちにしたんだよ」

『そうか』

……………勘繰り過ぎかと思っただけど、どうやら第3势力的なのは出来てない、と、見て良いのかなあ……………？

出来てたらそこも潰さないといけないし、S・O・N・Gに指示を出すレベルだから国連クラスで……………あーもうめんどくせえ！考えるのやーめた！

それに……………

『……………やっぱさっきの取り消し』

「はっ」

『共同戦線、組んであげるよ』

「……………一体どういう風の吹き回しだ？」

『いや、だってさあ……………後ろ見てみ？』

「はっ……………ん？」

立花さんがすっげえキラキラした目でこっち見てるもん。ていうかいつ来たの貴方？ホントに気付いたら居ただけけど？

「レオンちゃん協力してくれるってホント!？」

『あの……………落ち着いて？』

「だってレオンちゃんだよ!？」

『会ってそんな親睦深まる様な事しましたっけ？』

「……………えーっと？」

『ダメだこりゃ』

「おい、あたしじゃダメだったのか？」

『むしろアレだけ追っかけ回されて、ガトリングブツパまでされてんのにすぐ信用しろと？』

「そのバカと違って数回殴りあってんだろぅが！」

『知らん、そんな物は私の管轄外だ』

「鼻屑か？鼻屑なんだな？あたしはダメだつてんだな？」

『すいませんッ！』

「土下座すりや許されるとでも思ってたのか!？」

『ハイッ！』

「……………ハア……………」

あ、ちなみに土下座した時に下からクリスちゃんの山脈をガン見させていただきました、ハイ。

うへへ……………デカ過ぎて下から顔が見えねえ……………あ、ヤベエ顔見えないけど雰囲気の流れり付き方が尋常じゃないコレ。殺されるわ、止めとこ。

『……………取り敢えず、もう行っていいですか？』

「はあ？何処に行くんだよ」

『ちよつと深淵の竜宮へ』

「……………そいつは出来ねえ相談だな」

ソロモンの杖をお返しただこうと思ったけど、まあ無理よなあ……………

ていうか、適当予想で深淵の竜宮って言ったけど、あそこ聖遺物まみれなんだったわ地雷踏んだ……………どうしょコレ？

『わざわざ行かなくてもいいんですよ？ソロモンの杖さえお返しくださいば』

「もうノイズを出す能力は確認されてないとはいえ、ネフィリムの大爆発に巻き込まれて残ってる時点で異常なんだよ。そんなブツを、よりによってカルマノイズに渡せるとも？」

『共同戦線を組もうとしてる相手に対して、所有物の返還も出来ないと？』

「アレはお前の所有物じゃねえ、元々米政府、そこから二課、そして今

はS・O・N・Gの管轄下だ。断じて個人所有の物品じゃねえ」

『一体何を言っている。元々聖遺物は個人所有の物品だ』

「何?」

「……………んんんんんん??」

今無意識で口から最後の情報出たんだだけ? 俺元々聖遺物が個人所有の物品とか初めて聞いたんだだけ? え? ちよつと?

あー止まってください俺の口! あーちよつと! お客様! あー!?

『元々哲学兵装も、聖遺物も、全て個人所有の物品だ。制作過程が異なるだけで、本来は一人しか所有者を認めない』

「……………所有者として、お前はソロモンの杖に選ばれたと?」

『そう、ワタシはソロモンの杖に選ばれ、そして選んだ存在』

「……………なんだと?」

俺の方が“なんだと?” なんですけど?

“ソロモンの杖に選ばれた” まではまだ分からなくもないよ?”

選んだ” って何? 俺因果律的なサムシングのそれでソロモンの杖拾ったの? え、どういう事?

いやちよ、まだお口止まらないんですけど……………もういや、情報収集に使わせてもらお。

『アレが無ければならないのだ。そしてワタシは、《彼の地》にて

……………ワタシはツ……………あれ?』

「……………は?」

『……………ん? あーあー……………あ、ちゃんと喋れる』

「は? お前誰だよ」

『レオンですよ? 後さつきまで話してたのは良く分かんない人です』

「良く分かんないイ……………? お前アレか? 痛い奴なのか?」

『流石に目とか手は疼いてないから大丈夫だと思っけど……………口が勝手に動いて』

「んな訳あるか!？」

良い所でぶった切られた……………取り敢えず、☒ソロモンの杖を用いて《彼の地》に行くとか何かがある☒って事は分かったけど……………《彼の地》って何？

ソロモンの杖で開けんのは宝物庫だけだよな？もしかして、あんなクソ広いで済まされれない空間の何処かにあんの？だとしたらヤバイぐらいダルいよ？

いやまあ、もう1人？俺の事侵食してる誰か？の情報を得る為に死ぬ気で探し回るけど……………それより、これソロモンの杖手に入らなく無い？流石に返してもらわないと安息の地が無いんだけど？

『……………取り敢えず、ソロモンの杖は返して貰えないんですか？』
「さつきも言ったが、ネフィリムの爆発で残っている時点でおかしいんだ。んな物品を易々と渡す訳にはいかねえ」

『ソロモンの杖に武力としての性能は最早存在していない。ただ宝物庫に繋げるだけの鍵を持ってどうにか出来るとでも？』

「持つ奴がお前だから警戒しているんだ。そもそも起動状態の完全聖遺物はコツチもあんまり持ちたくねえんだ。分かってくれ」

『じゃあ尚更さつきと返してくれたら良いじゃないですか。それとも折りますか？』

「聖遺物の破壊が2番目に浮かぶって中々豪快だなお前……………じゃなくて！そんな事出来る訳ねえだろうが！そもそも1兆度の熱に耐えてる時点で異常な物に決まってるだろうが！」

……………このタイミングで凄まじい情報が脳内に流し込まれたんだけど、これ言った方が良いの？

どうやって流し込んでんのかは知らないけど、ソロモンの杖関連でこんなトンデモ発言されたら俺が困るんですけど……………いや、ええ？

……………ま、いいや言っちゃえ。

ソロモンの杖も、これで行けるでしょ……………

『いや、それなんだけどさ』

「なんだよ、渡せねえぞ？」

『別にその杖が☒ネフィリムの熱に晒されたソロモンの杖☒とは、確証が取れてないよね？』

「はっ？」

「……………有り得るのか？そんな事が」

「……………まさか」

『ソロモンの杖は、創造される』

「……………嘘だろ？」

31の悪意と13の悪夢

「……………聖遺物が創造されるウ!?冗談も休み休み言え!」

『冗談じゃない。私が知っている範囲では、ソロモンの杖のみ何度でも復活する』

「ノイズの脅威は永遠に消えないってのか!？」

『いいえ消えましたよ?ソロモンの杖が武器として扱われた最大の原因は、内に創り出されていたノイズを格納していたからこそ。今ノイズが全て焼却され、ソロモンの杖は、真の意味で《バビロニアの宝物庫》とこの世界を繋ぐ【鍵】となった。そして鍵は、合鍵を作って置くと無くしてしまっても助かるでしょう?』

「……………宝物庫そのものに、『ソロモンの杖を創り出す能力』があるってのか?」

『ええ。万一消失してしまった場合にスペアのキーを作り出す……………それがバビロニアの宝物庫の力の一つ』

「……………1つウ?」

あ、止めてくださいそれ以上。マジで教えられたのこんだけなんです。突っ込まれたらにわかガバレるウ!

いや、そもそも誰もわかってない完全聖遺物ににわかクソもあるのか?ねえな……………多分。

『……………まあ、今言えるのはコレだけです』

「その言い方だと複数能力があるんだろ?全部言ってくれりゃあ、内容次第でソロモンの杖も返せるんだがな?」

『逆に内容次第でこっちだけ損するっていう話でもします?』

「チツ、流石に分かるか……………」

『オイコラ私をなんだと思ってるんだ』

「バカと天然をないまぜにして人の形に収めたスクリューボール」

『それ行き着く所はヤバイ奴ですよね?というか、もしかしてそれ立花さんも指してます?』

「バカもテメエも同じだバカ！」

『バカって言う方がバカでしょ？』

「小学生みたいな返し方してくるな！」

『何流れへし折ってくれてんの！そこは「バカって言う方がバカだろ！」って返す所でしょうが!?!』

「え、あたしの声と同じ……………じゃなくて！誰がそんな返しするかバカー！」

『バカって言った方がバカなんだい！』

「だああああ！めんどくせえええええ！」

「え、クリスちゃん私の事そんな風に思ってたの……………?」

「雪音が楽しそうだからこの際放っておこう」

「この剣……………まるで母親の様な顔ね」

「マリアにブーメランが突き刺さってるデース」

「綺麗なブーメラン投げだね、切ちゃん」

「2人とも、後で話があるわ」

「それよりもだ、声変えれたのか？」

『死ぬ気で鍛錬して変えられる様にしました』

「そんなんでも変えられる物なのか……………?」

『殺る気と気合いがあれば出来ますよ?』

「あたしの知ってるやる気とは違う気がしたんだが」

実は無人島で歌ってる時に考えついてやってみたらなんか出来たなんて言えない……………任意のタイミングで切り替えれる様にすゝ為に鍛錬したのは事実だけどっ！

あの時程久しぶりに喉が焼き切れそうな痛みはたけど、ホント俺声帯どうなってるの？未だに訳わかんねえ……………

『……………取り敢えず、ソロモンの杖を返してもらえないなら、コツチにも考えがあります』

「へえ？言ってみろよ」

『カ・デインギル跡地いかせてください』

「——ハア？何すんだよ」

『ちよつと破片を調査しようかなと』

「カ・デインギルの破片に、なんかあんのか？」

『少しばかり面白い事が出来そうなんで、ね？』

「……………そんなら許可するそうだ。ただ、あんま変な事する
と……………分かってるよな？」

『分かってますって。じゃあ、行きましようか』

「ハア!?今からかよ!？」

『善は急げですよ！ホラホラ早く！』

「チツ……………しゃあねえな」

めっっちゃ舌打ちされたア！

『と、いうことでやってきました跡地』

「誰に対して言ってるんだお前」

『虚空に対して』

「ハア……………？」

取り敢えず来た訳だけでも……………来た理由は簡単。

【ルナアタック事件】が起きた時、この場所で結構広範囲にソロモンの杖が利用された。思いつきり利用したらエネルギーもそれはそれは

大量にバラ撒いてる訳で……………

今回来た理由は、ソロモンの杖のエネルギー波長を微妙でもいいから確認。確認後は、体内から魔力の形でエネルギーを放出。そしてそのエネルギーを《調律》を利用して強引にソロモンの杖に寄せて宝物庫の解錠を目指す。

……………調律でフォニックゲインの調整は何回もしてきたけど、視認出来る程のエネルギーを調整って出来るの？1回もやった事ねえんだけど……………ぶつつけ本番でやってみるかあ。

『雪音さん、ソロモンの杖が利用されたのはどの辺ですか？』

「ハア？……………あの辺だと思うけど」

『ありがとうございます。じゃあちよつと失礼して』

「……………カ・ディングルの破片なんて触ってどうするつもりだ？」

『ちよつとばかり、必要ですの』

「破片が必要……………？」

破片 じゃなくて 込められたエネルギー っていう訂正は……………しなくていいか！

いやしかし……………すつごいエネルギー量だなこの破片。下手すりゃそこらの錬金術師の錬金術1発に近い量は詰まってないか？

カ・ディングルはデュランダルのエネルギーに指向性を持たせる為に凄まじい強度が必要だろうであったのは分かるけど、それにしてもこんな凄まじいエネルギーは必要だったのか？そもそもエネルギー量Ⅱ強度なのか？

……………うーん分からん。使われてる素材自体が特殊なのか、ここで大量の聖遺物が利用された事でエネルギーが浸透したのか、それ以外の何か……………今の所は断定出来る材料が少な過ぎる。無理にここで断定する必要も無いか。

……………あ、いい事思いついた。

『よし、よし』

「……………破片を集めてどうするつもりだ」

『ちよつとばかり、このボロコートで隠してるだけだと味気無いので』

「……………お前、そのコートの中どうなってるんだ？」

『ギアインナーですけど？見ます？』

「は？……………本当だ。ていうか、破片集める事と衣装は関係あんのか？」

『押し固めてどうにかし——あッ』

「あん？」

『RN式つてあります？』

「ハア？そんなもん分からな——まさか」

『着たらバリアフィールドを自分に張れば炭化は防げるのでは

……………？』

「……………お前天才か？」

『いやあそれ程でも！』

「調子乗んな！」

『いったア!?ギア着てるからって戸惑い無く頭ぶつ叩くな！』

「……………RN式は無いらしい。ただ、資料だけはあるそうだ」

『じゃあ資料見せてください。作ります』

「は？お前出来んのか？」

『やるんですよ。ホラ早く』

「……………申請が必要だそうだ。届くのは何時になるか分かんねえつ
つよ」

『ま、そんな簡単に特異技術を流せる訳が無いとは思ってたけど
……………申請だけで良いんだ……………』

「RN式はかなりの失敗作らしいからな。上もそんな重大な資料とは
見てないんだろうさ。まさかこんな形で役に立つ可能性が出てくる
とは思わなかったけどな」

『全くですよ。見れたらさっさと作らなきゃ……………』

……………まさか、EDUとINTを上げておいたのがここで役に立

つとは思わなんだ。多分、《並列思考》に《創造》を組み合わせたら比較的素早く出来るから出来たらさっさと付けて、OHANASIする事になるんだろうなあ……………

でも見た目さっさとどうにかしたいし……………黒染めのボロコート羽織って、その下はギアインナーのままとかマジで洒落になってない……………コスプレイヤーじゃんコレ。

「……………なあ、声変えてくれないか？」

『え、なんですか。立花さんの声好きですよ私は』

「……………あのバカの声でその口調だと、ホントに気持ち悪くなってくるんだが」

『……………といっても、誰の声にしたらいいんですか？』

「誰の声にでも変えられんのか？」

『聞いた事があって、かつ時間をくれたら』

「……………弦十郎のオツサンの声は？」

『男声か……………えー……………あー……………んんっ』

「うわ、ホントに一瞬出た……………」

『凄引かれたんだが……………』

「もつと気持ち悪くなったからやっぱあのバカの声でいい……………」

『自爆したなあ……………あ？』

「あん？」

……………なんか、本当になんともなくだけど、内側にビリビリくるナニカを感じる。

あ、ヤバい。これマジ奴だ。今まで1番ビリビリ来る。何が来るんだいったい……………！

……………空が変な事になってね？

いや、まさかね？

「……………おいまさか」

『なんですか、アレ』

「……………世界蛇!？」

『ハア!？』

……………あ、空間割れてるし……………うわあ……………久しぶりに見た

—————久しぶり？

「———ツ!———イツ!オイツ!話聞いてんのか!？」

『……………ああ、成程』

「何1人で納得してんだ!お前もアイツ撃退するの手伝え!」

『いや、その必要は無い』

「ハア!?!お前もやっぱり向こう側か!」

『違う。コイツは……………』

「おいエネルギーが溜まってるのが見えないのか!しかも狙ってるのは多分お前だぞ!」

……………確実に葬る為の刺客?それとも、ある種の試練?いずれに

せよ……………無力化しなきゃ話は進まねえ!

——ただ言える事は、間違い無く力をセーブして戦うなんて出来ない。【憤怒】に【決意】……………ありとあらゆるスキルを総動員して、それで勝率は高く見積って1割……………

それでもやるしかねえよな。死にたくねえもん。協力戦は俺が多分死ぬし、そもそも向こうもコツチとの連携を鍛えた事が無いから余計に足引っ張るだけだな。

……………ただ、確実に俺が1人でやり合うのを見てるだけじゃないタイプってのは分かる。ならどうすりゃいい……………!?

……………ビビつと来たア!

の前にまずはエネルギー弾回避イ!

うわ、威力ヤバすぎんだろ……………結構向こうまで直径5mぐらいの逆カマボコ出来てんだけど……………どんだけ熱量と威力持ってたんだよアレ!分身体だろ!?!おかしいだろうが!

『雪音さん!』

「なんだよ急に!?!」

『装者全員で、私と世界蛇を同時に狙ってください!』

「ハア!?!何する気だ!」

『共闘がダメなら、挟撃されれば良い!』

「頭おかしいんじゃないのかお前!?!」

『そんなぐらいいしなけりゃ、あの野郎には勝てない!大丈夫!そっちの準備が終わるまで持たせるから、急いで!』

「おいちよつと待——クソツ!」

《修羅》のデバフは、咄嗟の閃きでなんとか布石は打てた。

火力問題は、装者達の攻撃を俺が避けて叩き込ませるからそこも大丈夫。

最後の問題は……………

『……………私と死のダンスを踊ってもらいましょうか、ヨルムンガン
ド』

キシヤアアアアアア
!!!!

……………この暴れ蛇と数分、やり合わなくちやならない所かな。

欲望の中で輝き淀む

『着装ー!』

☒スキル：憤怒の発動意思を確認☒

☒強化侵食を開始します☒

大罪スキルを使いたくなかった問題点がもう始まつてるウ!

強化侵食。文字通り、強化と侵食が同時に行われる。

装着されるアーマーのおかげでおそろしい程のブースティングが出来る代わりに、起動してるだけでガンガン精神に負担が掛かっていく。

タイムリミットはわっかんないけど……許容点を超えれば精神が不安定になって狂戦士バーサーカーの魂使った時みたいになるしなあ……また何処ぞの王様みたく叫びながらドローはしたくない。

……あれ?前無人島で起動した時と見た目違うぞ?あん時は相も変わらずレウス武装だったけど……今回のコレは何?

全体的に滅茶苦茶軽装だし……これほとんど立花さんのガングニールが黒く塗られただけじゃね!?ていうか付いてきた黒のロングコートグコートのせいで厨二病臭がすごいする!

取り敢えず製造する武装は……まずは様子見で片手剣二刀流!あんまやりたくねえけど今回は全力でキ〇トしてやんよオ!

『フッーシッーハアッー!』

グガアアアア!!!

『やっかましいー!』

おいコイツ滅茶苦茶過ぎんだろうが!?

刃が全く通らねえ……しかも叫ぶだけで耳が痛くなる爆音かつ、衝撃波で若干押し退けられる!しかもその場に踏ん張ろうとした

らそこに尻尾飛んでくるし！

ホント、鼓膜が無くて助か——鼓膜あんのかこの身体？ていうかそもそも鼓膜無かったらどうやって音聞いてんだって話——
マッズイ!?

『ギツ、アアアアツツ!!?』

ガアアアアアアアツ!!!

『カフツ……ケホツケホツ………』
いつてエエエエエエ!!?!

腹部に尻尾一撃もらっただけで挟れるかと思った………!!
うか、なんで胸部以外で痛覚あるんだよ!!?

このヤロオ………絶対張り倒す!

『憤怒 感知』

『ブースト値増加』

『精神汚染増大』

なんか付いたぞオイ………んだけどブースト値がヤベエ！STR
とDEXだけ+20とかになっただけぞ!!?

………これなら、刃が通るかもしれないねえ。

クラウドニキ！大剣（の形）、借ります！

『どっせエエエイhh!』

ギアアアアアアアア?!!?!?!

ツしやあコラア！あつさいけど真一文字にぶった斬ってやったぞ
ざまあ見るオ！このままドゥドゥドゥぶった斬って皆に挟撃される
前に片付けてやんよオ！

………ん？アレ？《高速演算》中だから今だいぶ時間引き延ばさ

れてるハズだよな？

も　う　再　生　始　ま　っ　て
る　！

イヤイヤイヤちよつと待つてよお兄さん！いやお姉さん！いや、どっち!?そんなん気にしてる場合か！

確かにね、傷の深さはパツと見一番深い所でも1cmぐらいしか無かつたよ？傷の横幅も1mぐらいしか無いし、ダメージ薄そうだなあとは感じてたよ？

でもね？

3秒ぐらいでそれが全快しそうなのはおかしいじゃん!?俺3秒以内に世界蛇くんをボドボドにしないとダメなの!?何!?リミットブレイクでもしろってか!?クロックアップさせろよ!カブトみたくキヤストオフ出来たらならクロックアップさせろよ!いや、しても多分火力不足だけど!

ガアアアアア!!!

『ッ、ンンなるオオオッ!』

大剣の腹つて言うんだっけ?がこんな役立つとは思わなかつたな………!ダメージは来るけど、軽減は出来る!とんでもない金属音したけどな!

こちとら高速再生とか色々付いてんだ!もう少し持ち堪えてみせる!

——あ、錬金術使つてねえじゃん俺!?完全に頭から抜けてたんだけどなんでエ!?

そんな事より………どれが1番効率的なんだ?

水元素は……………体内に侵入させられたら1番強そう。入れてから内部で氷水にしてみたいよね。ハモかな？

風元素は……………鎌鼬を作り出して全身斬りまくったらどうなるんだ？威力次第な気がするなコレは……………

土元素……………今回1番使い道無さそうだな。壁は相当な強度が無いと攻撃の余波だけで吹っ飛びそうだし、弾丸を作り出してもあの外皮の強度じゃ多分牽制にすらならん……………取り敢えず保留！

火元素が今の所主攻撃手段としては最適かな。炎弾量産してぶつけまくれば衝撃は与えられるし、傷口にぶち当てて焼いてやれば再生があわよくば止まるかもしれない。

そうと決まりやあ……………

『炎弾30連射ア！ぶっ潰れろオ！』

グオアアアアアア!!!

『え、あの、ちよ』

その鳴き声衝撃波威力高めとか聞いてない！

炎弾一斉射撃してやったのに殆ど減衰させられて火弾になったんだけど!?

うわ、もう見ただけで分かる減衰具合……………見た目だけで衝撃が無いもん。もうバーナーで表面炙っただけだろあんなの。ウナギ食いたい。というか世界蛇は実質ウナギなのでは？黒っぽいし、細長いし……………

……………喰いたい

『暴喰 感知』

『ブースト値増加』

『精神汚染増大』

あア……………なんか、なんとなくだけど分かる。

多分、今なら削れる^{喰える}。

自分の胸の内に秘めてるこの何かを、心臓から右手に送り出して
………色も形も分からないこのナニかを燃料にして右手から燃え
盛る爆炎を、イメージして………
そうして目を開けりやあ………

『あ、やっべやり過ぎた』

グギャアアアアアアアア!!!

『まんまと突っ込んできたのが間違いだったなア! 丁度いいからこん
がり焼かれるオ!』

ギイガアアアアアアアアアア

『うるせエエええ!!』

!!?!?!?!?

なんか手からフレイムピラー的なサムシングの何かが出ていたけ
ど、俺は悪くねえ!

………気になる点は、炎の色が緑だった。炎色反応で緑化したと
したら、何処にそんな物質が………?

いや、そんな事よりも! 明らかにさつきより直撃地点の色が黒い!
多分さつきの高火力で火傷してる! あの場所なら斬り落とせるか!?

『セエエええヤアアアあああ!!!』

グルルル………!

———なんでお前は、そんな目で俺を見つめて———

『@=? (—@ [@]
「オ——ん!？」
!!!!!!??????』

ツ———いッたあ!

いってえ……………地面と背面キスした瞬間意識飛ぶかと思った……………マジで痛てえなあこの野郎!絶対その身千切り飛ばして喰らってやんぞこのクソウナギがア!

『憤怒 増加』

『暴喰 増加』

『ブースト値増加』

『精神汚染増大』

……………さつきからイライラして仕方ないんだけど、絶対問題点このスキルだよ。絶対【憤怒】君要らん事と要る事同時にやっちゃうあんまり怒れないタイプだよ。

もう今軒並み+30とかになつて——あ、EDUとINTだけ—20やんけ……………猿認定かミ？

いや、それにしても……

「レオンちゃん!?大丈夫!?!」

『心配するぐらいなら俺ごとブチ抜く用意しろオ!』
「ええッ!」

顔ちつかい!しかも俺の事心配してる場合か!戸惑われてる間に俺が耐えきれなくなつたらどうなるかわっかんねえんだぞマジでふざけんな!

フシユルルル……………!!!!

『そんなに捌かれてえなら、3枚に卸してやるよオ!』

そんな殺意の籠つてない嘲るような目で俺の事見やがつて……………!

アレか?☒お前よつわWWW私はまだ変身を2回残してますよWWW☒つてか?テメエのそのふざけた余裕はそういう事なんだな?

——ゼッてえぶつ殺す

列思考≧フル活用しないとすぐに詰むぞオイ！俺がやりてえのは鬼畜
STGじゃねえんだよ！

取り敢えず身の様子は……………あ、なんかすつごい美味しそうに
なってる！火入れたら淡白色になるとかやつぱウナギやんけ！
で、味は？

『……………いただきます』

……………無味無臭。

『コネクト確立』

『外部テレパシーを1件感知』

『受信しますか？』

……………え？怪電波じゃないよね？

……………取り敢えず取ってみる？

『受諾の意思を確認』

『通信を開始します』

☒Heyレオン？☒

『……………誰だ、アンタ』

☒テレパシー初心者かしら？脳内に言葉を浮かべるだけよ？☒

『……………こうか？』

☒いい飲み込みの早さね！惚れ惚れしちゃうわ☒

『質問に答えろ。お前は誰だ』

☒せっかちな子は嫌われるわよ？☒

『喧しい。今は時間が無いんだ。さっさと目の前の世界蛇を――』

↓

☒ 殺らなくていいわよ。動かしてるの私だし☒

【……………本当に誰だテメエ】

☒ ほおんと、節操の無い子ね……………ま、それもそっか☒

【1人で話を進めるな！答えろ！】

☒ 私の名前は……………複数個あるけど1番呼ばれてるのは

……………ベアトリーチェ☒

今明かされる衝撃の真実ウ〜!

☒ どう?聞き覚えはあるでしょう?☒

「……………ウロボロス首魁のお嬢が、何の用だ」

☒ 少しばかり貴方とお話したいのよ。テレパシーじゃ面倒だし、直接会わない?☒

「会わない。特にお前とは」

☒ イケズねえ……………貴方の疑問の答えを持っていると言っても?☒

「……………なんだと?」

☒ 何故痛覚が限定的に存在するのか。何故ウロボロスが貴方を狙い続けるのか。何故不定形な存在のハズのカルマノイズが人を象つただけでなく、声を発せて音も聞こえるのか。パツと浮かぶだけでも3つの問題点があるのでなく?☒

「……………少なくともその3つに対しての答えは持っている?」

☒ ええ。誰にでも分かる満点の回答を用意しているわ☒

「……………行きと帰りの方法を教えろ。考えない事も無い」

☒ ノリの良い子は好きよ。行きと帰りは私が空間跳躍用のポータルを設置するわ。信頼出来ないなら術式を全てそちらに教えても良くてよ?☒

「……………術式を教えろ。こちらが生成して向かう」

☒ ハイハイ。じゃ、空間跳躍の術式は……………☒

☒ ……………以上よ。分かったかしら?☒

「ああ。ムカつくけど分かりやすい解説ありがとう」

☒ ……………つままないわねえ☒

「知るか。少ししたらカチコミ掛けてやるから覚悟しとけよ」

☒ あらあら大層ご立腹な様で……………待つてるわよ？ 異界からの転生者サマ？ ☒

「——は？」

『接続終了』

『思考加速を終了します』

……………は？

なんで、原作キャラに転生者な事がバレている？

ステータスシステムとスキルシステムは軽くは話したが、どうやつても前世が存在する事に繋がる様な話し方はしていない。

自分の出生に関してそんな事匂わせるような事は1度も話して無いハズだ……………

それに、《異界からの転生者》と言っていた。確かに、平行世界では無い、別の根幹世界から来ている事を断定している言い回し……………どうやって知った？ まさか平行世界どころか、根幹世界間の移動が……………？

いや、それなら……………俺が生きていた世界はシンフォギアXDもゲーム内ストーリーとして、2次元の存在として、そこにあった。

根幹世界の移動なんて出来るなら、誇張無しで☒空想ファンタジーの存在がリアル現実に出現☒出来ることになってしま……………そんな事、可能なのか？

もし本当にそんな事が出来るなら危険過ぎる。俺の居た世界はノイズ対策なんて当然出来てないから、カルマノイズ一体送り込むだけで世界が壊滅するぞ!?

だけど、現実には侵攻は起きていない……………観測出来るのか？ 干渉は出来るのか？ そこも大きな差だ……………

いったい何処からヤツの「原作乖離点」を探していけば良い!? 探す順番を間違えれば恐らく時間が足りなくなつて大事な場面で手遅れになる……………!

『感情 鎮圧』

『ステータス値 平常化』

『精神状態 安定』

なんか知らんけどすっごい落ち着いた気分だな……………落ち着いたというか、冷水ぶっかけられて冷えきったただけか。

ていうか放置してたけど、世界蛇くんは？

フシユルルル……………

なんか、特に動く訳でもなくずっと見てきてるんだけど……………俺のアクション待ちか？流石にさっきの硬直を見逃す様な奴でもねえだろ？

という事は、本当に操作されてんのか？ブラフとタカをくくつていたけどマジだったらシャレにならん……………三人称視点で操作出来るんなら、冷静に闇討ちも対応されて詰むぞホントに……………！

……………行くのが最適解なのか？もし行った後、世界蛇が装者達に攻撃を開始したら？ギアペンダント内に聖遺物を仕込んでいたから、デユオレリックもある以上そんな簡単に負ける事はないと思うけど……………どうなんだ？

いや、行くしか無いか。

このバケモンを動かしてるのは間違い無く「このストーリーのラスボス」であるベアトリーチェ。その張本人からの直接の誘い……………下手に断れば、どんな癩癩を起こすか分かったモンじゃない。

俺という存在をこの場から排斥する為の罫かもしれないが……………どうしても《異界からの転生者》というワードを、原作キャラが教えてもいないのに言っていた事がチラついて仕方ない！

ならば、今ここで取るべき手段はワープ用ゲートの構築！

……………え、むっずコレ。

死ぬ程魔力操作繊細にやらないといけないんだけどコレ。ちよつと気抜いただけで直ぐに変質して変な所に繋がろうとする……………安定しねえなあオイ！

こう、か？これで出来たと思われる……………多分……………maybe……………

後は、この真つ黒のゲートを通れば良いらしいけど……………装者の皆にどう説明しよコレ？

『この世界、任せたよ』

「え？レオンちゃん？それは、どういう意味？」

『大元をとつちめてくる』

「大元……………世界蛇の本体と戦うつもりなの!？」

『ま、そんな所かな』

「無謀だよ！レオンちゃん1人じゃ……………!」

『1人じゃないとダメな理由がスキル以外にちよつと出来ちゃったんだよね……………アハハ』

「……………え？スキルの事なんじゃないの？」

『私1人じゃないとどうにも出来ないから、さ？任せたよ』

「待ってレオンちゃん！話はまだ……………」

あーあー聞こえない。さっさと行って聞き出して帰ってやりますかあ……………

……………渡った先が花園とか聞いてないんだけど。

「あら？ 気に入らなかったかしら？」

いつの間に後ろにいやがったコノヤロウ……………！

『花園に飛ばされるとは聞いていなかったが？』

「言っていないから当たり前じゃない。それよりも着いて来てちょうだい」

『……………何処に行くつもりだ』

「アナタに対しては少々込み入った話をする必要があるの。ココでするには無粋な話ばかりだし、ね？」

『……………良いだろう。ただし、少しでも怪しい行動を起こせばコッチもそれ相応の対応は取らせてもらう』

「それで構わないわよ。それじゃ、行きましようか」

……………何処向かってんだコレ。

花園から少し離れたらドンドン世界が崩壊していつてるんだけど……………さっきまで青空だったのに今なんか宇宙みたいな見えるし、地面も宙と同じ色になってきてるし……………気持ち悪っ。

「さて、ここなら大丈夫かしらね」

どんなモンが来ようがバツチコーイ！もうここまで来たら振り切れないとコツチの精神がぶつ壊れそうだ全く！ハツハツハ！

……………いや、普通の洋館やないかい。

「ココに人を入れるのは貴方が3人目よ」

……………2人、だと？

なんか、執事のオジサンが居たのは覚えてるけど……………それと
格がもう1人居るって事か？

『1人目と2人目は誰なんだ？』

「言わなくても1人は分かるでしょう？転生者の貴方なら」

『……………何の事だ？』

「あら、そんなに勿体ぶって隠さなくても良いのよ？」

「私と側近もそうだから」

敵の本拠地にこれより潜n―嘘ですごめんなさい

……………ハア？

原作キャラが転生者ア？あれか？所謂憑依転生ってヤツ？それだったら確かに俺が転生者である事が分かった事は百歩譲って分からんでも無いけど……………いややっぱ分かんねえわ。どうやって知った？

『オイ、それはどういう事だ』

「そんな焦らないの。まずはお茶にしましょう？」

『カルマノイズ相手に何言ってるんだお前は。飲めずに地面にぶちまけて終わりだろうが』

「あら、まだ自分の身体の変化に気付いて無いの？」

『種族が変わって見た目が変貌しただけだろうが。他に何が変わったって言うんだ？』

「……………本当に分かってないようね。いいわ、後で教えてあげる」

『今言え。その反応は俺の身体について知ってるって事だな？』

「だからそんなに焦らないの。積もる話もあるって、言ったでしよう？」

この野郎……………意地でもそっち側の人員が集まるまで話さねえつもりだな？何するつもりだ…………

捕獲しか今の所考えられないが、現時点で一切のアクションを起こしてきていない……………マジで何を考えている？

「あら、だんまりかしら？別に私は構わないけどね」

『……………お前が転生者だとして、何処で転生者と言う事を知った？どうやってこの身体に転生者が入っている事が分かった？』

「それを聞いても何の進捗にもならないわよ。それよりも別の事を聞くべきではなくてっ。」

『進捗にならなくても俺にとっては大事なんだ。言え。早く』

「聞いても後悔するだけよ。やめておきなさい」

『お前の主観はどうでもいい！さっさと』

「静かになさい」

『——グッ!?!』

「貴女には確かに《ステータスシステム》がある。だけど今、地力は圧倒的に私の方が上なの。逸る気持ちは分からなくもないけど、落ち着く事も覚えなさい?」

……………今、何をしやがった?

瞬きをした瞬間にもう首が掴まれてるとかふざけんじゃねえ!無理ゲーじゃねえかこんなの!どう避けろってんだよ!?

……………ん? 掴みあげられている?

『……………炭化、していない?』

「やっと気付いたようね。貴方はもうノイズとしての力を失っているのよ」

『ノイズとしての力を、失っている?』

「ええそうよ。その先の話は、あっちでしましょう?」

……………指した先は巨大な両開きの扉。通った先は恐らく大部屋。入れた事のある人間はこれまで2人……………人形等が待ち伏せる可能性もある。

奥の部屋に存在している反応は何となく感じられるので2つ……………でも文字通り、これまでのウロボロスの構成員とは格が違う。

2つとも世界蛇と相対した時に感じたのと同じぐらい、存在感的な、そういう曖昧なモノをとんでもないぐらいにビンビンと感じる。

ヤバ過ぎる……………感知した瞬間に《恐怖耐性》が仕事していない気がする。身体の震えが止まらない。

俺は今から自分より遙か高みに居る化け物3人相手に囲まれて無事に生存出来るのか？1歩ミスれば、初めてこの世界に送られた時以上にあっさり死ぬ。一欠片の躊躇もなく、これまで俺がノイズ相手にしてきた様にツ——！

「あら、そんなに怯えなくてもよくてよ？というより、私達が貴方を試練を与えこそすれど、殺す訳が無いじゃない」

『……………はっ？』

「……………どうやら、本当に記憶が抜け落ちちゃってる様ね。なら、これだけ言っただけあげるわ。頑張っと思いつきなさい」

『思いついて、一体何を——』

「☒おかえりなさい、レオン☒」

一体何言っただかい——ツツアアアアアア

!?

『@=! (; | ? . . ? ? . . ^ n]

!!!??!??!

「□□の調子は？」

「問題ありません。この様子なら□□も□□でしょう」

「そう。ならそのまま続けて頂戴。私は世界蛇の様子でも見てくるわ」

「ベアトリーチェ様！□□の名前はどうかされましょう？」

「そうねえ……………レオンっていうのはどうかしら？」

「レオン……………レオンですか……………」「あら、何か不満？」

「いえ、その様な事は決して」

「□□の調子はどうかしら？」

「滞りなく□□を□□しております。この様子なら□□も問題無く修了されるかと」

「そう。□□までに終わらせなさい」

「ハッ！」

「ベアトリーチェ様！正気であられますか!?レオンに□□を行うなど！」

「貴女にレオンの名を呼び捨てにする権利も、私のする事に意見する権利も与えたつもりは無いのだけれど？いつ、誰に、許可を貰ったの

かしら?」

「へッ?!いい、いえ、その様な許可が必要とはつゆ知らず——」

「もういいわ。石屋、彼を『処分』しなさい」

「しかしベアトリーチェ様、不必要な処分は人員不足を招きます。彼は明確な問題を起こした証拠もありませんが——」

「聞こえなかったのかしら? 『処分』なさい?」

「……………はっ。仰せのままに」

「……………私だけのレオンなのよ。あの憎き□□を壊して悪意に叩き落としてやる為の□□を私以外が触れていいわけ無いじゃない。レオンは、私だけの物よ」

『——アアアッ!』

「ふふっ、良く眠れたかしら?」

『……………膝枕するんじゃないやねえ、気持ち悪い』

「あら、冷たいわね。それで、何か思い出せたかしら?」

『……………お前に溺愛されていたというのだけは分かった』

「あら、そこを思い出してくれるなんて嬉しいわね。そうよ、私は貴方

を溺愛していた。だから、もつとさせなさい?」

『断る。今はそれよりも情報だ』

「……釣れない子ね、本当に。まあいいわ。着いてきなさい」

「……本当にさっきの映像はなんだったんだ?」

何処に居たのかも分からないし、なんなら完全な三人称視点
……様々な場面を離れた場所から見ているが……俺の名前
が既に決められていた?それとも、偶然被った?

偶然は根拠も無いただの勘だけどなんか違う気がするんだよなあ
……でも、そうなるかと不可解な点が多過ぎる。

その答えは……直接聞き出すしかない。

「ここよ。心の準備は大丈夫かしら?」

『わざわざ聞かれなくても出来ている』

「そう。じゃあ、開けるわよ」

ここからが俺の2度目の人生では1番の大舞台……精々情報
引っこ抜いて足掻いてやるよ……!

「お帰りなさいませ、ベアトリーチェ様」

「石屋、紅茶を3杯淹れてちょうだい」

「畏まりました」

手慣れてんなあマジで……………まあそんな事はどうでもいい。
部屋の隅で腕組んで立つてるあの全身黒ローブ……………ヤバ過ぎ
る。見ただけで何となくでも分かる。ありや世界蛇に匹敵しかねな
いぐらい強えぞ……………

「イブ、そんなところに立つてないでこっちに来なさい」
「……………承知」

女声……………女なのかよ!?ていうか待て。

イブ?まさか、旧約聖書の「アダムとイブ」のイブ?それだったら
ヤバ過ぎる……………シンフォギアでのアダムがアレだけヤバかった
のに、それと同格の存在が付いてんのかよ!?

予想はしていたけど既に原作崩壊が起きている……………しかも結
構マズイ方向に。

そして味方側……………味方側?装者陣営には今の所バランスが取
れるような原作崩壊は起きていない。なんならカルマノイズに押さ
れて不利になりつつある。

……………これ、選択を間違えるとガチのBADENDなのでは?

「取り敢えず……………紅茶が来るまでは軽い話でもしましょうか」

『軽い話も何も、俺は情報が欲しいから来たただけだが?』

「そんなせつかちにならないの、って何回言ったら良いのかしら?そ
もそも、今のタイミングは話しても私もイブも話せないわよ」

『は?なんでだ?』

「アナタ、数十分前に話した私と側近が転生者って事をもう忘れてる
のかしら?」

『んだと……………クソツ、そういう事か』

「ちゃんと落ち着けば貴方は理解出来るんだから、少しは落ち着きを
覚えなさい?」

ベアトリーチェが言っていた【私と側近が転生者】の発言はココな

のか……………

筋が通るのは、石屋は原作通りの人間で、イブとベアトリーチエが転生者で、2人が転生者である事を石動は知らない……………って所か？

そして、今回来た俺は転生者。石屋を入れなければ転生者のみで会話が出来るが、石屋を入れてしまうと転生者の知識を得る事で原作キャラにイレギュラーな行動を誘発させる可能性がある……………

だから敢えて紅茶を淹れさせてまずは切り離した。その間に説明を終えた後、恐らく何かしらの理由を付けて何処かへ向かわせる。そういう事か……………？

「お茶が入りました」

「御苦労様。それと、実験体の《後片付け》をしてきてくれるかしら」
「仰せのままに」

うん、想定通り。

じゃ、ここからはカルマノイズとしてじゃなくて転生者として、
かあ……………あゝ鬱になりそ。

「さあ、^{リアル}現実を生きる存在は居なくなつたわ。^{ファンタジー}空想の存在達の対談を
始めましょう？」

決断の時

『単刀直入に聞く。なんで俺はお前らに知られていた？』

はい、私です。レオンです。

この大一番で開幕砲弾をぶっぱなしてやりました。ここからどう
いう反応が大変楽しみで夜しか眠れねえよ！

「簡単な話よ。貴方を創ったのは私なんだから」

『……………創った？』

訂正、夜眠れなさそうです。

ちよつと待つて、カルマノイズつて世界蛇から勝手に生まれ落ちる
んじゃないかったの!?え、俺人工カルマノイズなの?そんな養殖みたい
な事しなくても世界蛇が勝手にマンボウみたく大量に産んでるじや
ん!

「なんか勘違いしてそうだから言うておくけど、私がわざわざ作った
のはちゃんとした目的があるからよ?」

『目的……………?』

「ちよつと席を外すわ。イブ、説明して頂戴」

「承知」

うわ、一瞬でテレポートしてた……………どんな技術使ってるのか
分からんが、錬金術のテレポートより移動早いぞアレ。

で、この黒ローブ女と2人つきりねえ……………流石に大したアク
シオンは起こしてこないと思うけど一応警戒しとくに超した事は無
いな。

「ベルが貴方を創ったのは」

「“神”を殺す為」

……………は？

『……………神？アヌンナキの事か？』

「あんな生温い存在じゃない。私が言っているのは創世者。貴方は既に出会っているハズ」

……………まさか、死亡直後に送られた時に居たあのオツサンか！？
え、あの人殺すの？

『あのオツサンを殺せって言うのか？ステータスシステムとかをくれたあのオツサンを？』

「恐らく貴方が言っているのは私達の協力者。半裸の壮健なお爺さんなハズ」

『確かにそうだが……………協力者？』

いまいち話の要領が掴めない……………創世者の中に協力者が居て、目指しているのは創世者の殺害……………？

ファンタジー小説に入れ込んだら協力者が邪神だとか崇拜対象な気がするけどどうなんだ……………？

「彼には貴方の魂を保護すると共に、ステータスシステムの効率的な使い方のアドバイスをさせている。全ては創世者の殺害の為に」

『……………神を殺害して、その先に何があるんだ？そもそも神を殺害する理由はなんなんだ？』

「話す前に、正直に今から言う指示に従って欲しい」
『なんだと?』

神を殺害する理由を話すだけでチエックを入れてくるだと………?それに何のチエックをするつもりだ?同じ転生者とはいえ、ここからは最大限警戒しないと………!

「ステータスが無効化されている事を確認して欲しい」

『——ッ!?!』

やられたッ!まさか、この場所自体にそういうシステムが構築されていたのか!?

◇◇◇◇◇◇◇◇

:3%355@system down

◇◇◇◇◇◇◇◇

クソッ、マジでやばい!今このタイミングで攻撃されたら一瞬で消し飛ばす!どうにかして生き残る方法を考えないと………!

「そんなに焦らなくても良い。それに、貴方は既にステータスシステムが無くとも少しは戦える様になっている」

『そんなモノ分からね———』

ちよつと待て。

ステータスシステムが無効化されてるんだよな?これまで得たステータスとかスキルが全て使用不能になってるんだよな?

………何故、問題無く喋れる?《調律》と《歌唱》のスキルが無

ければ俺は意味のある言葉を喋る事すら困難だった。それなのに何故今、問題無く喋れる？

姿もだ。転生直後の黒一色の人型じゃなく、ガングニールのギアインナーを纏った状態……………手も人間と同じ見た目で感触もちやんとある……………どうなつてやがる？

『……………何故だ？』

「気付いたならいい。だからそんなに焦る必要は無い」

『強者気取りで落ち着きやがって……………!』

「強者気取りでは無い。ちよつとしたトラブルに対して、目に見えるレベルで焦るのは貴方の弱点。克服を勧める」

『ちよつとの領域じゃねえだろ！自分の力を無効化されて焦らない奴が何処にいるってんだ!?!』

「自分の力に頼り過ぎている典型的な発言だ。だが、今はそれで構わない。いずれ分かる」

……………普通に正論言われてムカつくなあオイ!

……………それよりも情報だ情報。コイツの発言は気になる点が多過ぎる。

『……………わざわざステータスシステムを落として、何の話をするつもりだ?』

「ステータスシステムは神との繋がりも兼ねている。付いている限り、全て向こうに筒抜けになる」

『……………プライバシーを保護して何になるって言うんだ?』

「決まってるじゃない。協力者もまとめて殺すのよ?」

この野郎いつの間に後ろに居た……………!?!

それよりも、協力者の神も殺すだと……………？何を目指しているのか本当に分からなくなってきたぞ……………!!?

『協力者ごと殺す？皆殺しにする気か？』

「そう言ったつもりなのだけれど、伝わらなかつたかしら？」

『……………いったい、何がお前達をそこまで突き動かす？』

「じゃあ話してあげるわ。私が唯一《僕》でいられるアイテムを使いな
がら、ね？」

『……………スマホ？』

「正確には《僕が前世で使っていた》、だけどね」

『……………お前、ボクっ娘だったのか』

「……………まあ、紅茶を飲みながらゆっくり聞いて頂戴」

『……………分かった』

ステータスシステムがダウンしている以上、生半可な抵抗は死を招くだけ……………なら、今は反抗するより従った方が生存確率は上がる……………!

それにわざわざ一人称を前世のモノに置き換えたって事は、恐らく話されるのはこの世界で俺より長く生きてきたであろう2人の転生者として得た知識……………信じきるつもりは毛頭ないが、聞くだけの価値はある筈。

『……………なるほど、な』

「ま、初めて聞いたたら呆れ返る様な内容よねえ……………イブも私も最初はそんな感じだったし」

『……………マジで聞いて後悔した。そんなの聞きたくなかったわクソツタレ……………』

「まあ、これで貴方が求めていた情報、そして私達が貴女に渡しておきたかった情報は、今渡せる物は全て渡したわ。その上で、貴方はどんな決断をするのかしら？」

『……………本当に、世界の破壊は止められないのか？』

「そう言ったじゃない。話聞いてた？」

『聞き違いであって欲しいと願っただけだ。それよりも、俺との契約を違えるなよ？』

「違える訳が無いでしょう。有象無象のつまらない奴とならともか

く、貴方との契約なんだし」

『……………言い方が気になる部分はあるが、違える気が無いなら良い』

……………まさか、こんな決定をする事になるとは思わなかったなあ

……………

でもまあ、これで良いハズだ。

良い、ハズだ。

「じゃあ2ヶ月後にまた会いましょう、同志レオン？」

「しっかりとその力をモノにしなさい、同志レオン」

『2ヶ月以内に準備を済ませてくれよ、同志ベアトリーチエ、同志イブ』

俺はHappyENDの為に

俺の幸せの為に

世界を平和にする為に

世界の破壊者のベアトリーチエと結託する。

宇宙の 法則が 乱れる！

はい、私です。レオンです。

まさかの原作の敵陣営と結構ガチガチの関係組んじやった。どうしてくれんのこれ？自己責任だけでも。

取り敢えず、契約の履行の為にやる事やらんとならんのかなあ………帰還用ゲートは展開してもらったから、これを潜ったらあの謎空間に飛べる様にはなってる。後はあの花畑に歩いて行って自力で転移ゲートを展開して帰るだけなんだが………

取り敢えず急いで帰ろう。この対談の間に世界蛇は撤退させたとは言ったが、それが本当とは限らない。あのまま継戦してたら、6人居たから大丈夫とは思うけど確実に消耗しているハズ。そこに要らん追撃が入るとイレギュラーが起きかねないからな………

………相変わらず気持ち悪い空間だなホント。

上下左右、何処見渡しても宇宙みたくひたすら黒とちまちまある白点しかない。今歩いているのが地面かどうかも分からないんだが………マジでどんな事したらこんな空間出来んの？訳が分からないえ………

お、地面見えてきた。と言っても赤茶けた世紀末みたいな地面だけど………ていうか今思ったけどこれって繁栄から破滅の示唆とかじゃないよね？いずれ全部無に還るとかの示唆じゃないよね？流石にそんな悪趣味な道では無いと思いたい………

ステータスシステムは………うん、ちゃんと帰ってきてる。あの屋敷に飛ぶ前に入れた《埒外物理》もちゃんと手に入ってる。

んじや、確か転移ゲートの術式がこうで………よし書けた。後は魔力を注ぎ込んでやって………これを潜ったら戻るのか………

知りたくなかった真実まで色々と聞いてしまった。知らなかったらまた立花さんに無邪気に突撃してたんだろうなあ………でも、も

うそんな事してられない。

2ヶ月という短い期間の間に互いに契約を履行する為には、最大効率で動く必要がある……………俺側に課せられた契約内容を果たす為にも……………

俺と全力で戦ってもらうよ、装者の皆。

「……………レオンちゃん!?世界蛇が消えていったけど……………まさか!?」

見事に凄い勘違いして……………あ、俺行く前にそういや凄い言い訳してたんだったわ……………そりやタイミング的にも勘違いするわな。

「奴の様子がおかしい?」

「何処かに渡ってアイツ何してきやがった……………?」

「瘴気に吞まれた可能性もあるわ。構えなさい!」

「どうしたんデスカレオンさん!?返事をして欲しいデス!」
「あんな人じゃなかったハズ……………何があつたというの?」

……………だあー!悪役つてのは向かねえなあホント!特に敵意が薄れ始めた相手にコレやるのはホントに俺の良心に悪い!

「やっぱりベアトリーチェの奴めっちゃ性格悪いじゃねえか!?何が【警戒心薄れ始めた相手を裏切るって楽しくない?】だよバーカ!アイツがやれマジで!」

『……………立花響』

「ッ……………何かな?」

『俺の為に……………』

はいココ転生者ポイント。ベアトリーチェに貸してもらった真つ黒のロングコートを羽織って、内部で左手にシレット《埜外物理》をチャージ!

ちなみにLv1の状態でレーザーが放てるらしいです。ほっそいけどね。当たった物質はしっかり謎の結晶に包まれてました。

なんで?

流石《埜外》、常識なんてクソ喰らえだぜ!

『……………倒れてくれ』

はいココ2つ目の転生者ポイント。言い切ると同時に左手をロングコートから出してレーザーをぶっぱなします。

ラノベ主人公とか悪役がちまちまやってる不意打ちレーザー出来たのでもう俺は満足しました。いや、まだ働かないといけないんだけども。

「うわッ!?!」

いや、驚いた顔しながら平然と不意打ち射撃避けなくてください。見た感じ新幹線並の速度出てたよ？距離25mも無いよね？なんで見てから結構余裕で避けれてんの？訳が分からないよ……………

「どうして!?何があつたの!?」

『……………それは答えられない』

「じゃあこれだけは教えて！あなた自身の意思なの!?」

『俺は俺の為に、世界の為にやっている』

「世界の為……………?」

『戯言は終わりだ。構えろ!』

「どういう事なの!?教えてよ！なんで私を倒す事が——」

『御託は良い！構えろッ!』

お願いしますそれ以上突つ込まないで！

発言出来ないの！理由はちゃんとあるけど俺は発言出来ないの！頼むから延々聞いてこようとすのやめて！

「……………気絶させるよ。その後で、お話は聞かせてもらおうからね!」

『こんな所で止まってられないんだよ……………手早く倒す!』

さーて、《メタ》張つても30分以内に倒せますかねえ……………?

「最初から全力で行くよッ！ハアアアアア!!!」

ちよつと待つて!?あれ完全にデュオレリックやん!どうしてくれるのこれ!?

あ、俺が使いやすい様にしたんだつた……………ハハハッ、ワロス!いや待つて、完全に忘れてた。気分をやっちゃったけど今死ぬ程後悔してる。

これ倒せる?大丈夫?負けるとだいたい期限ギリギリになるからやめて欲しいんだけど?

いやうん、後悔ばっかじゃマジで間に合わなくなるからコツチもガチでやるけど……………取り敢えずベアトリーチェに色々聞いといて良かった。おかげで……………!」

『着装!』

装備する時に全力でシンフォギアを想像!

ロングコート要らない要らない来るな来るな来るな!

「ッ……………!?!」

「立花と同じ……………!?!」

「ガングニールだつてのか!?!」

「色が違う!反転しているわ!」

「響さんと真逆つて事デスか……………?」

「アレはいつたい……………?」

はい、ベアトリーチェに聞いてきました。

どうやら、《憤怒》の『着装』は脳内に1番強くこびり付いてるアーマーの形を取るらしいです。立花ガングニールになったのはそういう事らしいですね!知らんけど!

あれ?て事は黒のロングコートは立花さんと同じぐらい脳内にこびり付いてたつて事に……………泣けてきた。

『……………反転色のガングニール、ねえ』

「私と何度も手を取つては、直ぐに何処かに行つて、今回は世界の為に私を倒す……………ねえレオンちゃん。貴方はいつたい、何者なの?」

『何者、かあ……………1、2ヶ月前ならただの変なカルマノイズつて答えてただけど……………今は違うかな』

「……………じゃあ、今の貴方は?」

いや、ここで名乗りあげる事になるとは思わなかった……………いざ
れあげる事になるのは間違いないし、どう名乗ったらいいかも伝えて
もらってるからそこは大丈夫だけどね!

『ウロボロス所属……………かな』

「ッ…………狙われてたんじゃなかったの?」

『記憶喪失だったんだけど、どうやら元ウロボロスらしいよ?』

「じゃあなんで連れ戻すんじゃなく、攻撃しに来てたの!?!本当は脅さ
れてるんじゃない——」

『違うな。それと隙だらけだッ!』

悪いけど本当に時間が惜しいので話してる最中でもガンガン錬金
術と埒外物理撃つてくぞくこつちは!

特撮だったら汚い悪役みたいな事になろうが知った事じゃねえ!
こちらら命と尊厳が掛かってんだよ!

「ッ……………あれ?」

……………ビームで防がれた、だと?

ていうか待て、今の紫色のビームは……………!?

「貴方が響を傷付けてるの?ねえ、答えてよ…………」

グラビティサイコロズ
小日向未来ッ……………!

しかもヤベえ!目に光がねえ!最初からガチだアレ!

「応えないって事はそういう事なんだよね?じゃあ、行くよ?」

「待って未来ッ!あの人は——」

「大丈夫だよ響。殺しはしないから」

「違うよ！かなり強いから……………」

「じゃあ、2人で倒そつか？」

「うん！」

うん、じゃないか？ガチレス妻×主人公ってお前マジか……………？
俺個人のエゴだけど《メタ》は使いたくねえんだよなあ……………し
かも使った所で愛ツ！でホントにどうとでもされそうだからマジで
困るんだが？

「響、行こう？」

「行くよッ！」

だあクソがア！やりやいいんだろうがやりや！

どうせこれ以上の絶望に抗う事になるんだから予行演習として蹴
散らしてやるよ！

無理ゲー再び

「響ッ！」

「未来ッ！」

名前呼び合うだけで完璧な連携すんなあ！

あ、どうも私です。レオンです。

今、原作最凶カプルのお2人に詰められています。

いや、ね。この2人さ、おかしいのよ。それぞれの戦闘スタイルが完璧に噛み合ってるのもヤバいんだけどさ？

「それにしても未来……………いつの間にアイギス？を手に入れたの？」

「愛、だよ？」

「……………愛？」

愛だけで何故かデュオレリック成功してんですけどお!? アンタいつの間にアイギス取って帰ってきやがった！

……………アレ？今思ったけど、時間軸どのタイミングだ？確実に原作より崩壊してるけど、せめて原作では何があったタイミングか知りたいのに、分かんねえぞ……………？

……………今度聞きに行くか。

「これだけレーザーを撃ってるのに……………！」

「1発も当たらないッ……………」

そりゃ、ドキッ！（カルマ）ノイズだらけの大運動会！を生き残ってきたからねえ……………《並列思考》で相手の攻撃を分析しつつ避けて、【適応】で☒攻撃の回避☒に自らの身体を順応させる。

【適応】の最大の強み、☒ありとあらゆる状況に適合出来る☒を利用すれば、適合しきるまでの時間の間に即死さえしなければ、どんな無理

ゲーでもいずれば攻略出来る。その為の【適応】、その為の【決意】だ！

どんな困難が立ち塞がろうとも、必ず成し遂げる。そしてその先に、明日を掴み取ってみせる！

『チイツ……セイヤア！』

「しまったッ!？」

「お願い届いて！」

『クソッ、うざったい援護——レーザーの屈折!？』

「助かったよ未来！」

「どういたしまして。そんな簡単に……私の響には触れさせない」

『チッ……』

順応し始めたからカウンターを仕掛けに行っただが………立花さんを壁にして仕掛けたら上空にレーザー撃つてそれを曲げてきやがった！神獣鏡でも出来ない事は無いが………

この場面、この一瞬であんな正確に曲げるなんて出来んのか？名前通り未来に関係する何かを持つてんじやねえの？未来予知レベルで正確に対応してくるのヤバ過ぎんだろ！

「なんで私を倒す事が世界の為になるんですか!？ベルちゃんか私を倒す事で世界が滅びる事を願っているから!？」

『違う！ベアトリーチェはお前達が生きる事を願ってッ!』

「——えッ?」

……………あ、やっちゃった。

大丈夫かなあ、これ………ストーリーの本筋に傷入れちゃうと、作戦に被害が出るからマジで勘弁して欲しいんだけど………しばらくは突き進むしかねえ！《干渉》が来たら謝罪した上で作戦変更。無かったらそのまま突き進む！

「教えてレオンちゃん！ベルちゃんが私達が生きる事を願っているっていったいッ」

『——ッ！ラアッ！』

「ぐッ!?……ハア……答えてよ！なんで答えてくれないの!？」

『………答える義理は無い』

「なら答えてくれるその時まで待つ！だから教えてよ！」

『何日経とうが何年経とうが変わらない！お前達に分かるか………分かれてたまるか！リセットの苦しみが！』

「——？え、耳が聞こえないなんて事は………？」

『………成程、いつの間にか仕込まれたか………しかし、この場合は助かったな』

イライラして思いつきり爆弾投下しかけたけど声はその部分だけノイズ入ったおかげで助かった………漏洩対策にベアトリーチェが制作段階で仕込んだのか？気持ち悪いけど、今は感謝しねえとな………

【憤怒】が抑えられなくなってるのかしらんが、すぐにカツときちまう………！早めに決着つけねえと無意識に爆弾大量投下してモザイク祭りになるぞオイ！

「何としても理由を聞かないと、私は納得出来ない！」

『聞いても納得出来ねえよ、俺が戦う理由は！』

「最初から諦めていちや解決出来ることも解決出来ない！だから！」

『何度も言わせるな！コレは俺達の問題だ！』

「貴方達の問題だとしても、その問題を一緒に解決する事は私達にも出来る！」

『——それが転生者にしか関与出来ない事象だとしてもか？』

「だとしても！」

『世界を壊す壊さない程度の問題じゃねえんだよコイツは。お前達に出来る事は俺と全力で戦って倒す事だ』

「そんな………そんなハズ無い！必ずどこかに変えられる場所はある」

る！そこを探せば……………！」

……………悲しいけどさ

アヌンナキ退けた程度じゃ全然足りないんだよね、創世者殺して。

だから俺を殺す気で来て強くなってもらわないと計画が完成しないんだが……………場合によっては何人か痛め付けるのも作戦内らしいし……………やりたくねえ。

『……………ベアトリーチェを信じてやってくれねえか』

「……………え？」

『アイツなりに考えた結果がコレなんだ。アンタらは俺を他のカルマノイズと同じ様に倒せばいい。それだけで終わる』

「……………そんな事出来ないよ！これまで一緒に話したり戦ってきたレオンちゃんをそんな！」

『……………仕方ないか』

「え？」

……………弦十郎さんと思ってやれ、じゃダメなんだ。

アダムやフィーネ、キャロルの時の様な、文字通りの死闘を繰り広げなきゃ、2ヶ月以内にベアトリーチェが求めるレベルにはなれない。なら……………

『後悔するといいよ、君の選択を！』

「アダムの声……………この火球はまさか!?!」

声変化と錬金術をこんな事に使うとは思わなかったなあ……………ただ魔力の集束と火球圧縮が甘いッ……………！ならッ！



STR : 54
CON : 50
POW : 89
DEX : 62
INT : 45
EDU : 44
残ポイント : 20

◇◇◇◇◇◇◇◇

残ポイントを一気に35切る！無人島での検証結果でPOWが錬金術威力に関連してるのは確認済！それが一気に7段階も引き上げれば……………！

「まさか、黄金錬成!？」

「アダムだけじゃなくて貴方も!？」

『掴み取ってみなよ、希望を!』

「言い方まで似せやがって……………行くぞお前等!」

「口が悪いぞ雪音。それに、その様な事を言われずともツ……………!」

「立花響と小日向未来がデュオレリックに成功しているなら、後は私達がそれに合わせてやれば!」

「黄金錬成程度、ザクッと押し返してやるのデース!」

「それを言うならサクツとだよ、切ちゃん」

……………変にうだうだ言うよりガツンとぶつけた方がなんとかなりそうだな。これからそうしよ。

無いと思うけど焼け死んだりしないよね……………?ええいままよ!黄金錬成程度なんかしてもらわなきゃ足りないんだよ!アマलगムでも急にエクストライブになるのでも絶唱しても良いから止めてくれ!

あ、夫婦以外手繋ぎ始めた……………これは絶唱ですな間違いない。……………ん?夫婦以外が?何故?

「三三」——アマルガム、起動！（デース！）「三三」

——え？そつち？

いや違う！コクーンか！イマージュ移行前のエネルギーをG編のアガートラーム起動時みたくバリア状に広げて防ぎきるつもりか！
ただアガートラームのエネルギーベクトル変更を使ってもアマルガム5人分！ラストイグニッションからの出力上昇でエクストライブ級の出力が出ているとはいえ、残りの2人次第では普通に飲み込まれて終わるぞ！

「行こう、未来」

「どこまでも一緒だよ、響」

「G a t r a n d i s b a b e l z i g g u r a t e d e n
a l」

……絶唱を2人で？どういう事だ………？

立花さんの特性のエネルギー分配とアガートラーム自体が持つエネルギーベクトルの変更を組み合わせるなら分かるが、それなら何故アマルガムと絶唱で分けた？理由が無けりゃ出力を考慮して、アマルガム5人と絶唱2人でエネルギーを再配置するよりも7人で絶唱を歌ってそれを再分配、均一化してバリアを張ればいい話だ。

何を考えているツ………!?

「——e m u s t l r o n z e n f i n e e l z i z l
l」

負けイベはひっくり返す物

……………どうなった？強引に放った一撃、充填率は50%未満。衝突時の熱風は凄かったが、威力は全くだ。

現に、下に見える爆心地と思える場所に堂々と7人とも立ってやがる。しかもあんまり損害が見受けられない。大してこっちは魔力消費量は体感60%、身体は勝手に治るからピンピンしてるが、ベアトリーチエとのとんでもない対談なり埒外物理の練習なりしてて精神的にもう持たねえ……………めっちゃ意識飛びそう。

どうすつかなあホント……………《メタ》を切れば勝ちは出来る。ただ、勝つだけだ。

理想の為には……………負けて死ぬ可能性があっても抗うべきなのか？それともこの場は確実な勝利を収めるべきなのか？どっちが正解なんだ……………？

「向こうは消耗している！」

「今ならコッチの方が優勢だ！行くぞ！」

だあーッ！無茶苦茶な弾幕張りやがって……………！

もうスキルに任せるつてのダメ？【適応】と《並列思考》で片方の意識に押し付けてイルカよろしく片方ずつ脳……………この身体脳あんの？取り敢えず休ませるべきか？

「制限時間内に倒すッ！」

「このアマルガムでならー！」

聞こえてる聞こえてる。

アマルガムの時間制限が来る前にイマジユの超火力で押し切る戦法か？確かに有効だし、なんなら今死ぬ程苦しめられてるけど……………押し切れなかったらどうするんだろうな？

さつき絶唱を歌った2人は後方でダウン中。復帰はしてくるだろ

うが全力でやり合うのはしばらく無理だろう。

アマルガム起動中の5人はイマージュの制限時間が切れれば、残されるのは絶唱か通常ギアでの戦闘のみ。デュオレリックがあるならもう切ってきてもいいハズだ………何故使わない？それとも、まだ手に入れていない？

いや、それは無いハズだ………俺の記憶が正しけりや、立花さんが《あの聖遺物》を手に入れたのは序盤だが、マトモに使える様になったのは——しまったココか！ココで俺が要らない事したせいで分からなくなつたんだ！

と、なると………もしかして、まだほぼ全員がデュオレリック用の聖遺物を持っていない？そうなると滅茶苦茶めんどくせえぞ………2ヶ月以内に互いの戦闘力を伸ばしつつ、聖遺物を手に入れさせなきゃならねえ。

めんどくさア!?

「もらったッー！」

あ、やっべ何も見てなかつ——

「何ッ!？」

『甘アい………!』

た訳は無いんだよなあ………流石《並列思考》、視界に入っただけで自動反撃並に不意打ちを防いでくれる。有能スキルに進化したおかげでホント嬉しいッ、んだがッ、弾幕がウゼエ！

「くたばりやがれッー！」

ねえおかしくない？あんな弓つて連射効くものだっけ？ という

かどんだけ飛んできてんの？モン○ンの曲射か？どう見ても途中で矢が分散してるよね？どうなってるの？分からない事だらけ過ぎて頭パンクしそうだぜホント……

あつ、《創造》！存在忘れてた！

「ナイフが無から!？」

「気を付けろ！何処から湧いてくるか分からないぞ！」

1 本生成しただけで滅茶苦茶警戒された………無闇矢鱈にバラ撒いて警戒心薄めるか？それとも………!

「チツ！狙いはあたしかよ！」

「マリアツ！」

「言われなくても！ハアツ！」

『即援護に来るのが本当に鬱陶しいツ！』

「貴方が好き勝手暴れようとしてるのを、私達が見逃すだけでも？」

『見逃してくれた方がこっちの仕事は楽になるんだがナア………?』

「貴方の仕事とやらの為に私達がやられるという訳にも、生憎つ、行かなくってねツ！」

ホントさつきから避けながらカウンター入れようとしてるのに、連携プレー上手いのもあるが一人一人全員コッチと同レベルの身体性能してやがる……!お前らホントに人？ステータスシステム持ってたりにない？

いや、にしても………絶唱歌った2人は完全に休憩状態。全員が即カバーに入れる様にあまり離れない様にしつつも、ほんの少しずつ2人から引き離され始めてる………

どうする？一定距離離れたタイミングで一撃にかけて突貫するべきか？それとも、敢えて復活を待ってからアクションを起こすべきなのか？どっちが正解なんだ………!?

「くたばりやがれッ！」

まだ連射が来る………制限時間は不明だが、残りの5人はまだまだ体力に余裕がありそうな感じだな。

ならッ………！

『【悪意^{マリス}】ッ！』

こつちも新スキル切らせてもらおうかア!?

———え、あ、そんな感じなの………??

「全部防ぎきられた!？」

「なんだあの壁は!？」

「何か、とんでもなくヤバい物を感じるッ………!？」

いやあ………アークライダーみたいに☒悪意を放出した後、実体持たせて壁にする☒とは思わなかった——あれ？

ちよつと待て、これ上手い事利用したら強制的にイグナイト発動させて暴走させれるんじゃないの？

取りあえず最後の手段として取っておくべきだなコレは。完全な不意をつけるヤベえの手に入れちまった………まあ今はそんな事より

悪意で自分を覆い隠してる間にナイフ大量生成に徹する！【憤怒】でやったら嫌な予感しかないから取り敢えず《創造》で50本ぐらい作りや行けるだろ！

うおおあああ頭痛ええええ!!一斉にやったら頭痛来んのコレ!? 防御状態の時にやって良かった!

取り敢えず出来ッ、ああ待つて壁が!壁割られる!どんだけ猛攻掛けてくるんだよ!少しぐらい休めや!

「割れたぞ——何ッ!？」
「来るぞ！」

『ちよつとぐらい痛い目見ろコラアアア!!』

ナイフ50本を無駄に錬金術で無茶苦茶に速度上げた風属性投げナイフ喰らえコラア! 《投擲》Lv8のおかげでこちとらメジャーリーガーやぞ!

そおら1本目エ!

「グッ! ツツウウ……………!？」

「翼ッ!？」

「先輩ッ！」

弾いてんじやねえ! 風鳴一家は化け物だらけかよ!

流石にヒットした衝撃で数メートル吹き飛ばしたけど、今の確実に足狙ったんだぞ!?! どんな反応速度してやがるんだ!?!

「それ以上やらせるか！」

「なら私もッ！」

丸鋸ヨーヨーと矢のオンパレードってどう避けんのが正解なんだ? ていうかどう見ても隙間無くね? 退い———た先にマリアさんかあ……………うーん。

『【悪意】^{マリス} ツ!』

「もらった——ツ!？」

見えてて対策してねえ訳ねえだろうが。

『1本しか投げられないと誰が言ったア!』

「チイツ——グアツ!？」

4本同時にブン投げて全部思い通りの場所に飛ぶの気持ち悪過ぎん?その内の3本即座に弾き飛ばした向こうも向こうだけで!

「マリアさんッ!」

「チッ!ぶっぱなす!」

矢がデカあああ!説明不要!
ならコツチだつてッ……………!

「コツチ、デスよ」

『——なッ』

しまッ——

『@||& a m p ; ; ; ? 8 # ? ツツツウ……………!』

「油断したデスよね?貴方の、負けデス」

一撃でえげつないぐらい魂みたいなのが持つてかれた気分だ
……………次もう1発もらったら多分消滅するッ……………!
ここは、撤退するしか無い……………不意打ち用にとって置きたかつたが、ここはやるしかない!

『【悪意^{マリリス}】っ!』

「何をする気——デ、ス……………かッ!?あッ、がアツ……………!？」

ゴメンな、暁さん。暴走してくれ。

「貴様ッ!切歌に何をしたッ!？」

『直ぐに分かる……………ハア……………ハア……………』

